

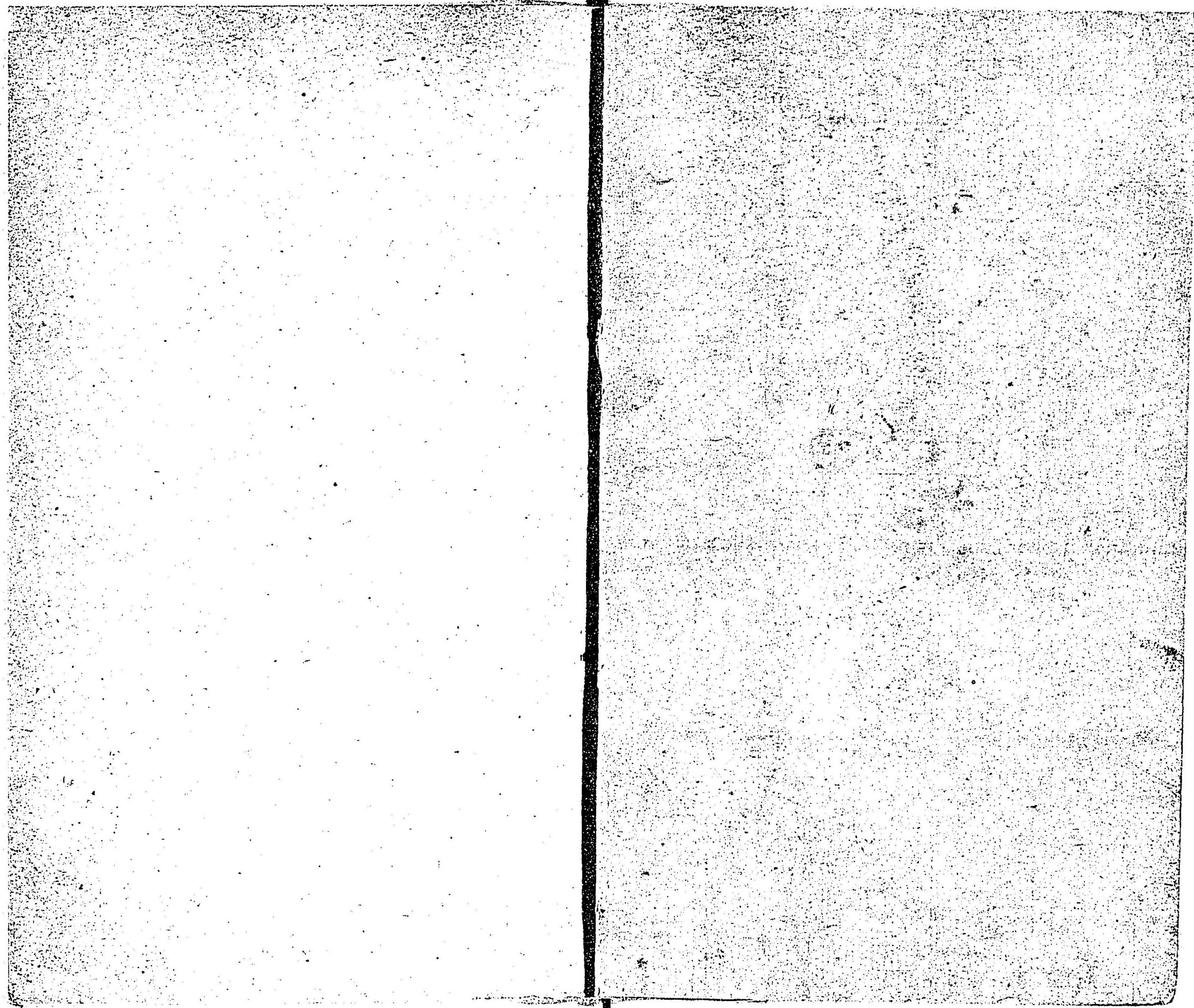
高等尋常中學校私立諸學受驗用
高等小學校生徒參考用書

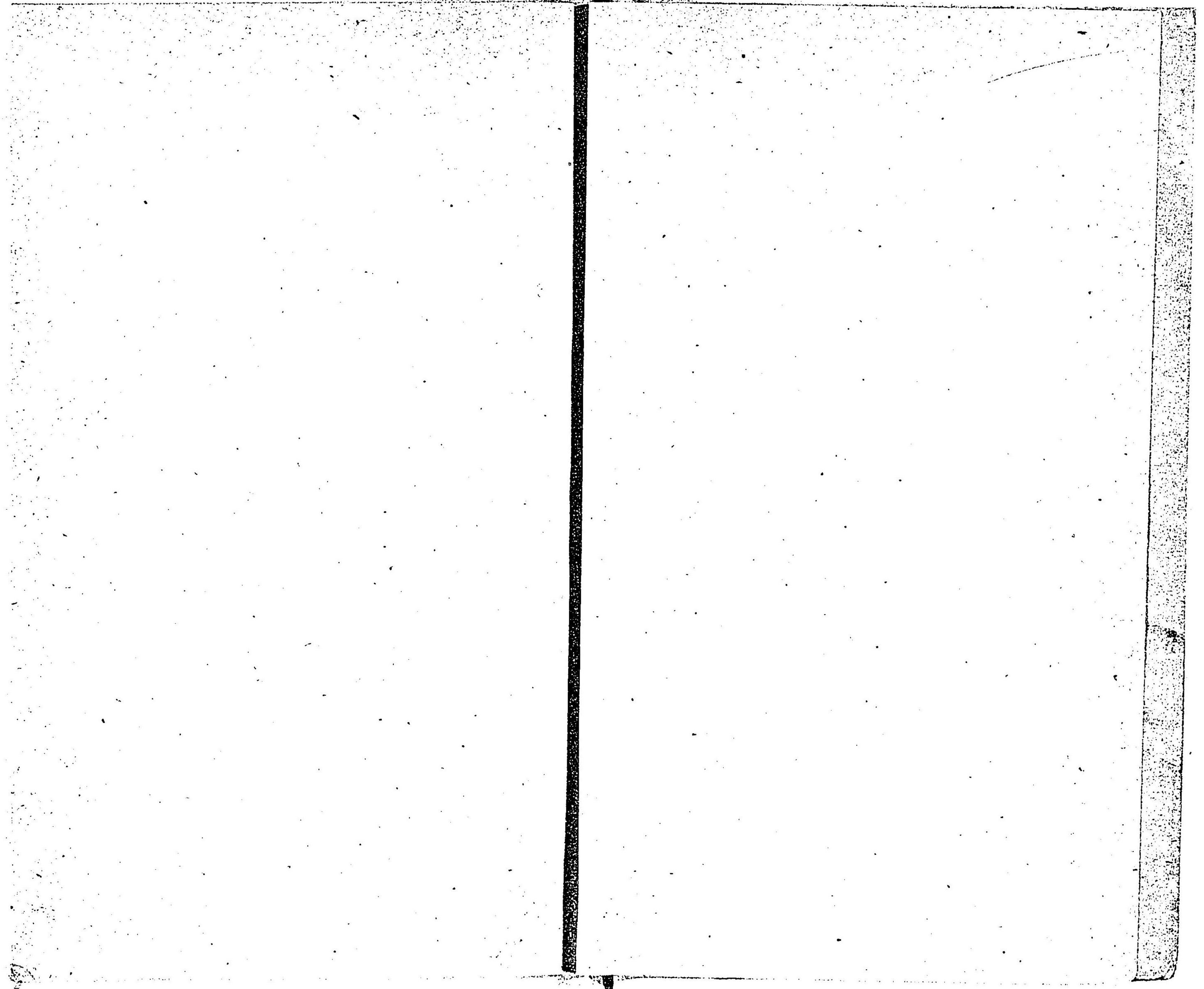
日本地理問題答案

青木俊太郎著

辰路堂

發兌





特20
476

凡例

- 一本書ハ各種學校入學試驗用及高等小學試驗參考用トシテ編纂シタルモノニシテ答案ハ総テ解シ易キヲ主トシタルヲ以テ文章ノ巧拙ハ固ヨリ注意スル所ニアラス
- 一書中統計ニ關スルコトハ務テ最近ノ調査ニ據リ且其何年ノ調査タルコトヲ附記ス
- 一本書末尾ニ於テ各國ノ沿革小史及各市制地各府縣別人口表ヲ掲載シタルハ聊カ讀者ニ裨益スル所アラシカ
- 一書中載スル所或ハ誤謬アルヲ免レズ讀者幸ニ訂正ノ勞ヲ吝ム勿ンハ之レ獨リ編者ノ幸ノミナラス亦讀者ノ幸ナリ

明治二十四年七月

編

者

識

日本地理問答目次

総論

地理學ノ必要ヲ述ヘヨ

2. 我國ノ位置并境界ハ如何

3. 地勢ノ大略ヲ問フ

4. 全國ノ幅員及人口戸數如何

5. 我國ノ田畑最モ多キ所ト最少キ所ハ如何

6. 全國ニ於ケル田畑宅地ノ幅員ハ如何

7. 主ナル港名ヲ舉ゴ

8. 有名ナル灘ヲ示セ

9. 有名ノ海峽ヲ舉ケテ其位置ヲ示セ

10. 我國長流ノ少キハ何故ナルヤ

- 11 我國ノ雙美トハ何ゾヤ
- 12 全國府縣廳ノ數ハ如何
- 13 全國中人口十万以上ノ市名ヲ問フ
- 14 人口五万以上ノ市名ヲ問フ
- 15 師團ノ所在地ヲ問フ
- 16 警備隊配置ノ地ヲ問フ
- 17 海軍鎮守府ノ所在地ハ如何
- 18 特別輸出港ハ何處ナリヤ
- 19 海ナキ國名ヲ聞カン
- 20 著名ノ大河ヲ問フ
- 21 著名ノ高山ヲ問フ
- 22 日本第一ノ高地ハ如何
- 23 我國火山ノ有名ナルモノヲ舉ヨ又其總數ハ如何
- 24 有名ナル鑛山ヲ列舉セヨ
- 25 湖沼ノ有名ナルモノヲ舉ヨ
- 26 神社寺院ノ總數如何
- 27 全國學校ノ數及生徒ノ數ハ如何
- 28 郵便及電信電話ノ線路延長如何
- 29 鐵道線路ノ延長如何
- 30 本邦山脈ノ大勢ヲ舉ヨ
- 31 原野ノ著名ナルモノヲ舉ヨ
- 32 我國氣候ノ大要ヲ述ヨ
- 33 我國有名ノ物産ヲ舉ヨ
- 34 我國ノ地味ハ如何

- 35 我國固有ノ風俗如何
- 36 有名ナル温泉ヲ問フ
- 37 瀑布ノ著名ナルモノヲ舉ゴ
- 38 燈臺ノ有名ナルモノハ如何
- 39 各府縣管轄區域ヲ示セ
- 40 我國ノ沿岸ニ於ケル潮流ノ模様ハ如何
- 41 最大及最小ノ國名ヲ聞カン
- 42 文字及言語ハ如何
- 43 人種及其氣質ハ如何
- 44 政体及ヒ宗教ハ如何
- 45 橫濱港ト他ノ開港場トノ距離如何

二、畿内

- 46 畿内ノ分割ヲ問フ
- 47 畿内ノ境域ヲ問フ
- 48 畿内ノ地勢如何
- 49 府縣廳ノ所在地ヲ問フ
- 50 氣候ハ如何
- 51 有名ノ山岳ヲ舉ゴ
- 52 畿内ニ於ケル有名ノ温泉ヲ問フ
- 53 河川ノ著名ナルモノヲ舉ゴ
- 54 湖沼ノ有名ナルモノハ如何
- 55 物産ノ主眼ナルモノハ何ソヤ
- 56 畿内ノ名勝ヲ舉ゴ
- 57 京都ノ景況ヲ問フ

- 58 大坂ノ景況ヲ問フ
- 59 神戸ハ如何ナル所ゾ
- 60 畿内ノ都邑ヲ舉ヨ
- 61 有名ノ港ハ如何
- 62 有名ナル古跡ヲ問フ
- 63 京都ノ沿革ヲ畧説セヨ
- 64 大坂ノ沿革ヲ畧説セヨ
- 65 府縣廳所在地ヨリ東京ニ至ル距離ヲ問フ
- 66 山城ノ國名ハ何ニヨリテ起ルヤ

三、東海道

- 67 東海道ノ分割ヲ問フ
- 68 東海道ノ地勢ハ如何
- 69 府縣廳ノ所在地ヲ問フ
- 70 地方廳ヨリ東京ニ至ルノ距離如何
- 71 本道ノ氣候ハ如何
- 72 本道ノ境界ヲ問フ
- 73 温泉ノ著名ナルモノヲ聞シ
- 74 本道ニ於ル河川ノ有名ナルモノヲ舉ヨ
- 75 本道ノ名山ヲ問フ
- 76 海港ノ有名ナルモノヲ問フ
- 77 岬角ノ著名ナルモノハ如何
- 78 本道ノ都邑ヲ舉ヨ
- 79 本道ノ名勝舊跡ヲ舉ヨ
- 80 京都ヨリ東京ニ通スル道路ハ如何

- 81 全鐵道線路ヲ問フ
 - 82 本道ニ屬スル島嶼ノ有名ナルモノヲ舉ゴ
 - 83 東京ノ景況ヲ畧述セヨ
 - 84 東京ノ沿革ヲ畧述セヨ
 - 85 東京ノ位置ハ如何
 - 86 開港場中第一ト稱スヘキハ何港ナルヤ且其景況如何
 - 87 名古屋ハ如何ナル所ナルヤ
 - 88 湖沼ノ著名ナルモノヲ舉ゴ
 - 89 本道中諸鑛山ノ有名ナルハ何處ナリヤ
 - 90 本道諸國ノ物産ハ如何
 - 91 本道ニ屬スル海灣ノ著名ナル者ヲ聞シ
 - 92 本道ニ屬スル海洋ニシテ舟行ノ危險ナルハ何レノ處カ
 - 93 本道中地質ノ最モ善良ナルハ何レノ處ナルヤ
 - 94 小笠原島ヲ發見セシハ誰ナルヤ
 - 95 黒瀨川トハ如何ナル者ゾ
 - 96 本道著名ノ原野ヲ舉ゴ
 - 97 關東八州トハ何レノ處ナ云フヤ
- 四、東山道
- 98 東山道ノ分割ヲ問フ
 - 99 東山道ノ境域ハ如何
 - 100 中山道奥羽ノ區別ハ如何
 - 101 奥羽地方ヲ分割セシハ何レノ時カ
 - 102 本道ノ氣候ハ如何
 - 103 本道ノ地勢ヲ問フ

- 104 地方廳ノ所在地ヲ聞ン
- 105 各地方廳ハ東京ヲ距ル何里ナルヤ
- 106 有名ノ岬角ヲ問フ
- 107 海港ノ有名ナルモノアリヤ
- 108 海灣ノ名アルモノハ如何
- 109 本道ニ屬スル海島ノ著名ナルモノヲ舉ヨ
- 110 本道著名ノ大河ヲ舉ヨ
- 111 山岳ノ著名ナルモノヲ問フ
- 112 日光山ハ如何ナル所ゾ
- 113 湖沼ノ有名ナルモノヲ問フ
- 114 瀑布ノ有名ナルモノヲ舉ヨ
- 115 本道ニアル噴火山ヲ問フ

+

- 116 松島ノ勝ヲ聞ン
- 117 温泉ノ有名ナルモノハ如何
- 118 本道ノ地味ハ如何
- 119 有名ノ物産ヲ舉ヨ
- 120 本道中蠶桑業ノ最盛ナル地名ヲ舉ヨ
- 121 有名ナル鑛山ヲ問フ
- 122 本道ノ都邑ヲ舉ヨ
- 123 本道ニ於ル名勝古跡ヲ舉ヨ
- 124 本道ニ於ル原野ヲ問フ
- 五、北陸道
- 125 北陸道ノ分割ハ如何
- 126 北陸道ノ境界ハ如何

十一

- 127 本道ノ地勢ハ如何
- 128 本道ノ氣候ハ如何
- 129 本道ノ地味ハ如何
- 130 縣廳ノ所在地ヲ問フ
- 131 各地方廳ト東京トノ距離ヲ問フ
- 132 本道ノ名山ヲ問フ
- 133 本道ノ名川ヲ舉メ
- 134 全火山ハ如何
- 135 全温泉ハ如何
- 136 全湖沼ノ有名ナルモノヲ舉メ
- 137 全著名ノ瀑布ヲ問フ
- 138 有名ノ鑛山ヲ列舉セ

- 139 物産ハ如何
- 140 本道中有名ノ海港ヲ問フ
- 141 岬角ノ著名ナルモノハ如何
- 142 北海第一險惡ノ地ハ何處ナリヤ
- 143 本道ニ屬スル島嶼ヲ舉メ
- 144 全都邑ヲ舉メ
- 145 同舊跡ヲ舉メ
- 146 親不知トハ如何ナ所ナルヤ
- 147 著名ノ海灣ヲ舉メ
- 148 本道ニ於ル最モ廣濶ナル地ハ何レノ處カ
- 149 北陸第一安穩ナル港ハ如何
- 150 北陸第一ノ都會ハ如何

151 火井トハ如何ナル者ゾ

152 佐渡金坑ノ起原及ヒ現今ノ坑數ハ如何

六、山陰道

153 山陰道ノ分割ヲ問フ

154 本道ノ境界ハ如何

155 本道地勢ノ概畧ヲ聞シ

156 地方廳ノ所在地ヲ舉シ

157 地方廳ヨリ東京ニ至ル距離如何

158 本道ニ於ケル都會ヲ問フ

159 本道著名ノ物産ハ如何

160 本道ノ氣候ハ如何

161 名川ヲ列舉セヨ

162 湖沼ノ著名ナルモノヲ聞シ

163 本道著名ノ山岳ヲ聞シ

164 本道ノ鑛山ヲ舉シ

165 本道ニハ瀑布ノ著名ナルモノアリヤ

166 温泉ノ名高キモノヲ舉シ

167 岬角ノ名高キモノハ如何

168 良港ノ名アルモノヲ聞シ

169 本道ノ名勝及ヒ舊跡ヲ示セ

170 天ノ橋立ノ景ヲ記セヨ

171 本道ニ屬スル島嶼ノ名アルモノヲ舉シ

172 本道ノ地味ハ如何

七、山陽道

- 173 山陽道ノ分割ヲ問フ
 174 本道ノ境域ヲ問フ
 175 本道ノ地勢ヲ聞シ
 176 本道ノ氣候ハ如何
 177 全地味ヲ問フ
 178 本道ニ屬スル海灣ノ著名ナルモノヲ舉シ
 179 地方廳ノ所在地ヲ問フ
 180 各地方廳ヨリ東京ニ至ルノ距離如何
 181 有名ノ都會ハ如何
 182 有名ノ港ヲ舉シ
 183 海峽ノ著名ナルモノヲ舉シ
 184 岬角ノ著名ナルモノハ如何

- 185 著名ノ島嶼ヲ問フ
 186 瀬戸内海トハ如何ナル所ヲ云フヤ
 187 有名ノ山岳ヲ問フ
 188 本道ノ名川ヲ舉シ
 189 著名ノ物産ヲ聞シ
 190 有名ナル湖沼アリヤ
 191 著名ノ鑛泉アリヤ
 192 嚴島ノ勝ヲ記セシ
 193 名勝古跡ヲ舉シ
 194 鑛山ノ名アルモノヲ舉シ
 195 瀑布ノ名アルモノハ如何
 196 山陰山陽兩道第一ノ都會ヲ問フ

八、南海道

- 197 南海道ノ分割如何
- 198 其境域如何
- 199 其地勢如何
- 200 有名ノ岬角ヲ記セヨ
- 201 有名ノ海峡ヲ記セヨ
- 202 土佐灣ノ形勢ハ如何
- 203 良港ノ名アルモノヲ舉ゴ
- 204 山岳ノ著名ナルモノヲ問フ
- 205 河流ノ著名ナルモノヲ問フ
- 206 地方廳ノ所在地ヲ問フ
- 207 地方廳ヨリ東京ニ至ル里數如何

- 208 本道ノ都會ヲ列舉セヨ
- 209 氣候ハ如何
- 210 地味ハ如何
- 211 湖沼ノ有名ナルモノアリヤ
- 212 鑛泉ノ著名ナルモノアリヤ
- 213 物産ノ著名ナルモノヲ問フ
- 214 瀑布ノ名高キモノヲ聞ン
- 215 鑛山ヲ舉ゴ
- 216 島嶼ノ有名ナルモノヲ舉ゴ
- 217 鳴門海峡ノ潮勢ヲ問フ
- 218 名勝及ヒ古跡ノ有名ナルモノヲ問フ

九、西海道

- 219 西海道ノ分割如何
- 220 其境域如何
- 221 其地勢ノ概畧ヲ記セヨ
- 222 氣候ハ如何
- 223 地味ハ如何
- 224 地方廳ノ所在地ヲ問フ
- 225 各地方廳ヨリ東京ニ至ルノ距離如何
- 226 本道ノ都邑ヲ舉ヨ
- 227 有名ノ港泊ヲ問フ
- 228 著名ノ川流ヲ聞ン
- 229 著名ノ高山ヲ舉ヨ
- 230 火山ノ有名ナルモノヲ問フ
- 231 著名ノ岬角ハ如何
- 232 湖沼ノ大ナルモノヲ舉ヨ
- 233 温泉ノ有名ナルモノヲ舉ヨ
- 234 物産ハ如何
- 235 有名ノ礦坑アリヤ
- 236 九州島ニ屬スル島嶼ヲ舉ヨ
- 237 海峽ノ有名ナルモノヲ問フ
- 238 有名ノ海灣ヲ記セヨ
- 239 琉球群島中主ナルモノハ何ソヤ
- 240 琉球ノ氣候如何
- 241 五個莊トハ如何ナル所ゾ
- 242 耶馬溪ノ形勝ヲ略記セヨ

- 243 瀑布ノ著名ナルモノアリヤ
- 244 不知火トハ何ソヤ
- 245 本道中ニアル名勝古跡ヲ記セヨ
- 246 琉球ノ風俗如何
- 247 九州中ニ於ケル平原ヲ問フ

十、北海道

- 248 北海道ノ分割如何
- 249 其境域如何
- 250 本道ノ地勢ヲ問フ
- 251 本道ノ氣候ハ如何
- 252 本道ノ政廳ハ如何
- 253 都會ノ地ヲ問フ

- 254 北海道廳ヨリ東京ニ至ルノ距離ヲ問フ
- 255 岬角ノ有名ナルモノヲ舉ヨ
- 256 著名ノ港ヲ問フ
- 257 海峽ノ著名ナルモノヲ舉ヨ
- 258 海灣ノ名高キモノヲ聞ン
- 259 山岳ノ著シキモノヲ舉ヨ
- 260 火山アルヤ
- 261 礦山ハ如何
- 262 川流ノ有名ナルモノヲ舉ヨ
- 263 湖沼ノ著名ナルモノヲ問フ
- 264 物産ノ主ナルモノハ何ソヤ
- 265 礦泉ノ有名ナルモノアリヤ

- 266 瀑布ノ大ナルモノヲ問フ
- 267 本道ニ屬スル島嶼ノ有名ナルモノヲ問フ
- 268 本道土人ノ風俗如何
- 269 本道ノ平地ヲ舉ゴ
- 270 本道ノ地味ハ如何

附 錄

- 各國ノ沿革
- 各市制地人口表
- 各府縣別人口表

日本地理問答

青木俊太郎編著

一、 總論

(1) 地理學ノ必要ヲ述ヘヨ

商業家ハ之ニヨリテ各地ノ物産人情風俗ヲ察シ以テ通商貿易ノ道ヲ擴張シ航海家ハ之ニヨリテ針路ヲ定メ以テ其危難ヲ避ケ政治家ハ之ニヨリテ殖産遞信ノ政略ヲ畫シ以テ富強ノ基ヲ定メ兵冢家ハ之ニヨリテ攻守ノ策ヲ講シ以テ強兵ノ實ヲ立ツ之レ皆地理學ノ必要ナル所以ニシテ其他諸學科ノ此學ニ關係ヲ有スルモノ頗ル多キヲ以テ之ヲ考フルトキハ其緊要ナルコト一々枚舉スベカラサルナリ聞説ク數十年前洋人ノ我國ニ來リ遊ブモノアリ某地ニ於テ少年ノ遊ベルモノニ逢ヒ問フテ曰ク此地ノ人口幾何ソヤト少年答フル所ナシ又問フテ曰ク此地ノ經緯度幾何ナルヤト又答フル所ナシ是ニ於テ彼洋人冷笑シテ曰ク日本未ダ教育ノ普及セザル知ルベキナリト今日固ヨリ這般ノ失体ナカルベシト雖モ人事ノ複雜ナルニ從ヒ此學ノ必要ヲ感スルヲ益多キ

敢

二

ハ散テ疑ヲ容レサルナリ寄語ス今日以後ノ少年若右等啜笑ヲ受クルノ源ヲ杜絶スル
ハ固ヨリ論ナシ益此學ノ効用ヲシテ顯著ナラシムルヲ勉メヨ

(2) 我國ノ位置並ニ境界ハ如何

我日本國ハ亞細亞洲ノ東隅ニ位セル帝國ニシテ北ハ阿哥斯科海ヲ隔テ、魯西亞領ニ
對シ東南ハ太平洋ニ臨ミ西北ハ支那海日本海ヲ隔テ、支那朝鮮滿州ニ對シ殊ニ琉球
群島ノ臺灣ニ對スル僅ニ一葦帶水ヲ隔ツルノミ東北ヨリ斜ニ長ク西南ニ亘リ北緯二
十四度十分ヨリ起リ五十度五十六分ニ終リ東經百二十二度四十五分ヨリ全百五十
六度三十二分ニ至ル〔我東京ヲ基トスレハ東ハ十六度四十分ニ至リ西ハ十六度五十
二分ニ至ル〕

(3) 地勢ノ大略ヲ問フ

四面皆海洋ヲ繞ラシ四個ノ大島ト數千ノ小島ヨリ成レリ本州ト稱スルモノハ中央ノ
大嶋ニシテ中部最モ廣ク兩端漸ク狹ク四國九州ノ二島其西南ニ在リ蝦夷島其北ニア
リ直徑凡ソ五百餘里幅三十里ヨリ百二十里ニ至ル島嶼ノ有名ナルモノ佐渡淡路壹岐

對馬隱岐千島琉球小笠原嶋等トス沿岸ノ屈曲非常ニ多ク海岸線ノ延長諸島ヲ合セテ
大約一萬五千餘里ニ及ヒ從テ良港ニ乏シカラス船運ノ便亦多シ内地ハ山嶺甚々多ク
シテ山脉本州ノ中央ヲ縱斷シ且地勢狹長ナルヲ以テ河流多キモ長流少シ然レテ河流
ニ沿フノ地概テ肥沃膏腴ニシテ能ク穀蔬ヲ産シ内地概テ開墾ニ就ク唯北海道即チ蝦
夷島ハ開拓未タ完カラス

(4) 全國ノ幅員及ヒ人口戶數如何

面積二万四千七百九十四方里ニシテ人口四千七万二千二十人〔内男二千二十四万六
千三百三十六人女一千九百八十二万五千六百八十四人〕戶數七百八十四万八百七十
二戸ナリ即チ一方里ノ人口一千六百十六人強ニ當レリ又之ヲ族籍ヲ以テ分ツトキハ
華族三千八百二十五人士族百九十九万三千六百三十七人平民三千八百七万四千五百
五十八人トス
〔明治二十二年十二月三十一日調〕

(5) 我國ノ中人口最モ多キ所ト最少キ所ハ如何

國ニ比較シテ最モ多キハ淡路島ニシテ一方里ニ付五千二百余人〔面積三十六方里〕アリ最モ少キハ

三

千島ニシテ一方里ニ付僅ニ一人(面積千十一方里)ニ過キズト云フ

(6) 全國ニ於ケル田畑宅地ノ幅員ハ如何

民有ニ屬スル反別總計一千三百八十万五千一百五十四町歩ノ内田地二百七十七万六千五百六十四町歩畑地二百二十七万三千二百二十二町歩宅地三十八万五千五百十町歩ニシテ其他ハ山林池沼等ナリ
〔明治二十一年十二月三十一日調〕

(7) 主ナル港名ヲ舉ケヨ

港ノ主ナルモノニシテ外國ト貿易ヲ行フ者武藏ノ横濱ヲ以テ最モ繁盛トシ肥前ノ長崎博多、筑前ノ鳥羽(志摩)酒田(羽後)青森(陸奥)廣島(安藝)鹿兒島(薩摩)伏木(越中)那覇(琉球)下田(伊豆)七尾(能登)多度津(讃岐)等其最モリ其他小港數ヲ知ラズ

(8) 有名ナル灘ヲ示セ

全國中灘ノ大ナルモノヲ舉クレハ遠州灘(遠江)相模灘(相模)周防灘(周防)日向灘(日向)

向(播磨)灘(播磨)水島灘(備中備後)經灘(長門)玄海灘(筑前)等其最タルモノナリ就

中遠州灘玄海灘ノ如キハ風浪險惡舟行ノ最モ難ム所ニシテ玄洋冬時ニ於テ最モ甚マ

(9) 有名ノ海峽ヲ舉ケテ其位置ヲ示セ

- 由良瀬戸 淡路ト紀伊ノ間ニアリ
- 根室海峽 千島ト蝦夷島ノ間ニアリ
- 早瀬戸 長門ト豊前ノ間ニアリ
- 鳴門海峽 淡路ト阿波ノ間ニアリ
- 明石瀬戸 淡路ト播磨ノ間ニアリ
- 宗谷海峽 蝦夷島ト樺太ノ間ニアリ
- 津輕海峽 本島ト蝦夷島ノ間ニアリ

右ノ中距離最モ狭キハ由良峽二十四町鳴門峽十五町明石峽廿八町ニシテ早瀬峽ハ僅ニ五町ニ過キズ舟行ノ最モ難ムハ鳴門峽ニシテ岩礁散布激浪旋渦ヲナシ勢ヒ奔雷ノ如シ之ヲ我國第一ノ險トス

(10) 我國長流ノ少キハ何故ナルヤ

全國ノ形勢東北ヨリ西南ニ亘リ直徑凡ソ五百余里ニ及フト雖モ幅狭クシテ廣キモ百二十里ニ過キズ狭キ所ハ僅ニ三十里ノミ加フルニ其中央ニ大山脉蜿蜒連亘シテ國勢

チ縦断シ殆ト春梁ノ狀チナシ川流多ク此山脉ヨリ出テ、東西ニ流ル故ニ急流多ク
テ大川少シ

(11) 我國ノ雙義トハ何ゾヤ

湖ノ最モ大ナルモノ近江ノ琵琶湖トス周圍七十三里餘其周圍ニ八景ノ勝アリ風光極
テ明媚ナリ山ノ最モ高キモノ駿河ノ富士山トス直立一里三町余山形秀麗恰モ倒扇ノ
如ク四時雪チ冠セリ之チ我國ノ雙美ト稱ス

(12) 全國府縣廳ノ數ハ如何

三府四十三縣一廳ナリ(其所在地ハ各道ノ部ニ分記ス)

(13) 全國中人口十万以上ノ市名ヲ問フ

- 東京市 人口百三十七万八千百卅二人
- 大阪市 人口四十七万三千四百十七人
- 京都市 人口二十七万九千六百六十五人
- 名古屋市 人口十五万七千五百〇五人
- 横濱市 人口十二万二千四百四十三人
- 神戸市 人口十三万四千九百〇一人

〔明治二十二年十二月三十一日現在〕

(14) 人口五万以上ノ市名ヲ問フ

- 廣島市 八万三千八百九十六人
- 仙臺市 八万六千五百〇五人
- 金澤市 九万四千四百〇七人
- 富山市 五万七千八百五十七人
- 徳島市 六万〇百四十四人
- 和歌山市 五万六千二百〇二人
- 長崎市 五万四千六百三十五人
- 福岡市 五万一千〇五十八人
- 鹿児島市 五万七千七百五十八人

〔明治二十二年十二月三十一日現在〕

(15) 師團ノ所在地ヲ問フ

- 武藏ノ東京 陸前ノ仙臺 尾張ノ名古屋 攝津ノ大坂 安藝ノ廣島
- 肥後ノ熊本之ナリ

(16) 警備隊配置ノ地ヲ問フ

- 小笠原島 第一師團(東京)第一旅團(東京)ニ屬ス
- 佐渡 第二師團(仙臺)第三旅團(仙臺)ニ屬ス
- 隠岐 第五師團(廣島)第九旅團(廣島)ニ屬ス

(17) 海軍鎮守府ノ所在地ハ如何
大島沖繩 第六師團(熊本)第十一旅團(熊本)ニ屬ス
五島對馬 全 第十二旅團(小倉)ニ屬ス

- 第一 相模橫須賀港
- 第二 安藝吳港
- 第三 肥前佐世保港
- 第四 丹後舞鶴港
- 第五 膽振室蘭港

(18) 特別輸出港ハ何處ナリヤ

- 四日市(伊勢) 下ノ關(長門) 博多(筑前) 門司(豊前) 口津(肥前) 唐津(肥前)
 - 三角(肥後) 伏木(越中) 小樽(後志) 根室(根室) 室蘭(丹後)
- 海ナキ國名ヲ聞カン

(19) 山城大和河内(以上畿内) 伊賀甲斐(以上東海道) 近江美濃飛騨信濃上野下野岩代
〔以上東山道〕 美作(山陽道) 丹波(山陰道)ノ十四國トス
著名ノ大河ヲ問フ

(20) 我國第一ノ長流ハ石狩川(石狩)ニシテ長サ凡ソ百六十余里之ニ亞クモノヲ信濃川(信濃越後)トス長サ凡ソ二百里アリ利根川(上野武藏下総常陸)北上川(陸前陸中)流域凡ソ七十余里ニ亙リ最上川(羽前羽後)天龍川(信濃遠江)流域凡六十余里木曾川(信濃美濃尾張伊勢)阿武隈川(岩代磐城)大井川(遠江駿河)ノ如キハ流域凡五十里アリ其他吉野川(土佐阿波)筑後川(筑後)川内川(薩摩)等亦著名ノ大河ナリ又球摩川(肥後)富士川(駿河)最上川(羽前羽後)ノ三川ハ水勢尤モ險急ニシテ本邦三急流ノ稱アリ

(21) 著名ノ高山ヲ問フ

- 我國第一ノ高山ハ富士山(休火山)ニシテ直立一万二千三百七十尺之ニ次クモノヲ左ノ諸山トス
- 鎗岳 飛騨信濃ニ跨ル高サ一万一千六百五十尺
- 穗高山 全國ニ在リ高一万一千五百尺余
- 御岳 亦同國ニ在リ高一万七百尺
- 赤石山 駿河信濃ノ境ニアリ高サ一万二百尺

白根山

甲斐ニ在リ高一万二百尺

駒岳

甲斐信濃ニ跨ル高九千九百尺

大蓮華山

越中越後信濃三國ノ境ニアリ高九千八百七十尺

國師ヶ嶽

信濃ニアリ高九千八百尺

蓮華山

信濃越中ニ跨ル高九千七百尺余

立山(火山)

越中ニアリ高九千五百尺余

乗鞍岳

信濃飛騨ニ跨ル高九千一百尺

八ヶ岳

甲斐信濃ノ境ニアリ高九千尺

白山

加賀ニ在リ高八千九百尺餘

地獄岳

甲斐ノ西境ニ在リ高八千八百五十尺余

金峯山

全北境ニ在リ高八千五百五十尺

立科山

信濃ニアリ高八千三百五十尺

高妻山

全國ニテ高凡八千三百尺

淺間山(噴火山)

全國ニアリ高凡八千二百尺

男休山

下野ニアリ高凡八千二百尺

其他高山頗ル多シト雖之ヲ各道ノ部ニ讓リ茲ニハ唯八千尺以上ノモノ、ミチ記ス

(22)

日本第一ノ高地ハ如何

飛騨信濃ノ際ヲ以テ最高ノ地トス即チ乗鞍岳鎗岳等ノ山脉相重疊セル所ナリ

(23)

我國火山ノ有名ナルモノヲ舉グ又其總數ハ如何

東山道ニ在テ、陸奥ノ忍山岩代ノ二本松岳信濃ノ淺間岳等アリ北海道ニ於テハ渡嶋

ノ惠山舟跡路ノ阿寒岳等アリ西海道ニテハ肥後ノ阿蘇山日向ノ霧島山肥前ノ温泉岳

アリ北陸道ニ於テハ越中ノ立山越後ノ妙高山等其有名ナルモノ、コシテ我國火山ノ總

數凡ソ一百七十アリ其内本州及伊豆ノ諸島ニアルモノ九十蝦夷島ニアルモノ十八、

四國島ニアルモノ一、九州島ニアルモノ十六、千島其他ノ諸島ニ散在セルモノ合テ四

十五アリ

◎

(24)

有名ナル鑛山ヲ列舉セヨ

最モ多ク金銀ト産出スルハ佐渡ノ金北山トシ但馬ノ生野岩代ノ半田羽後ノ院内等ヨリ銀ヲ産ス又銅ハ羽後ノ阿仁陸中ノ尾去澤下野ノ足尾等ヨリ産シ鐵ハ陸中早池峯信濃ノ穴田伯耆安藝備後ノ諸鐵山等ヲ最トス石炭ハ肥前ノ高島石狩ノ空知筑後ノ三池豊前ノ田川筑前ノ嘉麻穂波等ヨリ産スルモノ最モ夥多クシテ去明治二十一年ノ如キ全國採炭高凡ソ一百五十萬噸ヨシテ其内福岡縣ニ屬スルモノ五十五萬噸余即全國總高ノ三分ノ一以上ニ當ルノ統計ヲ得タリ

(25)

湖沼ノ有名ナルモノヲ舉グ

最大ナルモノヲ近江ノ琵琶湖トス東西十里南北二十里周回七十三里ヨリ風光明娟甚タ愛スベシ之ヨ亞ケルモノヲ常陸ノ霞浦岩代ノ猪苗代湖羽後ノ八郎瀧トス其他下總ノ印幡沼陸奥ノ十和田湖出雲ノ穴道湖信濃ノ諏訪湖下野ノ中禪寺湖相摸ノ箱根湖等ハ皆著名ナルモノトス

(26)

神社寺院ノ總數如何

全國ニ於ケル神社總數十九萬三千〇三十一寺院總數七萬一千九百七十三

(明治二十一年十二月三十一日現在)

(27)

全國學校ノ數及生徒ノ數ハ如何

學校ノ總數二萬八千〇〇五校 生徒數三百十四萬四千〇六十六人内小學校公私立合テ二萬六千〇九十八校生徒數三百〇三萬一千三百九十四人

(明治二十二年十二月三十一日調)

(28)

郵便及電信電話ノ線路延長如何

郵便ハ線路ノ延長一萬七千九百四十里(明治二十一年十二月三十一日調)ニシテ電信線ハ七千六百三十里(全二十二年末日調)ニ及ヒ電話線モ亦已ニ延長六百十五里(全上)ニ及ベリ通信ノ便大ニ進メリト云フベシ

(29)

鐵道線路ノ延長如何

東海道鐵道既ニ成リテ三府ヲ一線ニ聯絡シ日本鐵道將ニ青森ニ達セントシ中山道鐵道亦既ニ成リ加フルニ山陽鐵道ハ既ニ岡山ニ達シ九州鐵道亦其功ヲ竣ヘントス而シテ現今既成ノ線路一千四百四十五哩餘ニシテ其中主ナル線路ヲ舉クレハ新橋神戸間

三百七十六哩余上野盛岡間三百廿八哩門司熊本間ノ百廿哩神戸倉敷間ノ百哩輕井澤直江津間ノ九十二哩余等ニシテ軌道ノ全國ヲ貫聯スルヲ將ニ近キニアラントス縮地ノ法亦極レリト云フベシ

(20)

本邦山脉ノ大勢ヲ舉ゴ

本州ニ蜿蜒セル諸山脉ハ皆北海道ノ山系ニシテ樺太ヨリ來リ岐レテ十字形ノ二派ト也其一脈即チ夕張後方羊蹄ノ諸山脈進ンテ本州ニ入り三派ノ山脈ヲ起シ重疊盤結シテ遂ニ白山富士等ノ諸山脈トナリ以テ東海東山北陸ノ三道ヲ分ツ白山々系ハ加賀越中ノ間ニ聳ヘテ蜿蜒連亘シ分レテ二トナリ一ハ美濃伊勢ニ走リテ大和ノ南部及ヒ紀伊ニ連リ遂ニ四國ニ入ル一ハ西ニ向テ山陰山陽ヲ分割シ西海道ニ入りテ阿蘇霧島ノ脈トナリ延テ琉球群島ニ至ル之ヲ本脈トス富士ノ山系ハ先ツ上野信濃ノ間ニ群リテ碓氷淺間ノ諸山トナリ南ニ走リテ本脈ノ主ナル富士ノ高山ヲ起シ餘脈延テ太平洋中ニ入り伊豆七島及ヒ小笠原群島トナル之ヲ支脈トス

(31)

原野ノ著名ナルモノヲ舉ゴ

最モ沿海大川ノ濱ニ多ク其主ナルモノヲ舉クレハ東海道ニ在テハ下総ノ習志野小金原、駿河ノ富士野、遠江ノ三形原、常陸ノ女化原、東山道ニ在テハ下野ノ那須野、信濃ノ桔梗原、西海道ニ在テハ豊後ノ鶴見、大隅ノ笠野、北海道ニ在テハ石狩ノ平野等ニシテ概シテ關左八國ノ地ハ平潤ナル沃野多シトス

(32)

我國氣候ノ大要ヲ述ゴ

全國北温带ニ位スルヲ以テ氣候概シテ中和ニシテ人身ニ適ス然レモ我國ノ地勢東北ヨリ西南ニ向テ長ク延ケルヲ以テ北而南向ノ差ニヨリテ寒暄相同シカラス東北地方殊ニ北海道ノ如キハ寒威最モ凜烈ニシテ氷雪常ニ絶ヘスト雖モ之ニ反シテ南方琉球地方ニ至テハ最モ暖ニシテ終歲雪ヲ見ズ四時花卉ノ繁茂スルヲ見ル

(33)

我國有名ノ物産ヲ舉ゴ

五穀茶蠶糸陶器漆器煙草甘藷金銀銅鐵石炭硫黃及ヒ酒類砂糖諸種ノ織物藥品牛馬等是レ其最タルモノニシテ皆盛ニ海外ニ向テ輸出セリ

(34)

我國ノ地味ハ如何

各地方ニヨリ相異ナリト雖モ概シテ肥沃ニシテ耕耘ニ適シ穀菜能ク成熟シ寒帯地方ノ如キ不毛ノ地ナキノミナラズ地方ニヨリテハ一歲兩度米穀ノ熟スルヲ見ル

(35) 我國固有ノ風俗如何

土地ノ形勢交通ノ便否ニヨリ相異ナリテ一様ナラズト雖モ概シテ風俗温厚ニシテ婦ハ男ニ隨フヲ以テ古來ノ習慣トス今其風俗ヲ地方ニヨリテ概別スレハ關東ハ俠ニシテ義ニ勇ミ畿甸ハ柔ニシテ雅、九州ハ峭直ニシテ悍、中國ハ温約ニシテ樸野、北海道ハ頑ニシテ直ト評スヘシ又琉球ハ迂ニシテ四國ハ裕ナリ是唯其一班ノ特所ヲ言フノミ其他地方ニヨリ輕薄奢靡ニ流レ慧黠ニシテ巧便ナルモノ少カラス近年外交ノ盛ナルニ及ヒ風俗ノ大ニ變スルヲ見ル而シテ氣節ニ富ミ忠君愛國ノ情誼ニ厚キハ之レ我國特有シ美風ニシテ地方ニヨリ相異ナルコトナシ然レモ概シテ忍耐ノ力ニ乏シク小成ニ安スルノ風アルカ如キハ之レ我國民ノ欠點ナリ

(36) 有名ナル温泉ヲ問フ

有馬(攝津)熱海(伊豆)草津(香保)上野(箱根)七湯(相模)道後(伊豫)那須(越前)下野(別府)豊後(湯島)但馬(等)ヲ以テ其有名ナルモノトス

(37) 瀑布ノ著名ナルモノヲ舉グ

紀伊ノ那智瀑加賀ノ千尋瀑磐城ノ石川瀑下野日光山中ノ華嚴裏見霧降ノ三瀑布釧路ノ阿寒瀑攝津ノ布引瀑等最モ有名ニシテ就中裏見ノ瀑布ノ如キ屹然突出セル岩石ノ壁頂ヨリ瀉下セルヲ以テ人能ク其裏面ヨリ之ヲ望ムヲ得ル故テ此名アリ亦奇觀ナリ

(38) 燈臺ノ有名ナルモノハ如何

渡嶋箱館、武藏品川沖本牧岬及ヒ横濱ノ埠頭、遠江ノ御前崎、安藝ノ御手洗、長門ノ六逆島、豊前ノ部崎、筑前ノ烏帽子島、肥前ノ伊王島、大隅ノ佐多崎、攝津ノ天保山和田岬、紀伊ノ檜野崎苦島、備後ノ鞆津、石見ノ外ノ浦、出雲ノ美保崎、伊豆神子元島、上総ノ富津崎、安房ノ野島崎、下総ノ犬吠崎、相摸ノ觀音崎、志摩ノ安乘崎、陸奥ノ尻屋崎、陸前ノ石卷港及金華山、根室ノ辨天島等ヲ其主ナルモノトス

(39) 各府縣管轄區域ヲ示セ

東京府 武藏ノ内一市六郡及伊豆七島小笠原島

京都府 山城丹後一圓及丹波ノ内五郡
 大坂府 河内和泉一圓及攝津ノ内一市七郡
 相摸一圓及武藏ノ内一市六郡
 兵庫縣 播磨但馬淡路一圓及ヒ攝津ノ内一市五郡丹波ノ内二郡
 長崎縣 壹岐對馬一圓及ヒ肥前ノ内一市六郡
 新瀉縣 越後佐渡一圓
 埼玉縣 武藏ノ内十七郡下総ノ内一郡
 千葉縣 安房上総一圓下総ノ内八郡
 茨城縣 常陸一圓及下総ノ内六郡
 群馬縣 上野一圓
 栃木縣 下野一圓
 奈良縣 大和一圓
 三重縣 伊賀伊勢志摩一圓及紀伊ノ内二郡

愛知縣 尾張三河一圓
 静岡縣 遠江駿河一圓及伊豆(但七島及小笠原島ヲ除ク)
 山梨縣 甲斐一圓
 滋賀縣 近江一圓
 岐阜縣 美濃飛彈一圓
 長野縣 信濃一圓
 宮城縣 陸前(氣仙郡ヲ除ク)及盤城ノ内三郡
 福島縣 岩代一圓及盤城ノ内十一郡
 岩手縣 陸前一郡及陸中(鹿角郡ヲ除ク)并陸奥ノ内一郡
 青森縣 陸奥(二戸郡ヲ除ク)
 山形縣 羽前一圓及羽後ノ一郡
 秋田縣 羽後(飽海郡ヲ除ク)及ヒ陸中ノ内一郡
 福井縣 若狹越前一圓

- 石川縣 加賀能登一圓
- 富山縣 越中一圓
- 鳥取縣 因幡伯耆一圓
- 島根縣 出雲石見隱岐二圓
- 岡山縣 美作備前備中一圓
- 廣島縣 備後安藝一圓
- 山口縣 周防長門一圓
- 和歌山縣 紀伊(南北牟婁郡ヲ除ク)
- 徳島縣 阿波一圓
- 香川縣 讃岐一圓
- 愛媛縣 伊豫一圓
- 高知縣 土佐一圓
- 福岡縣 筑前筑後一圓及豊前六郡

- 大分縣 豊後一圓及豊前ノ内二郡
- 佐賀縣 肥前ノ内一市十郡
- 熊本縣 肥後一圓
- 宮崎縣 日向(南諸縣郡ヲ除ク)
- 鹿児島縣 大隅薩摩一圓及日向ノ内一郡
- 沖繩縣 琉球一圓
- 北海道廳 北海道一圓

(40)

我國ノ沿岸ニ於ケル潮流ノ模様ハ如何

赤道ノ直下ヨリ支那ノ東岸ヲ旋リテ東北ニ向ヒ九州島ノ南ニ至リ分レテ二派トナリ
 一ハ日本海ニ注キ一ハ本州ノ南ニ沿ヒ東海道ニ至リ又分派シテ二ツトナリ一ハ
 北海道ノ南ニ走リ一ハ南ニ流レテ太平洋ニ入ル所謂黒瀬川ト稱スルモノハ此潮流ナ
 リ

(41)

最大及最小ノ國名ヲ聞ン

最大ナルハ信濃國ニシテ最小ナルハ志摩國ナリ

(42) 文字及言語ハ如何

文字ハ一般同字ヲ用フ漢字及ヒ片假名平假名之ナリ言語ハ維新前各藩割據シテ他藩トノ交通疎ナリシヲ以テ地方ニ從ヒ自ラ相異ナルニ至リ去聲入聲平聲等ニヨリテ之ヲ大別スレハ凡ソ十六種トナル然レモ現今交通ノ頻繁ナルニ從ヒ漸ク相類スルヲ見ル但シ北海道土人即チ「アイノ」ノ言語ノ如キハ總テ之ヲ解スルコト能ハス要スルニ古昔三韓ト交通シ佛法傳來スルコト及ヒ國語ノ粹ヲ失ヘルモノ少カラサルベク近世文化大ニ進ミ外交盛ナルコト及ヒ其變遷更ニ甚シキコト似タリ之レ蓋シ已ムヲ得サルノ勢トス

(43) 人種及其氣質ハ如何

我國人ハ亞細亞人種即チ蒙古種ニ屬スルモノコシテ短身黃色鬚髮少ク頭髮純黒ナリ而シテ其氣質義烈ニシテ忠勇ノ氣ニ富ミ君臣ノ大義ヲ守リ古來曾テ其義ヲ破ラズ小心翼々トシテ皇室ヲ仰ケルニ至テハ之レ大和民族一種ノ美風ニシテ他邦ノ敢テ企及スベカラサル所ナリ

(44) 政体及宗教ハ如何

政体ハ立憲政体ニシテ萬世一系ノ天皇親ラ大政ヲ總攬シ玉ヒ國体ノ尊嚴復タ干ス可ラス内閣總理大臣及外務大藏陸軍海軍内務農商務文部遞信ノ各大臣ヲ以テ内閣ヲ組織シ以テ輔弼ノ責ニ任シ又帝國議會ヲ開キ以テ人民ニ政治ヲ議スルノ權ヲ賦與シ玉ヒ立憲政体ノ國ハ東洋ニ於テ唯我日本アルノミ
我國ニ於テハ固有ノ宗教ト稱スベキモノナク古來神道以テ人心ヲ収攬ス然ルニ佛教渡來以後一般人民ハ多ク之ヲ奉セシカ近年耶蘇教ヲ奉スルモノ漸ク多ク處々ニ其會堂ヲ觀ルニ至レリ要スルニ臣民タルノ義務ニ違背スルコトナキ限ニ於テハ信教自由ノ制度ニシテ復ニ國教ノ設ナシ

(45) 橫濱港ト他ノ開港場トノ距離如何

同港ヨリ神戸港へ三百四十三海里長崎港へ七百〇七海里函館港へ五百十八海里新瀉港へ七百三十八海里

二、畿内

(46) 畿内ノ分割ヲ問フ

山城大和河内和泉攝津ノ五國トス

(47) 畿内ノ境域ヲ問フ

東ハ東山道及東海道ニ連リ南ハ南海道ニ接シ西北ノ一部ハ山陽道ニ接シテ一部ハ大坂灣ヲ環擁シ北ハ山陰道ニ隣レリ

(48) 畿内ノ地勢如何

我帝國中央部ノ稍西南ニ在リ東西廿五里南北卅五里面積四百四十五方里アリ僅ニ西南大坂灣即茅渚海瀕海ヲ除クノ外峰巒相連亘シ平地極メテ少ク大和河内ノ如キ最モ然リトス川流ハ中央ノ連山ヨリ發シテ多ク西ニ流レ大坂灣ニ朝シ水利ノ便アリ瀕海ノ地風光秀麗勝地ニ乏シカラス

(49) 府縣廳ノ所在地ヲ問フ

京都府ハ山城ノ京都コアリ大坂府ハ攝津ノ大坂コアリ奈良縣ハ大和ノ奈良ニ在リ兵庫縣ハ攝津ノ神戸ニ在リ

(50) 氣候ハ如何

概テ温暖ニシテ人身ニ適ス唯中央以南ノ地ハ山岳重疊セルヲ以テ稍寒冷ヲ覺フ

(51) 有名ノ山岳ヲ舉ゴ

比叡山愛宕山高尾笠置山鞍馬山(以上山城)摩耶山武庫山(以上攝津)生駒山大臺原山吉野山金峯山信貴山(以上大和)槇尾山犬鳴山(以上和泉)金剛山紀見峠(以上河内)

(52) 畿内ニ於ケル有名ノ温泉ヲ問フ

攝津ノ有馬ノ温泉最有名ニシテ二面山ヲ負ヒ風色甚タ佳ナルヲ以テ頗ル避暑ニ適ス故ニ夏時ノ浴客甚タ多ク古舒明聖武二帝ノ行幸シ玉ヒシコアリ同國諏訪山ノ温泉亦著ハルト雖モ其勝有馬ニ及バズ

(53) 河川ノ著名ナルモノヲ舉ゴ

淀川 源チ近江ノ琵琶湖ニ發シ山城ヲ經テ攝津ニ至リ大坂灣ニ入ル
加茂川 源チ山城ノ愛宕郡ニ發シ京都市ヲ貫キテ南ニ流レ桂川ニ入ル

桂川 丹波ヨリ來リ山城ノ西邊ヲ南流シ加茂川ヲ合セテ淀川ニ會ス

大和川 源ヲ大和ノ東部ニ發シ西流シテ河内ノ中央ヲ貫キ和泉攝津ヲ界シテ海ニ入ル

吉野川 源ヲ大和ノ大臺原山ニ發シ南流シテ紀伊ニ入ル

十津川 源ヲ大和ノ吉野郡ニ發シ南流シテ紀伊ニ入ル 廿二里 紀伊ノ長門

(54) 湖沼ノ有名ナルモノハ如何

山城ノ巨掠池 河内ノ狹山池

(55) 物産ノ主眼ナルモノハ何ゾヤ

宇治茶西陣織鴨川染清水燒(山城)吉野紙吉野葛奈良晒(大和)木綿(河内)段氈(和泉)伊丹酒御影石神戸牛(攝津)等トス

(56) 畿内ノ名勝ヲ舉ゴ

攝津ノ須磨浦ハ明月ヲ以テ全國布引瀑ハ奇觀ヲ以テ山城ノ嵐山ハ櫻花ヲ以テ高尾山ハ紅葉ヲ以テ大和ノ吉野山ハ櫻花ヲ以テ月ヶ瀬ハ梅花ヲ以テ其名天下ニ高シ其他笑面瀑(攝津)ハ紅葉ノ勝ヲ兼テ有馬及諏訪山(同國)ハ温泉ヲ以テ著ハレ龍田(大和)ノ楓亦名アリ就中吉野山ハ滿山皆櫻樹ニシテ其幾千百株ナルヲ知ラス所謂一目千本ノ勝トテ人口ニ膾炙セル所ナリ月ヶ瀬ハ梅林殆ト三拾町ニ亘リ玲瓏馥郁清香數里ニ徹シ山水ノ勝亦之カ趣ヲ添フ共ニ天下無雙ト稱ス

(57) 京都ノ景況ヲ問フ

一名平安城ト云フ山城ノ中央ニアリ桓武帝ノ都ヲ定メラレシヨリ今上帝都ヲ東京ニ移シ玉フマテ七十一世千七十四年間ノ帝都タリシ所ニシテ中世兵乱以後昔日ノ繁華復見ルベカラスト雖モ方今人口凡ソ二十七万余市街井然家屋概テ清潔ナリ鴨河其中央ヲ流レ東山西山ハ東西ヲ圍繞シ山水明媚ノ勝此ニ鍾マリ風光最モ愛スベク高尾ノ紅葉嵐山ノ櫻花ハ人ノ最モ賞スル所ナリ其他知恩院清水寺金閣及銀閣北野天滿社八坂神社相國寺本願寺等ノ名勝古跡アリテ遊人常ニ絶ヘズ一條ニ舊皇居アリ都ノ西方ニ二條城アリ二條ノ離宮ト稱ス

丹波

(58) 大坂ノ景況ヲ問フ

我國第二ノ都會ニシテ仁德帝ノ都趾タリ商業上最モ樞要ノ地位ニシテ海陸ノ運輸ニ便ニ百貨輻輳頗ル殷賑ヲ極メ本邦西部第一ノ通商地タリ人口四十七万余市街壯麗ニシテ淀川其中央ヲ流レ支流縱横市中ヲ貫流シ船舶常ニ河口ニ碇泊シテ瀛笛ノ響晝夜ニ絶ヘス大坂城ハ豊太閤ノ建ツル所ニシテ宏壯比類ナカリシガ慶長中城陥リテ今ハ僅ニ牙城ヲ存スルノミ天満宮四天王寺ハ最モ有名ナル所ニシテ又造幣局及ヒ外人ノ居留地アリ

(59) 神戸ハ如何ナル所ゾ

此地兵庫ト相接シ湊川ヲ以テ之ヲ界ス慶應三年ノ開港ニシテ五港ノ一ナリ外國人ノ居留地アリ宏壯清潔ナリ人口凡ソ十三万余數十ノ船舶常ニ港内ニ碇泊セリ海上ヨリ市街ヲ望メハ家屋櫛比白壁相映シテ最モ壯麗ナリ市中ニ湊川神社アリ境内廣大參詣ノ人常ニ絶ヘズ

畿内ノ都邑ヲ舉ゴ

大坂神戸兵庫(攝津)京都伏見宇治(山城)奈良郡山(大和)堺(和泉)牧方(河内)等ナリ

(61) 有名ノ港ハ如何

神戸兵庫大坂(攝津)堺(和泉)

(62) 有名ナル古跡ヲ問フ

畿内ノ地歷朝ノ帝都タリシ所ナルヲ以テ古跡ノ名アルモノ頗ル多ク名勝古跡ノ淵藪ト云フモ過言ニアラサルヘシ今其一ニテ舉ゲンニ

吉野山

延元元年後醍醐天皇此ニ幸シ玉ヒ行宮ヲ建テ給フ之ヨリ南朝三世五十年ノ行在所タリ山上天皇ノ陵アリ

笠置山

後醍醐天皇ノ宮趾アリ天皇楠正成ヲ召シテ兵ヲ舉ケラレシ所ナリ

金剛山

千窟ノ城趾アリ楠正成ノ築キシ所ナリ

湊川

楠正成足利尊氏ノ兵ト戦ヒテ忠死セシ所ニシテ湊川神社内ニ正成ノ墓アリ

赤坂城趾

楠正成ノ初メテ義兵ヲ舉ゲシ所ナリ

櫻井驛 楠公父子訣別ノ處ナリ今石ヲ建テ書シテ「楠公訣見之處」ト云フ

四條原 小楠公戰死ノ地ナリ今社ヲ建テ之ヲ祭ル

奈良 元明帝以來七代八十餘年間ノ都趾ニシテ古趾頗ル多ク東大寺ハ聖武帝

ノ創建ニシテ大佛アリ頗ル著名ナリ

橿原 神武天皇皇居ノ跡アリ

畝傍山 全御陵ノ地ナリ

福原 平清盛安徳帝ヲ奉シテ都ヲ遷セシ所ナリ

一ノ谷 平宗盛安徳帝ヲ奉シテ城ヲ築キシ所ナリ

京都ノ沿革ヲ畧説セヨ

(36)

紀元一千四百五十四年即チ延暦十三年桓武帝都ヲ此地ニ定メテ平安城ト稱ス爾來歷

朝ノ皇都トナリ宮殿樓閣皆廣大ニシテ全都ヲ分チテ左京右京ノ二トナシ極メテ宏壯

ノ都城ナリシガ王室式微シテ武家ノ世トナリ北條氏六波羅府ヲ置キ足利氏ハ幕府ヲ

建ツ後應仁ノ大乱アルニ及テ全ク其面目ヲ失ヒ昔日繁華ノ盛況復々見ルベカラス今

ハ唯當時ノ左京ノミコ止マレリ然レモ市街井然尙舊時ノ規模ヲ存セリ明治維新ノ始

ノ都ヲ江戸ニ移シ玉フ其間凡ソ一千七十年ナリ之ヨリ江戸ヲ東京ト稱シ京都ヲ西

京ト云フ

(94)

大坂ノ沿革ヲ略説セヨ

古ヨリ迅速又ハ難波ト稱ス仁徳帝ノ都跡ナリ今ノ大坂城ハ天正十三年豊臣秀吉ノ城

キテ居城トナセシ所ナリ其初メ嘗テ城廓ナク織田信長其臣荒木村重ヲ此地ニ封セシ

カ村重叛スルニ及テ此地ヲ池田信輝ニ賜フ後秀吉信輝ヲ他ニ轉封シテ此ニ城ケルナ

リ豊臣氏亡ブルノ後唯其牙城ヲ存スルノミナレモ其高牆深溝能ク當時ヲ想見スルニ

足レリ維新ノ後此地ヲ以テ府トシ府廳ヲ玆ニ置ク現今鎮臺ヲ府城ニ置キ築四師團ヲ

統率ス

(65)

府縣廳所在地ヨリ東京ニ至ル距離ヲ問フ

大坂ヨリ百四十四里京都ヨリ百卅一里兵庫ヨリ百五十三里奈良ヨリ百四十里

(66)

山城ノ國名ハ何ニヨリテ起ルヤ

此國始メ山背ト稱ス桓武帝都ヲ平安城ニ移サル、ニ當リ詔シテ曰ク山河襟帶自然
城ヲナス宜ク山背ヲ改メテ山城ト云フベシト此ヨリ此名アリ

三、東海道

(67) 東海道ノ分割ヲ問フ

伊賀伊勢志摩尾張參河遠江駿河甲斐伊豆相摸武藏安房上総下総常陸ノ十五國トス

(68) 東海道ノ地勢ハ如何

本州ノ中央南部ニ在リ地勢狹長東西百二十里南北三十里面積二千六百五十八方里ヲ
有スル一道ニシテ南方一帶太平洋ニ面シ伊豆國ハ半島ノ狀ヲナシテ全州海中ニ突出
セリ地勢概テ平坦ニシテ殊ニ相摸以東ノ如キハ所謂關東八州ノ平野ナリ唯西南部及
ヒ甲、駿、遠諸州ノ北部ハ山岳重疊彼ノ富士山脉蜿蜒トシテ奥羽ヨリ來リ遂ニ海ニ入
テ伊豆諸島トナリ一脈西ニ延テ伊賀伊勢ニ蟠結ス川流ハ大抵源ヲ北部一帶ノ山脈ヨ
リ發シ南奔シテ太平洋ニ注ス灌溉ノ便アリ海岸ハ出入多クシテ所々ニ大灣ヲ抱キ其
間良港ニ乏シカラス形勝ノ地亦多シ

(69) 府縣廳ノ所在地ヲ問フ

東京(武藏)ニ東京府廳アリ 横濱(同國)ニ神奈川縣廳アリ
浦和(同國)ニ埼玉縣廳アリ 千葉(下総)ニ千葉縣廳アリ
水戸(常陸)ニ茨城縣廳アリ 津(伊勢)ニ三重縣廳アリ
名古屋(尾張)ニ愛知縣廳アリ 静岡(駿河)ニ静岡縣廳アリ
甲府(甲斐)ニ山梨縣廳アリ以上一府八縣トス

(70) 地方廳ヨリ東京ニ至ルノ距離如何

神奈川縣ヨリ八里 山梨縣ヨリ三十五里 茨城縣ヨリ二十九里 埼玉縣ヨリ六里
千葉縣ヨリ十里 三重縣ヨリ百十三里 愛知縣ヨリ九十五里 静岡縣ヨリ四十六里
アリ

(71) 本道ノ氣候ハ如何

概テ中和ニシテ寒暑共ニ甚シカラス能ク人ノ健康ニ適ス之レ北ニ山ヲ負ヒ南海ニ臨
ムテ以テナリ但シ伊豆七島ノ如キ最南ニ位スル諸島ニ在テハ最モ炎熱ヲ覺フ

(72) 本道ノ境界ヲ問フ

本州ノ中央南部ニ位シ西ハ畿内ニ接シ南ハ一帯太平洋ヲ受ケ東ハ東山道ノ一部及海ニ連リ北ハ東山道ト腹背ヲナス

附四

(73) 温泉ノ著名ナルモノヲ聞カン

熱海温泉(伊豆) 定期噴泉ニシテ其涌出スルニ晝夜各三次浴客頗ル多ク殊ニ夏秋ノ候チ最トス毎歲此地ニ遊ブモノ概チ三万五千餘人ニ及ブト云フ
箱根七湯(相模) 湯本、塔ノ澤、宮ノ下、堂ヶ島、底倉、木賀、蘆ノ湯チ合セテ箱根七湯ト云フ其内湯本、塔ノ澤最モ盛ニシテ浴客毎歲二万余人アリ
其他修善寺温泉(伊豆)湯ノ山温泉、御館温泉、(伊勢)姥子温泉(相模)等有名ナルモノ五十個所ニ下ラス各特效アリ

(74) 本道ニ於ル河川ノ有名ナルモノヲ擧ゴ

利根川 坂東太郎ト稱ス長サ七十餘里上野ヨリ來リ武藏下野ノ國境ヲ過キ分レテ二派トナリ支流ハ下総ノ南端ニ至リテ海ニ入り本流ハ下総常陸ノ界シテ海ニ入ル

天龍川 信濃諏訪湖ヨリ發シ遠江ノ中央ヲ貫流シテ海ニ入ル長サ六十里
多摩川 水源一ナラス皆甲斐ヨリ來リ武藏ヲ貫キテ海ニ入ル東京市中ノ飲料ニ供セル玉川上水、此川ノ水ヲ導ケルモノナリ

大井川 甲斐ヨリ發シ駿遠兩國ノ間ヲ過キテ海ニ入ル

相模川 甲斐ノ山中湖ヨリ發シ相模ヲ貫キテ海ニ注シ下流ヲ馬入川ト云フ

富士川 甲斐ヨリ來リ富士山ノ西麓ヨリ南流シテ海ニ注シ水勢急迅本邦三急流ノ一ト稱ス

其他駿河ノ安倍川常陸ノ那珂川久慈川三河ノ矢矧川豊川伊賀ノ名張川甲斐ノ笛吹川及釜無川相模ノ酒匂川武藏ノ荒川(下流ハ隅田川)中川入間川下総ノ鬼怒川等有名ナルモノ頗ル多シ

(75) 本道ノ名山ヲ問フ

富士山愛鷹山(駿河)箱根山足柄山大山(相模)天城山(伊豆)筑波山八溝山(常陸)武甲

山三峯山(武藏)秋葉山大日岳黑法師山(遠江)白根山金峯山駒ヶ岳身延山地藏岳(甲斐) 錦山(安房)本宮岳(三河)等アリ

(76) 海港ノ有名ナルモノヲトフ

四日市及大港(伊勢)鳥羽的屋(志摩)師崎(尾張)清水(駿河)横須賀浦賀(相模)下田及 田子(伊豆)横濱(武藏)銚子(下総)大濱(三河)掛塚(遠江)館山(安房)木更津(上総)那 珂(常陸)

(77) 岬角ノ著名ナルモノハ如何

伊良胡崎(三河)羽豆崎(尾張)犬吠崎(下総)野島崎(安房)観音崎(相模)御前崎(遠江) 大王崎(志摩)石廊崎(伊豆)富津崎(上総)本牧岬(武藏)

(78) 本道ノ都邑ヲ舉ゴ

東京、横濱、入王子、浦和(武藏)名古屋、熱田(尾張)静岡、沼津(駿河)水戸(常陸)安濃 津、桑名(伊勢)濱松(遠江)甲府(甲斐)小田原、横須賀(相模)岡崎、豊橋(三河)千葉(下

総)上野(伊賀)鳥羽(志摩)等其主ナルモノニシテ其他山田四日市ノ伊勢ニ於ケル品 川、川越ノ武藏ニ於ケル結城銚子ノ下総ニ於ケル掛川ノ遠江ニ於ルガ如キ皆有名ノ 都邑ナリ

(79) 本道ノ名勝舊跡ヲ舉ゴ

二見浦阿漕浦(伊勢) 伊勢海ニアリ風景絶佳ヲ以テ古ヨリ著名ナリ 江ノ島(相模) 奇巖秀拔眺望絶佳ヲ以テ著ハル七里ヶ濱由井濱亦同國ノ勝地ナリ 金澤(武藏) 灣内景色頗ル美ニシテ八景ノ勝アリ 清見瀧、三保松原、田子ノ浦、浮島ヶ原(駿河) 皆風景秀麗ヲ以テ著ル 熱田神社(尾張) 日本武尊ヲ祭ル 内宮(伊勢) 天照大神ヲ祭ル垂仁天皇ノ時創メテ之ヲ建ツ 外宮(全國) 豊受大神ヲ祭ル雄略天皇ノ時創メテ之ヲ建ツ 鎌倉(相模) 源賴朝府ヲ開キシ所ニシテ彼ノ護良親王ヲ幽セリト稱スル洞窟ハ今尙 之ヲ存セリ又鶴岡神社アリ

石橋山〔全國〕 源賴朝ノ始テ兵ヲ舉ケシ所ナリ

天目山〔甲斐〕 武田勝頼戰死ノ地ナリ

長湫〔尾張〕 徳川家康織田信雄ヲ助ケテ豊臣秀吉ヲ破リシ所ナリ

桶狭間〔全國〕 織田信長今川義元ヲ破リシ所ナリ

(80) 京都ヨリ東京ニ通スル道路ハ如何

山越國京都ヲ發シ近江國ヨリ伊勢ニ入り四日市桑名ヲ經テ尾張ニ入り熱田ヲ過キ三河ノ岡崎豊橋遠江ノ濱松掛川及ヒ駿河ノ蒲原沼津ヲ經伊豆ノ三島相摸ノ小田原等ヲ經テ東京ニ入ル其間百卅余里ニ及ブ所謂五十三驛此中ニアリ

(81) 全鐵道線路ヲ問フ

東海道鐵道ハ西京ヨリ近江草津ヲ過キ美濃國大垣岐阜ヲ經、南下シテ尾張ニ入り名古屋ヲ過テ東ニ向ヒ岡崎豊橋〔三河〕ヨリ濱名湖水ノ中央ヲ橫斷シ濱松〔遠江〕静岡沼津〔駿河〕ヲ過キ箱根足柄ノ中間ナル酒匂川ノ上流ヲ超ヘテ國府津〔相摸〕ニ出テ藤澤〔相模〕程ヶ谷〔武藏〕ヨリ橫濱品川ヲ經テ東京ニ入ル

(82) 本道ニ屬スル島嶼ノ有名ナルモノヲ舉ゴ

答志島 志摩ニアリ 佐久島 三河ニアリ

篠島 尾張ニアリ

伊豆七島 大島 利島 新島 神津島 三宅島 三倉島 八丈島ノ七島ヲ併稱シ

テ伊豆ノ七島ト云フ其中大島八丈島最モ大ナリ又八丈島ハ有名ノ八丈絹ヲ産ス

小笠原島 伊豆ニアリ父島母島鯨島ノ三ヲ主トナス數十ノ群島之ニ屬セリ氣候炎

熱ニシテ冬期ト雖モ草木凋落セズ近來漸次開墾ニ就ケリ

(83) 東京ノ景況ヲ畧述セヨ

東京ハ日本ノ首府ニシテ人口一百卅七万餘幅員東西二里餘南北凡ソ三里許府ノ中央ニ皇居アリ大溝巨壘之ヲ圍繞シ諸官衙概テ其周邊ニ在リ東洋屈指ノ大都ニシテ百貨輻輳シ兵營病院博物館銀行諸學校諸會社等觀ルヘキモノ頗ル多ク街路廣濶ニシテ家屋宏壯ナリ人馬ノ來往常ニ絶ヘス就中日本橋京橋神田ノ三區ヲ以テ最モ繁盛ノ所トス鐵道四方ニ通シ南ハ東京灣ニ臨ミ東ニ隅田川ヲ帶ヒ往來運漕頗ル便ニ規模ノ盛大

實ニ文明國ノ帝都タルニ耻チズ且四時ノ勝ニ富ミ墨堤土野及飛鳥山ハ櫻花ヲ以テ著
名ナリ瀧川ノ紅楓、芝浦ノ明月亦名アリ時ニ及ンデ杖ヲ引キ車ヲ驅ルモノ絶ユルコ
ナシ又公園ニハ上野東叡山、芝三縁山、山王臺、飛鳥山、淺草金龍山、深川八幡社、愛宕
神社アリ神社ニハ神田神社、日枝神社、東照宮、靖國神社アリ佛寺ニハ増上寺、傳通院、
護國寺本願寺等アリテ皆壯大ヲ極メリ

(84) 東京沿革ヲ畧述セヨ

此地元ト江戸ト稱ス康正年間上杉定正ノ臣太田道灌此ニ城キ居ル之ヲ江戸城ノ創設
トス後北條氏之ヲ領セシカ徳川家康ニ至リ府ヲ茲ニ開キ爾後三百年間子孫相繼テ茲
ニ居ル明治元年聖駕東臨江戸ヲ改メテ東京ト稱シ永ク此地ヲ以テ皇居トス

(85) 東京ノ位置ハ如何

西經百四十度北緯卅五度卅六分ニ位ス

(86) 開港場中第一ト稱スヘキハ何港ナルヤ且其景況如何

横濱港ハ武藏國ニアリ東京灣ニ臨ミ東京ヲ距ルコ西南八里餘ナリ人口凡ソ十二万神

奈川縣廳アリ内外貨物ノ東京ニ輸入スルモノ及ヒ東京ヨリ輸出スルモノ皆此地ニ集
マルヲ以テ商業頗ル繁盛大船巨舶常ニ碇泊シ帆檣林立セリ實ニ貿易上極要ノ地ニ
テ之ヲ我國開港場中第一昌盛ナル所トス

(87) 名古屋ハ如何ナル所ナルヤ

人口十五万餘三府ニ亞ケル大都ニノ南ノ方熱田連ル愛知縣廳アリ東海道鐵道此地ヲ
貫キ殆ト兩京ノ中央ニ當リ水陸ノ運輸甚タ便ニ市街頗ル殷賑ナリ舊城中ニ鎮臺ヲ置
ク此城ハ徳川家康其子義直ノ爲ニ築ク所ニシテ城上金甌ヲ安ス本邦第一ノ名城タリ

(88) 湖沼ノ著名ナルモノヲ擧ゴ

霞浦 常陸ニアリ周回卅六里我國第二ノ大湖トス 北浦 常陸ニアリ周回五里
印幡沼 下総ニアリ周回十二里 山中湖 甲斐ニアリ周回三里半
入鹿池 尾張ニアリ周回三里 蘆ノ湖 相摸ニ在リ周回大凡五里富士八湖ノ一

(89) 本道中諸嶺山ノ有名ナルハ何處ナリヤ

石炭ニハ常陸國多賀郡武藏國秩父郡アリ硫黃ニハ相摸國足柄郡及伊豆國賀茂郡アリ
銅ニハ武藏國秩父郡アリ又甲斐國玉摩郡ニハ金坑アリ伊勢國員辨郡ニ銀銅坑アリ常
陸國多賀郡ニハ寒水石ヲ産ス品質尤モ佳ナリ其他小嶺山枚舉ニ違アラヌ

(90) 本道諸國ノ物産ハ如何

主要ナル産出物ハ左ノ如シ

伊賀 伊賀燒 伊勢 万古燒、津派子、時雨蛤

志摩 鮫 尾張 鳴海絞、扇、七寶燒、瀬戶燒、蠶繭

三河 木綿 遠江 石腦油、石灰、納豆、豆、麥、砂糖

駿河 半紙、向津鯛、寄木細工、竹細工 甲斐 甲斐絹、苧蓆、水品

伊豆 八丈絹、雁皮紙（伊豆國）相摸 湯本細工

武藏 秩父絹、八王子織物、五日市織、淺草海苔、錦繪、蒔繪

安房 魚類 上総 鱧

下総 結城紬、銚子繭、佐倉炭、行徳糖、帝陸 蒟蒻、寒水石、石炭

(91) 本道ニ屬スル海灣ノ著名ナル者ヲ聞カン

遠江灘 志摩ノ大王崎ト伊豆石廊崎トノ間海程凡ソ七十五里航海ノ難所ト稱ス

相摸灘 相摸ノ三崎ト伊豆半島ノ間ナ云フ

伊勢海 志摩ト三河ト其海口ヲ扼ス灣中阿漕浦ニ見浦ノ勝アリ

房州沖 総房半嶋ノ南端野島岬ヨリ東ノ海上ニシテ潮流急迅舟行危險ナリ

衣浦 尾張ノ羽豆崎ト三河ノ伊良胡崎トヲ以テ其海口ヲ扼セリ

(92) 本道ニ屬スル海洋ニシテ舟行ノ危險ナルハ何レノ處カ

遠州灘及房州沖

(93) 本道中地質ノ最モ善良ナルハ何レノ處ナルヤ

最モ肥沃ノ稱アルハ尾張ノ知多郡ニシテ概シテ伊勢尾張武藏ノ低地ヲ最良ナリトス

(94) 小笠原島ヲ發見セシハ誰ナルヤ

文錄中小笠原貞頼ノ發見セシ所ニ係ル因テ小笠原ヲ以テ島名トナス

(95) 黒瀨川トハ如何ナル者ゾ

伊豆ノ御倉島ト八丈島トノ間ヨアル迅流ナリ幅凡ソ廿町アリ之レ赤道地方ヨリ來レ
ル潮流ノ九州四國ノ南岸ヲ過キテ東流セルモノニシテ其流域ノ殊ニ分明ナルモノナ
リ而テ此潮流著シ黒色ヲ呈スルヲ以テ黒瀨川ノ名アリ

(96) 本道著名ノ原野ヲ舉ゴ

三方ヶ原、磐田原(遠江)小金ヶ原、習志野(下総)女化原(常陸)明野原(伊勢)大野原、富
士野(駿河)富士野(甲斐)

(97) 關東八州トハ何レノ處ヲ云フヤ

函嶺ハコ以東ノ八國ニシテ即チ相模武藏安房上総下総常陸及ヒ東山道ノ上野下野ヲ併稱
ス

四、東山道

(98) 東山道ノ分割ヲ問フ

近江美濃飛彈信濃上野下野磐城岩代陸前陸中陸奥羽前羽後ノ十三國トス

(99) 東山道ノ境域ハ如何

西ハ畿内及山陰道ノ一部ニ接シ南ハ東海道ニ界シ北ハ北陸道ニ連リ而シテ東北地方
ハ東面太平洋ニ臨ミ西方日本海ニ面ヒ津輕海峽ノ一筆水ヲ隔テ、北海道ト相對ス

(100) 中山道奥羽ノ區別ハ如何

近江美濃飛彈信濃上野下野ヲ稱シテ中山道トシ磐城岩代陸前陸中陸奥羽前羽後ヲ稱
シテ奥羽トス

(101) 奥羽地方ヲ分割セシハ何レノ時カ

同地方ハ僻遠ニシテ且ツ廣濶ニ過クルヲ以テ明治元年詔シテ陸奥ヲ分割シテ磐城以
下ノ五國トシ出羽ヲ分割シテ兩羽トス

(102) 本道ノ氣候如何

氣候最モ寒烈ニシテ飛彈信濃ノ高地及ヒ奥羽地方ノ如キハ最モ甚シク冬時ハ積雪常
ニ數尺ノ深キニ達ス唯南部ノ低地稍温暖ヲ覺フルノミ其一斑ヲ示セハ最高ノ温度岐
阜ニ於テ三十五六度最低ハ秋田青森ニ於テ零下十五六度ニ至ル

(103) 本道ノ地勢ヲ問フ

本島ノ東北部ニ位シ延長二百八十里其幅廣キ所五十三里面積六千八百四十九方里ヲ有シテ八道中最大ノモノナリ本道ノ地形タル中央ヨリ曲折シテ一半ハ西南ニ延キ一半ハ東北ニ趨リ其西南ニ延クモノハ即チ中山道ニシテ東北ニ趨クモノハ奥羽地方ナリ而シテ海ニ濱スルハ僅ニ奥羽地方ノミヨシテ他ハ悉ク山岳ニ圍繞セラレテ復々海ヲ見テ高山大岳蜿蜒蟠結シテ殆ト餘地ナク其飛彈信濃ノ如キハ我國第一ノ高地ト稱シ深山幽谷他ニ比類ヲ見ズ所謂木曾山中ノ如キハ氣候風俗大ニ他ニ異ナリ以テ山藁隔絶ヲ知ルニ足ラン東海北陸ノ川流ハ概チ此山間ヨリ出テ、各縱横ニ分流セリ奥羽海岸ハ出入多カラスト雖モ處々ニ大灣チ有シ船舶碇泊ノ地乏シカラズ

(104) 地方廳ノ所在地ヲ聞ン

近江ノ大津ニ滋賀縣廳アリ美濃ノ岐阜ニ岐阜縣廳アリ信濃ノ長野ニ長野縣廳アリ上野ノ前橋ニ群馬縣廳アリ下野ノ宇都宮ニ栃木縣廳アリ岩代ノ福島ニ福島縣廳アリ陸前仙臺ニ宮城縣廳アリ陸中盛岡ニ岩手縣廳アリ陸奥青森ニ青森縣廳アリ羽前山形ニ山形縣廳アリ羽後秋田ニ秋田縣廳アリ総テ十一縣ナリ

(105) 各地方廳ハ東京チ距ル何里ナリヤ

青森縣ヨリ百九十二里、山形縣ヨリ九十五里、秋田縣ヨリ百五十一里、福嶋縣ヨリ七十一里、岩手縣ヨリ百四十里、宮城縣ヨリ九十二里、長野縣ヨリ五十九里、群馬縣ヨリ廿八里、栃木縣ヨリ廿三里、滋賀縣ヨリ百廿八里、岐阜縣ヨリ百四里ヲ隔ツ

(106) 有名ノ岬角ヲ問フ

本道中海ニ瀕セルハ唯奥羽地方ノミナルヲ以テ岬角亦少シ唯陸奥ノ北端ニ尻矢崎大間崎及龍飛崎夏泊崎小泊崎アリ陸中ニ尾崎アリ陸前ノ東南端牡鹿半島ノ端ニ黒岬アルノミ其他有名ノ岬角ナシ

(107) 海港ノ有名ナルモノアリヤ

石巻港萩ノ濱港野蒜港〔陸前〕青森港野邊地港大湊〔陸奥〕釜石港宮古港〔陸中〕酒田港能代港〔羽後〕小名濱〔磐城〕鼠關〔羽前〕等最モ名アリ

(108) 海灣ノ名アルモノハ如何

青森灣野邊地灣〔陸奥〕仙臺灣〔陸前〕

(109) 本道ニ屬スル海島ノ著名ナルモノヲ舉ゴ

寒風澤島、野々島、金華山、宮戸島、大島、長渡網地濱、田代島(以上陸前)飛島(羽後)

(110) 本道著名ノ大河ヲ舉ゴ

利根川 上野ニアリ刀嶺嶽ニ發シ南ニ流レ東ニ折レテ武藏下総ノ間ニ入ル

渡良瀬川 下野足尾ノ山間ヨリ發シ曲折シテ東南ニ流レ利根川ニ入ル

鬼怒川 下野衣沼山ヨリ發シ南流シテ利根川ニ入ル

千曲川 源ヲ甲斐ノ金峰山ニ發シ信濃國中ヲ貫キ越後ニ入り信濃川トナル

木曾川 源ヲ信濃筑摩郡ニ發シ木曾山中ヲ過キテ美濃ニ入り伊勢尾張ノ間ヨリ海

ニ注グ

阿武隈川 源ヲ磐城ノ旭嶽ニ發シ磐城岩代ヲ界シ迂餘曲折シテ陸前磐城ノ間ヨリ海

ニ入ル

北上川 陸中岩手郡ニ發源シ陸前ヲ貫キテ海ニ入ル

最上川 羽前ノ大日岳ヨリ出テ兩羽ヲ界シテ海ニ入ル日本三急流ノ一ナリ

墨股川 上流ヲ長良川ト云フ美濃國大日岳ヨリ發シ木曾川ニ入ル

日橋川 岩代猪苗代湖ヨリ發シ西流シテ諸水ヲ合セ越後ニ入ル

能代川 羽後ニアリ陸奥ヨリ發シ西走シテ海ニ入ル

御物川 羽後ニアリ院内銀山ヨリ出テ西北ニ流レテ海ニ注グ

犀川 信濃ニアリ駒ヶ岳ヨリ發シ東流シテ千曲川ニ會ス

(111) 山岳ノ著名ナルモノヲ問フ

伊吹山(近江)惠那岳大日岳(美濃)駒岳御岳黑姫山高妻山立科山淺間山錫杖岳

(以上信濃)乗鞍岳位山(飛騨)碓氷峠赤城山榛名山妙義山(上野)那須嶽男体山

白根山(下野)磐梯山駒岳燧嶽安達太郎山(岩代)岩手山早池峯(陸中)八甲田山

(陸奥)月山朝日嶽(羽前)鳥海山大平山(羽後)

(112) 日光山ハ如何ナル所ソ

下野國ニアリ男体山女体山大真子山小真子山太郎嶽白根山等ノ群山ヲ總稱シテ日光

山彙ト稱ス就中男体山最モ高ク直立八千二百尺ニ及ヒ山勢雄偉群峯中ノ盟主タリ山

中瀑布多ク又湖水アリ中禪寺湖ハ四千三百尺ノ中天ニ泄ヘ周回八里風趣頗ル佳ナリ其水落テテ華巖瀑トナル飛下四十餘丈水勢極テ猛烈頗ル壯觀ナリ下流大谷川トナル其他霧降裏見ノ諸瀑最モ著ハル山中樹木老蒼溪水清冽誠ニ塵外ノ趣アリテ最モ避暑ニ適ス山麓ニ東照宮アリ建築ノ美結構ノ宏壯金色燦爛トシテ人目ヲ眩ス實ニ東洋ノ奇觀タリ其他奇趣景勝舉ケテ數フヘカラス洋人ノ我國ニ來遊スルモノ亦必ス一タヒ此地ノ勝ヲ探ルト云フ近時鐵道ヲ此山中ニ通シ來往ノ利便ヲ増セシヨリ遊客舊ニ倍セリト云フ實ニ天然ノ美ト人爲ノ巧トヲ併セ極メタルモノト云フベシ

[113]

湖沼ノ有名ナルモノヲ問フ

琵琶湖(近江ニアリ本邦第一ノ大湖タリ)諏訪湖(信濃)榛名湖(上野)中禪寺湖(赤間沼)(下野)猪苗代湖(岩代)品井沼(陸前)十和田湖(小原湖)十三瀉(陸奥)八郎瀉(羽後)等最モ有名ニシテ其他湖沼ノ稍小ニシテ名アルモノ三十二下ラス

[114]

瀑布ノ有名ナルモノヲ舉ゴ

華巖瀑(裏見)霧降瀑(龍頭)湯湯瀑(以上下野)銚子瀑(陸奥)養老瀑(美濃)白水瀑(飛騨)米子瀑(信濃)

[115]

本道ニアル噴火山ヲ問フ

淺間山(信濃)忍山(陸奥)鳥海山(羽後)那須岳(白根山)(下野)藏王岳(磐城)等ニシテ其他休火山ニ屬スル者尙多シ

[116]

松島ノ勝ヲ聞カン

松島ハ陸前國仙臺灣内ニアリ日本三勝ノ一ニシテ數百ノ小島灣内ニ羅列星散シ島上悉ク青松ヲ戴ク風光雅爛愛スベシ金華山ハ灣外ニ孤立セル一島ニシテ金島巨巖ヲ以テ成ル亦奇觀ナリ

[117]

温泉ノ有名ナルモノハ如何

草津、伊香保(上野)中禪寺、那須、鹽原(下野)磐梯(岩代)作並、川渡(陸前)田川(羽前)大瀧、湯本(羽後)香掛(美濃)諏訪、靈泉寺、澁湯(信濃)其他本道ノ十三國礦泉ヲ有セサル所ナシ今其一ニテ舉グルノミ右ノ中伊香保草津最モ盛ニシテ每歲洛客二万五千人ニ下ラス之ニ次テ盛ナルチ田川鹽原トス田川ハ每歲一万七千餘人鹽原ハ一万人ニ

上ルト云フ

(118) 本道ノ地味ハ如何

下野ノ南部稍礫確ノ瘠土ヲ見ルノミ他ハ概テ肥沃ニシテ米穀能ク登リ近江美濃ノ如キハ其最ナリ

(119) 有名ノ物産ヲ舉ゴ

- 近江 米穀 縮緬 茶 蚊帳 艾 蕪菁
- 美濃 紙 米穀 銀 銅 磁石
- 飛騨 水松細工 銀 銅 硫黃
- 信濃 生糸 蠶卵紙 材木 鐵 石炭 蕎麥
- 上野 織物 鐵 銅 石炭 蠶種 生糸 硫黃
- 下野 木綿 塗物 銅 石炭
- 磐城 石炭 冰晶
- 岩代 蠟燭 油 金 銀 銅 鉛 生糸

(120)

本道中蠶桑業ノ最盛ナル地名ヲ舉ゴ

本道ハ概シテ養蠶業ノ盛ナル所ニシテ就中長野群馬福島ノ三縣ヲ以テ最トナス其蚕卵紙生糸ノ如キハ我國輸出品ノ重要ナルモノナリ

(121)

有名ナル礦山ヲ問フ

足尾ノ銅山(下野ニアリ全國第一トス)半田ノ銀坑(岩代)尾去澤ノ銅坑小坂ノ銀坑上向ノ金銀銅坑(陸中)川原平銀坑(陸奥)水無ノ金坑院内ノ銀坑阿仁ノ銅坑(羽後)中小坂ノ鐵坑(上野)及白水ノ石炭坑(磐城)ヲ以テ最トス其他草津(上野)ノ硫黃坑長崎池月(陸前)ノ金坑畑佐黒川(美濃)ノ銀銅坑亦名アリ

(122)

本道ノ都邑ヲ舉ヨ

五十四

近江	大津	彦根	長濱	岩代	福島	若松	二本松
美濃	岐阜	大垣	陸前	仙臺	石ノ巻		
飛騨	高山	陸中	盛岡	一ノ關			
信濃	長野	松本	上田	陸奥	青森	弘前	八戸
上野	前橋	高崎	富岡	羽前	山形	米澤	鶴岡
下野	宇都宮	足利	朽木	羽後	秋田	酒田	能代
磐城	白河	三春					

(123)

本道ニ在ル名勝古跡ヲ舉ヨ

松島 陸前ニアリ風景ヲ以テ著ハル三勝ノ一ナリ

琵琶湖 近江ニアリ湖上ノ風景頗ル明媚ニシテ八勝ノ稱アリ即チ三井晚鐘石山秋月

勢田夕照唐崎夜雨矢橋歸帆堅田落雁粟津晴嵐比良暮雪之ナリ

姨捨山 信濃ニアリ千曲川ヲ隔テ、鏡臺山ニ對ス觀月ノ勝地ニシテ田毎月ト稱スル

モノ之ナリ

日光山 下野ニ在リ避暑ノ好地ナリ其勝、前ニ説ク所ノ如シ

善光寺 信濃ニ在リ天台宗ノ巨刹ニシテ賽者常ニ絶ヘス

妙義山 上野ニアリ奇巖秀拔天工ノ石門ヲナス山上日本武尊ヲ祭ル

疾申山 下野ニアリ全山奇巖怪石ヲ以テ成ル

賤嶽 近江ニアリ柴田羽柴両氏ノ古戰場ナリ

川中島 信濃ニアリ武田上杉ノ古戰場ナリ

關原 美濃ニアリ徳川石田ノ古戰場ナリ

稻葉山 全國ニアリ織田氏ノ城趾アリ

碓氷峠 信上両國ノ界ニアリ日本武尊ノ古蹟ナリ

其他勿來關白河關衣川ノ城趾等皆歴史上著名ノ所ナリ

(124)

本道ニ於ケル原野ヲ問フ

美濃ニ各務野上野大島野ト稱スル三大原野アリ之レ國名(三野)ノ起ル所以ナリ信濃

五十五

ニ淺間野アリ下野ニ那須野アリ岩代ニ小瀬平野アリ陸中ニ一本木野アリ陸奥ニ三本木野アリ羽後ニ大野臺アリ之ヲ其主ナルモノトス

五、北陸道

(125) 北陸道ノ分割ハ如何

若狹越前加賀能登越中越後佐渡ノ七國トス

(126) 北陸道ノ境界ハ如何

東南ハ斜ニ東山道ニ接シ西北ハ總テ日本海ニ向ヒ西端ノ一局部山陰道ニ堺セリ而シテ能登ハ一大半島國ニシテ佐渡ハ北海中ノ一孤島ナリ

(127) 本道ノ地勢ハ如何

本州ノ東北端ニ位シテ東南山ヲ負ヒ西北海ニ面ス東西百十三里南北十里面積千六百三十四方里ヲ有スル一道ニテ西南ヨリ斜ニ東北ニ延キ中央ニ一大半島アリ之ヲ能登國トス海岸處々乱礁多ク舟行危險ノ處アリ海岸ノ出入多カラズト雖モ亦良港ニ乏シカラス山脉ハ奥羽ヨリ來リテ白山々系加賀越中ニ蟠結シ遂ニ西ニ走セテ山陰道ニ入ル川流ハ皆南方東山道ノ山間ヨリ發シテ北流シ日本海ニ注ク水利ノ便アリ

(128) 本道ノ氣候ハ如何

寒威殊ニ凜烈ニシテ冬時ハ繁華ノ都會ト雖モ尙丈餘ノ積雪アリ往々行旅ノ跡ヲ絶ツニ至ル蓋シ西北海ニ瀕シテ東南山ヲ負ヘルノ致ス所カ七八月ノ交極暑三十五六度一二月ノ交極寒零下五六度ニ至ル

(129) 本道ノ地味ハ如何

越前越後ノ平野ハ地味豊沃ニシテ耕種盛ニ行ハルト雖モ加賀能登佐渡ノ如キハ概テ薄瘠ナリ

(130) 縣廳ノ所在地ヲトフ

越前福井ニ福井縣廳アリ加賀金澤ニ石川縣廳アリ越中富山ニ富山縣廳アリ越後新瀉ニ新瀉縣廳アリ總テ四縣ナリ

(131) 各地方廳ト東京トノ距離ヲ問フ

石川縣ヨリ百五十九里福井縣ヨリ百三十七里富山縣ヨリ百八里新瀉縣ヨリ百九里ヲ

(132) 本道ノ名山ヲ問フ

白山笈嶽(加賀)立山礪波山(越中)大日嶽蓮華山飯豊山八海山御神樂嶽彌彦山(以上越後)荒島嶽國見嶽(越前)寶達山石動山(能登)金北山(佐渡)

(133) 本道ノ名川ヲ舉メ

信濃川(越後) 信濃ヨリ來リ新瀉ニ至リテ海ニ注ク
阿賀川(全) 岩代日橋川ノ下流ナリ北方ニ繞リテ海ニ入ル
射水川(越中) 上流ヲ白川ト云フ飛彈ヨリ來リ新瀉ニ至リ海ニ入ル
神通川(全) 上流ヲ宮川ト云フ亦飛彈ヨリ來リ北流シテ富山ノ西部ヲ過キ海ニ注ク
常願寺川(全) 源ヲ藥師嶽ニ發シ西北ニ流レテ海ニ入ル
黒部川(全) 源ヲ南境ヨリ發シ北流シテ海ニ注ク
手取川(加賀) 源ヲ白山ニ發シ西北流シテ海ニ入ル
九頭龍川(越前) 源ヲ國ノ東境ヨリ發シ西流シテ坂井港ニ至リ海ニ注ク

(134) 全火山ハ如何

立山(越中)妙香山燒山乘鞍嶽(越後)

(135) 全温泉ハ如何

長口(加賀)小川(越中)關屋(越後)藥師(能登)ノ温泉等ハ其名アルモノニシテ其中關屋最モ盛ナリ

(136) 全湖沼ノ有名ナルモノヲ舉メ

河北瀉柴山瀉(加賀)北瀉入江(越前)三方湖(若狹)邑智瀉(能登)放生津瀉(越中)福島瀉(越後)加茂湖(佐渡)

(137) 全著名ノ瀑布ヲ問フ

大瀑、不動瀑、布引瀑、眞津瀑(以上越後)千仞瀑(加賀)稱名瀑(越中)

(138) 有名ノ礦山ヲ列舉セヨ

本道最モ礦山ニ富シ就中佐渡金北山ノ金銀坑ヲ主トシ越後岩船郡ノ金坑同國魚沼郡ノ銀坑及ヒ同國蒲原郡ノ銅及ヒ石炭坑越中新川郡ノ金銅鉛坑並ニ硫黃水晶坑能登羽

吹郡ノ滿俺坑加賀能美郡ノ金銅坑全國石川郡ノ金銀坑越前丹生郡ノ石炭坑全大野郡ノ銀銅坑若狹大飯郡ノ銅坑等ヲ著名ナリトス佐渡金北山ノ如キハ發見最モ古クシテ採掘高最多ク我邦無双ノ金坑トス

(139) 物産ハ如何

塗物(若狹)奉書紙鳥子紙奉書紬(越前)絹布杉原紙象嵌細工(加賀)輪島塗(能登)藥劑(越中)越後縮石腦油(越後)金銀(佐渡)等ニシテ沿海ノ地ハ鱈ヲ魚鹽ノ利アリ

(140) 本道中有名ノ海港ヲ問フ

小濱港(若狹)敦賀港坂井港(越前)安宅港(加賀)七尾港(能登)新湊伏木港(越中)新瀉港直江津港寺泊港(越後)小木港夷港(佐渡)等最モ著名ナリ就中新瀉港ハ本邦五港ノ一ニシテ外國互市場タリ然レモ氷淺クシテ大船巨舶ヲ容ル、ニ便ナラス

(141) 岬角ノ著名ナルモノハ如何

若狹ニ於テハ赤磯崎及ヒ黒崎越前ニ於テハ越前岬能登ニ於テハ珠洲岬等トス北海第一險惡ノ地ハ何處ナリヤ

(142)

巨懸小島累々トシテ基布シ風濤常ニ險惡舟人ノ最モ難々所アリ蓋シ北海第一險惡ノ所ナリ之ヲ能登珠洲岬ノ海上トス

(143) 本道ニ屬スル島嶼ヲ舉グ

能登島(能登)七島(全)御神島(若狹)粟生島(越後)

(144) 全都邑ヲ舉グ

金澤(加賀)富山(越中)新瀉(越後)福井(越前)最モ繁盛ニシテ其他小濱ノ若狹ニ於ル敦賀ノ越前ニ於ル大聖寺ノ加賀ニ於ル七尾高岡ノ能登越中ニ於ル高田長岡新發田ノ越後ニ於ル相川ノ佐渡ニ於ル皆地方有名ノ都會トス

(145) 同舊跡ヲ舉グ

藤島 越前ニアリ新田義貞戰死ノ地ナリ
金崎 全國ニアリ義貞ガ據守シテ興復ヲ謀リシ所ナリ
俱利加羅谷 加賀越中ノ界ニアリ源義仲平維盛ヲ破リシ所ナリ
順德天皇遷幸趾 佐渡雜太郡ニアリ承久ノ乱北條義時天皇ヲ遷セシ所ナリ

(146) 親不知トハ如何ナル所ナルヤ

沿海道路中越中越後ノ間ニアリ有名ナル險惡無比ノ道路ニシテ斷崖數十仞岸頭ニ聳立シ岬上僅ニ一線ノ小徑ヲ通セルノミ此クノ如キモノ殆ト五里ノ間怒濤鯨浪來テ岩石ニ激シ其危險名狀スベカラス然ルニ近時大ニ道ヲ開キ嶮岬ヲ削リ隧道ヲ通シ以テ人馬ノ往來ヲ便ニセリ故ニ亦舊時ノ險惡ヲ見スト云フ

著名ノ海灣ヲ舉ゴ

七尾灣(能登) 小濱入江(若狹) 敦賀灣(越前)

本道ニ於ケル最モ廣濶ナル地ハ何レノ處カ

信濃川ノ下流ニ沿ヘル所最モ廣平ニシテ其他諸大川ノ沿岸ハ大抵平野ナリ

北陸第一安穩ナル港ハ如何

能登ノ七尾港ナリ

北陸第一ノ都會ハ如何

加賀ノ金澤トス石川縣廳アリ運輸便利ニシテ商業繁盛ナリ舊尾山ト稱ス今ノ名ハ前

田氏ノ居城チ此地ニ定ムルニ及ヒテ改メシモノナリ

火井トハ如何ナルモノゾ

越後ニアリ地中ヨリ火氣ヲ發ス此ヲ管ニ率キテ燈火或ハ煮焚ノ用ニ供スベシ

佐渡金坑ノ起原及ヒ現今ノ坑數ハ如何

文錄年間鶴子山ニ於テ開坑センヲ以テ始トス之ヨリ現今ニ至ルマテ殆ント三百歲ヲ超ルモ尙採掘シ盡スヘキ時ヲ知ラズ現坑二十二ヶ所アリ實ニ本邦ノ寶庫ト云フベシ

六、山陰道

山陰道ノ分割ヲ問フ

丹波丹後但馬因幡伯耆出雲石見隱岐ノ八國トス

本道ノ境界ハ如何

東方僅ニ北陸東山ノ二道ニ接シ東南ノ一隅畿内ト交リ南方全ク山陽道ト腹背ヲナシ其境上ニ大山脈アリ而シテ北方一帯日本海ニ瀕ス

本道地勢ノ概畧ヲ聞ク

山陰道ハ山陽道ト腹背ヲナシ日本全國ノ西部ニ位セリ東西ノ長八十里南北ノ幅最モ廣キ所十二里ニ過キス面積一千一百九方里ヲ有セリ南ニ山ヲ負ヒ北海ニ枕ムヲ以テ南ヨリ北ニ至ルニ從ヒ漸ク低クシテ漸ク平ナリ山脉ハ東ヨリ來リ陰陽兩道ノ境上ニ蜿蜒連亘シ河川皆此山脈ヨリ發シテ北方ニ流注ス海岸ハ屈曲甚ク少ク處々巖礁散乱舟行危險ノ處アリ

地方廳ノ所在地ヲ舉ゴ

出雲ノ松江(島根縣廳) 因幡ノ鳥取(鳥取縣廳)

地方廳ヨリ東京ニ至ル距離如何

鳥取縣ヨリ百九十四里島根縣ヨリ二百二十二里アリ

本道ニ於ル都會ヲ問フ

龜岡福智山(丹波)宮津舞鶴(丹後)豊岡出石(但馬)鳥取(因幡)米子(伯耆)松江杵築(出雲)濱田津和野(石見)西郷(隱岐)

本道有名ノ物産ハ如何

煙草(丹波)縮緬(丹後)金銀柳行李陶器(但馬)白珊瑚(因幡)鐵木綿(伯耆)鐵人參松江鱧蜜柑(出雲)半紙鐵銀(石見)材木(隱岐)

本道ノ氣候ハ如何

南北狹ク東西長キヲ以テ各地寒暖ノ差大ナラスト雖モ他ノ同緯度ノ地ニ比スレハ稍寒冷ニシテ霜雪ノ期甚ク長シ之レ南部一帶山脈連亘シ北方日本海ノ寒潮ヲ受クルヲ以テナリ

名川ヲ列舉セヨ

江川 又石見川ト云フ石見安藝ノ境ヨリ發シ備後ヲ繞リテ石見ニ來リ日本海ニ朝

由良川 丹波桑田郡ヨリ出テ丹後ニ入リテ由良港ニ注グ

城崎川 但馬ノ南境ヨリ發シ北流シテ海ニ入ル

保津川 丹波桑田郡ヨリ發シ大堰川トナリテ山城ニ入り淀川ニ會ス

千代川 因幡ノ南部ヨリ發シ北ニ流レテ日本海ニ注グ

[156]

[157]

[158]

[159]

[160]

[161]

日野川 伯耆ノ西邊ニアリ日本海ニ入ル

大川 出雲ニアリ仁多郡ノ山間ニ發源シ諸水ヲ合テ宍道湖ニ入ル

[162] 湖沼ノ著名ナルモノヲ聞ン

宍道湖 出雲ニ在リ 湖山池 因幡ニアリ

東郷池 伯耆ニ在リ 中海 出雲伯耆ノ境界ニアリ

[163] 本道著名ノ山岳ヲ聞ン

氷山(但馬因幡播磨ニ跨ル)大山船上山美德山(伯耆)三瓶山(石見出雲)由良嶽(丹後)

三國山(因幡)大江山三岳山(丹波)三開山(但馬)

[164] 本道ノ礦山ヲ舉ゴ

銀坑ノ但馬生野ニ於ル銅坑ノ全國朝來郡ニ於ル瑪瑙坑石炭坑ノ出雲意宇郡ニ於ル鐵

坑ノ伯耆出雲石見ニ於ル之レ其有名ナルモノニシテ其他銅坑ノ如キハ二十有餘坑ノ

多キアリ今一々之ヲ舉ケヌ就中伯耆出雲石見ノ鐵坑ハ山陽道ノ諸國ト共ニ其採掘高

本邦中最高ノ地位ニアリ

[165] 本道ニハ瀑布ノ著名ナルモノアリヤ

岩瀧寺瀑ノ石見ニ於ケル布引瀑ノ丹後ニ於ル猿尾瀑及ヒ天瀑ノ但馬ニ於ル之レ其最

タリ

[166] 温泉ノ名高キモノヲ舉ゴ

湯島(但馬)吉岡勝見(因幡)有福小屋原(石見)等最モ著名ニシテ其他木津泉ノ丹波ニ

於ル三朝山田ノ伯耆ニ於ル玉造ノ出雲ニ於ル皆名アルモノナリ

[167] 岬角ノ名高キモノハ如何

地藏岬追石岬(出雲)成生岬鷺岬(丹後)等ヲ最モ名高キモノトス其中成生岬ヲ除クノ

外ハ概テ風浪險惡ニシテ舟行ノ難所タリ

[168] 良港ノ名アルモノヲ聞ン

舞鶴宮津(丹後)諸寄港(但馬)網代(因幡)境浦米子浦(伯耆)美保關宇龍浦(出雲)大浦

外浦(石見)知夫里港(隱岐)等ニシテ舞鶴ハ海軍鎮守府ヲ置キテ軍港トナセリ

[169] 本道ノ名勝及ヒ舊跡ヲ示セ

天橋立 丹後與謝海ニアリ日本三勝ノ一ナリ

船上山 伯耆ニアリ後醍醐隱岐ヲ逃レ玉ヒシ時名和長年車駕ヲ迎ヘテ義ヲ舉ケシ

所ナリ

後醍醐帝行宮趾 隱岐國知夫郡ニアリ元弘ノ變北條高時天皇ヲ遷シ參ラセタル舊

趾ナリ

(170) 天ノ橋立ノ景ヲ記セヨ

丹後國與謝海中ニ在リ長洲一帯海中ニ斗出スルコト二十七町餘沙白ク松綠ニ相映發シテ風光ノ明媚稀ニ見ル所トス殊ニ成相山上ヨリ一望スレハ恰モ一長橋ヲ架スルコト似テ更ニ一層ノ風致ヲ増ス誠ニ天然ノ活畫ダリ陸前ノ松島安藝ノ嚴島ト併稱シテ日本ノ三勝トナス

(171) 本道ニ屬スル島嶼ノ名アルモノヲ舉ゴ

知夫里島西島中島(總稱島前)及ヒ島後ノ四島其他松島、島津島等數多ク小嶼ヲ合テ隱岐國トナス

冠島並ニ小島 丹後ニアリ 津居島 但馬ニアリ

大根島 出雲ニアリ 高島 石見ニ在リ

(172) 本道ノ地味ハ如何

宍道湖及ヒ江川ノ沿岸ヲ除クノ外廣大ノ平野ナク地味概テ薄瘠ニシテ隱岐殊ニ磽确ナリ唯少ク豊饒ナルハ伯耆ノ西北隅一部ノミ

七、山陽道

(173) 山陽道ノ分割ヲ問フ

播磨 美作 備前 備中 備後 安藝 周防 長門 ノ八國トス

(174) 本道ノ境域ヲ問フ

東ハ畿内ニ接シ北ハ一帯ノ山脈ニヨリテ山陰道ト腹背ヲナシ南ハ瀬戸内海ヲ隔テ、四國ニ對シ西端ナル長門國ハ南、早鞆海峡ヲ隔テ、九州ニ面シ北、日本海ニ枕メリ

(175) 本道ノ地勢ヲ聞カン

本州ノ西南部ニ位シ山陰道ト併稱シテ中國ト云々南北凡ソ十有五里東西百有余里ニ

亘リ面積一千五百七十方里ヲ有スル狹長ノ一道ナリ北方一帶ノ山脈連亘セルヲ以テ諸川皆之ヨリ出テ、南流シ瀬戸内海ニ入レリ然レモ大川少シ海岸ハ屈曲出入甚シク良港ニ乏シカラズ嶋嶼星羅シテ其數ヲ知ラス海峽亦從テ多シ

〔176〕 本道ノ氣候ハ如何

北ニ山脈ヲ負ヒ南ハ海ニ面セルヲ以テ氣候概シテ温暖ニシテ霜雪ノ期短ク全ク山陰道ト反對ナラセリ

〔177〕 全地味ヲ問フ

地味モ亦山陰道ト反對ナリ山陰道ハ多ク薄瘠ナレモ本道ハ頗ル肥沃ニシテ田畝大ニ開ケ穀菜能ク登ル唯西方ノ一部稍薄瘠ヲ免レザルノミ

〔178〕 本道ニ屬スル海灣ノ著名ナルモノヲ舉ゴ

播磨灘水島灘縫灘硫黃灘周防灘(以上瀬戸内海)響灘等ニシテ東ハ大坂灣ニ接シ西ハ筑前ノ玄海洋ニ連ル之レ其大ナルモノナリ尙備前ノ兒島灣ニ於ル安藝ノ廣島灣ニ於ル皆名アルモノトス

地方廳ノ所在地ヲ問フ

岡山(備前) 廣島(安藝) 山口(周防)ニ皆同名ノ縣廳アリ

(180) 各地方廳ヨリ東京ニ至ルノ距離如何

岡山縣ヨリ百八十九里廣島縣ヨリ二百三十三里山口縣ヨリ二百六十九里トス

(181) 有名ノ都會ハ如何

姫路明石(播磨)津山(美作)岡山(備前)笠岡(備中)尾道福山(備後)廣島御手洗(安藝)

山口岩國(周防)赤間關萩(長門)

(182) 有名ノ港ヲ舉ゴ

室津(播磨)牛窓(備前)笠岡玉島(備中)鞆津尾道(備後)御手洗吳(安藝)中ノ關上ノ關

三田尻(周防)赤馬關大浦(長門)等尤モ名アルモノニシテ赤馬關鞆尾道ノ如キハ海船

ノ碇泊常ニ絶ヘス吳港ハ近時海軍守府ヲ置ケリ其他各國良港ニ乏シカラズ

(183) 海峽ノ著名ナルモノヲ舉ゴ

速瀬瀬戸(長門)大島瀬戸上之關海峽(周防)隱戸瀬戸早瀬々戸(安藝)阿武兔瀬戸尾道

海峽布刈海峽(備後)三原海峽(備後安藝)牛窓瀬戸(備前)神嶋瀬戸(備中)明石瀬戸

[播摩]

[184] 岬角ノ著名ナルモノハ如何

備後ノ阿武兔岬長門ノ高山岬及川尻岬周防ノ赤石岬安藝ノ石瀬崎等著名ナリ

[185] 著名ノ島嶼ヲ問フ

本道ニ屬スル島嶼ハ頗ル多ク瀬戸内海一面ニ碁布星散セリ就中安藝ノ海上最モ多ク
同國ニ屬スルモノ、ミニテ凡ソ一百三十アリ今其主ナルモノヲ擧ケレハ家嶋西嶋

[播摩]鹿久井嶋長嶋(備前)神嶋北木嶋(備中)田島向島因島百島築島(備後)倉橋嶋能

美島生口嶋大崎嶋蒲刈嶋江田嶋巖嶋佐木嶋(安藝)大津嶋笠戸島上之關島平群島大島

(周防)六連島引島角嶋青海嶋(長門)等ニシテ其他小嶋ハ一々擧クルニ遑アラス

[186] 瀬戸内海トハ如何ナル所ヲ云フヤ

山陽南海兩道ノ間ニアリ東ハ明石海峽ヲ以テ大坂灣ニ連リ西、馬關ノ海峽ヲ以テ響
灘ニ通ス其間東播摩灘ヨリ西周防灘ニ至ル凡ソ一百餘里水嶋硫黃燧ノ諸灘其中ニア

リ海中群嶋羅列其數ヲ知ラス周防灘播摩灘ハ波稍高シト雖モ概シテ舟行平穩ナリ之
レ南北ニ大陸ヲ受クルニ因レリ

[187] 有名ノ山岳ヲ問フ

播摩ニテハ笠形山雪彦山書寫山白旗山アリ美作ニテハ雛倉山那岐山アリ備前ニテハ
熊山アリ備中ニテハ彌高山天神山アリ備後ニテハ御神山アリ又安藝ノ阿生山周防ノ
東方便山長門ノ徳嶋峯及西方便山等ヲ著名ナリトス

[188] 本道ノ名川ヲ擧ゴ

吉田川 安藝ニアリ備後ノ國境ニテ三次川ニ會ス

岩國川 周防ノ北境ヨリ發シ南流シテ海ニ入ル一名ヲ錦川ト云フ有名ナル錦帶橋
ヲ架シタル所ナリ

加古川 源ヲ丹波ヨリ發シ南ニ流レテ播摩ヲ貫キ海ニ注グ

吉井川 美作ノ北境ヨリ發シ備前ニ入リテ東大川トナリ海ニ注グ

朝日川 源ヲ大山ノ深谷ヨリ發シ備前ニ入リテ西大川トナリ海ニ入ル

(189)

大川 備中ノ北境ヨリ出テ南ニ流レテ海ニ注ク
 三次川 備後ノ北邊ヲ流レ石見ニ入リテ江川トナル
 太田川 安藝ノ北邊ヨリ出テ雁折シテ南ニ下リ廣島灣ニ注ク
 著名ノ物産ヲ聞カン

(190)

各州著名ノモノヲ擧クレハ先ツ播磨ノ赤穂搦明石縮緬龍野醬油姫路革ヲ始メトシ美
 作ノ雲齋織備前ノ長船刀劔伊部陶器備中ノ紙其他備後表保命酒ノ備後ニ於ケル牡蠣
 及ヒ鐵鑛ノ安藝ニ於ル岩國縮布木綿ノ周防ニ於ル赤間硯鹿子絞ノ長門ニ於ル皆本道
 著名ノ物産ニシテ就中安藝ノ鐵鑛ハ其產出ノ多量ナルヲ殆ト全國ニ冠タリ
 有名ナル湖沼アリヤ
 本道ハ湖沼ノ名アルモノ極テ少シ唯大池ノ備前ニ於ル長澤ノ周防ニ於ケル常盤池ノ
 長門ニ於ケル三個アルノミ之レ亦甚々大ナラス

(191)

著名ノ礦泉アリヤ
 礦泉亦甚々少シ唯其有名ナルモノ湯郷(美作)八木村(安藝)湯田(周防)湯本(長門)其

他數所ニ過キズ

(192)

嚴島ノ勝ヲ記セヨ
 一名ヲ宮島ト云フ廣嶋灣ノ口ニアリ日本三景ノ一トス周回八里ニシテ足ラズ島中嶮
 岨奇岩多シ社殿アリ市杵姫ヲ祭ル蓋シ嶋名ノ起原此ニ在リ岨ニ倚リ水ニ架シテ之ヲ
 搆ヘ長廊繞リ列リ極テ壯麗ナリ故ニ滿潮ノ時ニ至レハ殿廊碧波ニ映發シ搖々トシテ
 恰モ水上ニ浮ブガ如シ亦奇觀ナリ四方來遊ノ人常ニ絶ヘス殿廊ハ昔平清盛ノ築ク所
 トス

(193)

名勝古跡ヲ擧ゴ

嚴島 安藝ニアリ日本三景ノ一ニシテ毛利元就陶晴賢ヲ滅セシ所ナリ
 舞子濱 播磨國ニアリ明石海峽ヲ隔テ、淡路嶋ニ對シ東攝津ノ須摩浦ニ連リ西明石
 浦ニ接ス青松鬱鬱白砂ニ相映シ風光甚々絶佳ナリ
 明子浦 舞子濱ノ西ニアリ亦古來勝地ヲ以テ稱セラレ
 錦帶橋 周防國岩國川ニ架ス一ノ支柱ヲ用ヒス河身ニ石ヲ疊テ之ニ充ツ構造堅牢世

ニ稱シテ筭盤橋ト云フモノ之ナリ

壇ノ浦 長門國ニアリ平氏安德帝ヲ奉シテ此地ニ走り遂ニ源軍ノ爲ニ破ラレシ所ナ

リ

豐浦 亦長門國ニアリ仲哀天皇熊襲ヲ征シ玉ヒシ時行宮ヲ建テラレシ所ナリ

其他高砂松曾根松石寶殿(各播摩ニアリ)亦有名ニシテ杖ヲ引クモノ多シト云フ

(194)

礦山ノ名アルモノヲ舉ゴ

銅鐵石炭ノ類最多ク就中長門ノ石炭安藝備後ノ鐵ヲ以テ最トシ之ニ次クモノヲ美作

萬中ノ銅播摩備前ノ蠟石トス其他安質母尼及ヒ銀ノ播摩ニ於ケル明礬及ヒ銅ノ美作

ニ於ル大理石寒水石ノ長門ニ於ケル亦名アリ

(195)

瀑布ノ名アルモノハ如何

那智瀑(備後)神庭瀑岩井瀑(美作)三級瀑(安藝)太田瀑(播摩)其他數瀑アリ

(196)

山陰山陽兩道第一ノ都會ヲ問フ

安藝ノ廣嶋之ナリ人口八万第五師團第九旅團アリ天正中毛利元就山陰山陽十國ヲ領

スルニ當リ此地ニ居リシヲ以テ繁盛ノ區トナレリ

八、南海道

[197]

南海道ノ分割如何

紀伊淡路阿波讚岐伊豫土佐ノ六國トス而シテ紀伊淡路ノ二國ハ各相離レテ一國ヲナ

スヲ以テ他ノ四ヶ國ヲ併稱シテ通常四國嶋ト云フ

[198]

其境域如何

紀伊ハ畿内ノ南方ニアリテ東西南三方共ニ海ニ面シ北ハ伊勢大和河内和泉ノ四國ニ

境ス淡路ハ一ノ島國ニシテ東ハ由良峽ヲ以テ紀伊和泉ニ對シ南ハ紀伊海峽ニ枕シ西

ハ鳴門海峽ヲ以テ本道ノ四國嶋ニ面シ北ハ明石海峽ヲ以テ播摩ニ向ヘリ四國島ハ東

ハ紀伊ニ對シ其間ニ紀伊海峽ヲ挾ム南ハ太平洋ニ面シ西ハ九州島ノ豊後ニ對シ其間

速吸峽ヲ挾ミ其距離甚ク近シ北ハ山陽道ニ對シテ瀬戸内海ヲ擁セリ

[199]

其地勢如何

本道ノ地勢ハ三ツニ分ル曰ク紀伊曰ク淡路島曰ク四國島之ナリ紀伊ノ北方ハ山嶺重疊シテ人跡容易ニ到リ難ク海岸ハ屈曲甚シクシテ加フルニ斷岸絶壁多シ其海上チ熊野浦ト云フ波浪險惡ニシテ舟行危險ナリ四國嶋亦海岸ノ屈曲甚シク岬角多クシテ南北各一大灣ヲ控フ嶋ノ中央ハ山脈連亘シテ脊梁ヲナシ讃岐伊豫ノ二國ト阿波土佐ノ二國トチ南北ニ分界セリ川流ハ大抵此山脈ヨリ發シテ各方ニ流ル全嶋ノ形恰モ蝙蝠ノ翼ヲ張ルカ如シ面積總計千五百九十八方里トス

(200)

有名ノ岬角ヲ記セヨ

潮岬比井岬(紀伊)浦生田岬(阿波)三崎(讃岐)大隅鼻佐田岬(伊豫)室戸岬(薩摩)土佐

(201)

有名ノ海峽ヲ記セヨ

紀伊海峽 紀伊ト阿波ノ間ニ在リ

鳴門海峽 阿波ト淡路ノ間ニアリ

由良海峽 紀伊ト淡路ノ間ニ在リ

(202)

土佐灣ノ形勢ハ如何

沿岸一百里ニ亘リテ恰モ新月ノ形ヲナシ東ニ室戸岬アリ西ニ薩陀岬アリテ相對ス其間直徑凡ソ三十里アリ此灣ハ往昔陸地ナリシカ千三百四十四年即天武帝ノ十二年十月地大ニ震ヒ田園陷ルコ凡ソ五十万頃遂ニ此大灣ヲ生セリ

(203)

長港ノ名アルモノヲ舉ゴ

加太、大崎、比井、田邊、大島、瀬戸(紀伊)由良、福良(淡路)撫養、那佐、小松島(阿波)高松、丸龜、志度、多度津(讃岐)宇和島、三津、中泊港(伊豫)浦戸、甲ノ浦、須崎、室津(土佐)

(204)

山岳ノ著名ナルモノヲ問フ

八鬼山、大塔峯、那智山、高野山(紀伊)先山、踰鶴羽山(淡路)劍山、祖谷山、烏帽子山(阿波)八栗山、象頭山(讃岐)石碓山、別子山、鬼城山(伊豫)三瀧山、雪光山(土佐)

(205)

河流ノ著名ナルモノヲ問フ

吉野川 一二四國三郎ト稱ス土佐ノ瓶森山ニ發シ東流シテ阿波ヲ過キ海ニ注グ
日高川 紀伊ニアリ大和ノ界ヨリ發シ紆餘屈曲西流シテ海ニ入ル
紀伊川 大和吉野川ノ下流ナリ紀伊ノ北邊ヲ西流シテ紀伊海峽ニ入ル

熊野川 紀伊ニアリ大和十津川ノ下流ナリ國ノ中央ヲ東南流シテ熊野津ニ注ク
 在田川 亦紀伊ニアリ源ヲ高野ニ發シ西流シテ海ニ入ル
 那珂川 阿波ニアリ土佐ノ境ヨリ發シ東奔シテ海ニ注グ
 物部川 土佐ニアリ阿波ノ境ヨリ發シ西南ニ下リテ土佐灣ニ朝ス
 仁淀川 亦土佐ニ在リ伊豫ヨリ來リ土佐灣ニ入ル
 其他紀伊ニハ富田川安宅川アリ伊豫ニハ銅山川面河川アリ土佐ニハ渡川アリ皆地方ノ名川ナリ

[206] 地方廳ノ所在地ヲ問フ

和歌山〔紀伊〕徳嶋〔阿波〕高知〔土佐〕ニ各同名ノ縣廳アリ讃岐ノ高松ニ香川縣廳アリ
 伊豫松山ニ愛媛縣廳アリ総テ五縣ナリ

[207] 地方廳ヨリ東京ニ至ル里數如何

和歌山縣ヨリ一百六十一里徳島縣ヨリ一百八十二里高知縣ヨリ二百三十九里香川縣ヨリ二百〇七里愛媛縣ヨリ二百四十八里アリ

(208) 本道ノ都會ヲ列舉セヨ

和歌山ハ紀伊ノ都會ニシテ洲本ハ淡路ノ都會ナリ阿波ニハ徳島撫養アリ讃岐ニハ高松九龍アリ伊豫ニハ松山宇和島今治アリ土佐ニハ高知高岡アリ

氣候ハ如何

山間ノ村落ニ至リテハ寒氣ノ強キ所少カラス且山脈中央ニ連亘セルヲ以テ其南北ハ多少ノ異同ヲ免レスト雖モ概シテ温暖ニシテ山陽地方ニ比スレハ温度更ニ高ク紀伊土佐ノ沿岸ノ如キハ草木ノ發芽殊ニ早キヲ覺フ

地味ハ如何

概シテ肥沃ニシテ田畝大ニ開ケ五穀豐饒ナリ唯土佐及ヒ紀伊ノ一部稍薄瘠ヲ免レヌ湖沼ノ有名ナルモノアリヤ

(211) 本道湖沼多シト雖モ甚々大ナルモノナシ今其中ニ就キ稍大ナルモノヲ舉ケレハ海老池〔阿波〕神内池松尾池三谷池北條池滿濃池〔讃岐〕鹿子池〔伊豫〕等ナリ

(212) 礦泉ノ著名ナルモノアリヤ

曰ク最モ著ル、モノチ伊豫ノ道後トス之ニ亞クモノハ同國温泉谷宇和川紀伊ノ湯ノ
峯本宮土佐ノ圓行寺鶴湯岩本山等トス

(213) 物産ノ著名ナルモノヲ問フ

紀伊ニテハ密柑ヲ第一トシ雲齋織高野紙之亞キ淡路ニテハ陶器阿波ニテハ藍ヲ最ト
シ摺之ニ亞ク讚岐ニテハ食鹽砂糖伊豫ニテハ銅土佐ニテハ鯨節ヲ初トシ半紙及珊瑚
等トス而シテ全道水産ニ富ミ紀伊土佐ノ海上ニテハ捕鯨ノ業盛ニ行ハル

(214) 瀑布ノ名高キモノヲ聞シ

那智瀑布ハ紀伊ニアリ本邦瀑布中第一ノ壯觀ト稱ス又百間瀑布同國ニアリ高瀑ハ伊豫
ニアリ

(215) 礦山ヲ舉ゴ

伊豫ノ別子銅山ヲ第一トシ紀伊ノ石炭坑及ヒ銅坑伊豫ノ安質母尼坑及ヒ滿庵坑銅坑
等最モ有名ニシテ其他小坑尙多シ中ニ就キ別子銅山ノ如キハ其産出ノ多キヲ下野國
ヲ除ク外全國中之ニ及ブモノナシ

(216) 島嶼ノ有名ナルモノヲ舉ゴ

本道ハ島嶼頗ル多ク就中讚豫ノ兩國海上最モ多ク伊豫ノ如キハ周回一里以上ノ者ノ
ミニテモ其數三十ヲ超ヘタリ今其一ニテ舉ケレハ紀伊ニテハ大島浦初島(二島ニ分
ル)友島(同上)アリ淡路ニテハ沼島アリ阿波ニテハ大嶋、高島、大毛山、伊島、島田山
アリ讚岐ニテハ小豆嶋直嶋鹽飽嶋廣嶋粟嶋アリテ各數個ノ屬嶋ヲ有ス伊豫ニテハ大
三嶋大下嶋伯方嶋弓削嶋岩城嶋大嶋與居嶋忽那嶋津和地嶋日振嶋戸島アリ土佐ニテ
ハ沖島鶴來島等アリ

(217) 鳴門海峡ノ潮勢ヲ問フ

阿波ト淡路ノ間ニ在リ故ニ阿波鳴門ト云フ瀬戸内海ノ南門ニ當レリ大毛山ノ岬端突
出シテ大鳴門小鳴門ノ二ニ分ツ共ニ潮流大平洋ト相參差シ奔激湍渦ヲナシ鳴號雷霆
ノ如シ海底ニハ巨礁相連リ潮大ニ退クキハ其尖頭ヲ水上ニ現ハスト云フ舟行ノ危険
本邦第一ト稱ス

(218) 名勝及ヒ古跡ノ有名ナルモノヲ問フ

和歌浦 又明光浦ト云フ聖武天皇行幸ノ時名ケ賜フ所ナリ紀伊國ニアリ水天一碧

風致閑雅本道第一ノ勝地ニシテ其景ノ愛スヘキ日本三景ニ亞ゲ

屋島 讚岐國ニアリ源平ノ古戰場ナリ

土御門天皇遷幸趾 阿波國板野郡ニアリ承久ノ乱北條義時帝ヲ土佐ニ遷シ後復マ

此地ニ遷ス遂ニ此ニ崩シ玉フ

淳仁天皇遷幸趾 淡路國三原郡ニアリ天平寶字八年天皇廢セラレテ此地ニ遷幸シ

玉ヒ遂ニ崩ス

崇德天皇遷幸跡 讚岐國寒川郡ニアリ保元ノ乱帝ヲ遷セシ所ナリ近傍松山ニ天皇

ノ陵アリ

金剛峯寺 紀伊高野山ニ在リ僧空海寺ヲ此ニ創シ真言宗ヲ唱ヘシ所ニシテ古來著

名ノ巨剎ナリ寺域六十七万五千坪

粉川寺及道成寺 紀伊ニアリ之亦佛徒ノ常ニ稱道スル所トス

琴平神社 讚岐國象頭山ノ山腹ニアリ大己貴命及崇德天皇ヲ合祀ス頗ル著名ナリ

那智瀑 紀伊ニアリ熊野浦ヨリ之ヲ望ム實ニ無双ノ壯觀ニシテ其名水聲ト共ニ高

九、西海道

(219) 西海道ノ分割如何

筑前筑後豊前豊後肥前肥後日向大隅薩摩壹岐對馬琉球ノ十二國トス

其境界如何

東南ハ大平洋ニ面シ西北ハ支那海日本海ニ臨ミ東北ハ四國島及本州ニ對ス其間最モ
近シ而シテ對馬ノ北端ハ朝鮮釜山浦ト煙火相望ミ琉球群島ノ極西ハ支那臺灣島ト相
接シ僅ニ一葦水ヲ隔ツルノミ

(221) 其地勢ノ概畧ヲ記セヨ

本道ハ我日本ノ西端ニ在ル一道ニシテ九州島及壹岐對馬ノ二島ト琉球群島トノ四部
ヨリ成ル九州島ハ東西凡三十五里南北凡七十六里面積二千六百七十七方里ノ大島ニ
シテ中ニ筑前以下ノ九國ヲ含ム故ニ九州島ト名シ海岸ノ出入甚シク島嶼亦多シ肥前

ノ如キハ殊ニ然リトス山脈ハ陰陽両道及ヒ朝鮮ヨリ來リ中央ニ丁字形ヲナシテ連綿シ本島ノ脊梁ヲナス其肥後日向ノ國境ナル山間ニ至リテハ深嶺幽谷人跡絶テ至ラサル所アリ概シテ北部ハ平衍ノ地多ク南部ハ險隘ノ地多シ川流ハ大抵此山脈ヨリ出テ、東西ニ流ル頗ル水利ノ便アリ而シテ對馬ノ北端ハ朝鮮釜山浦ト僅ニ十五里ノ海峽ヲ狹ミ國防上最モ要害ノ地ナリ琉球群島ハ五十五ケノ小嶋蜿蜒羅列シテ支那臺灣島ノ近海ニ至ル其距離僅ニ二十八里ニ過キス而シテ其東端九州島ヲ距ル最近ノ處ニテ一百四十里トス面積總計二千八百二十五方里

(222) 氣候ハ如何

大抵温暖ニシテ南部ニ至ニ從ヒ漸次暖熱ヲ加ヘ概シテ積雪甚ダ少シ殊ニ琉球地方ニ至リテハ極テ炎熱ナリ然レモ概テ人ノ生活ニ適セリ

(223) 地味ハ如何

本道ハ地味豊饒ニシテ至ル所田圃相望メリ特ニ肥後地方ハ嘉穀ノ産出ヲ以テ天下ニ名アリ

(224) 地方廳ノ所在地ヲ問フ

福岡(筑前)大分(豊後)佐賀長崎(各肥前)熊本(肥後)宮崎(日向)鹿兒島(薩摩)ニ各同名ノ縣廳アリ沖繩島那覇(琉球)ニ沖繩縣廳アリ總テ八縣ナリ

(225) 各地方廳ヨリ東京ニ至ルノ距離如何

福岡縣ヨリ三百千里大分縣ヨリ三百二十里佐賀縣ヨリ三百十四里長崎縣ヨリ三百四十五里熊本縣ヨリ三百三十二里宮崎縣ヨリ三百六十八里鹿兒島縣ヨリ三百八十八里沖繩縣ヨリ五百七十四里トス

(226) 本道ノ都邑ヲ舉グ

福岡博多甘木(筑前)久留米柳川(筑後)大分臼杵(豊後)小倉中津(豊前)佐賀長崎○原(肥前)熊本八代(肥後)宮崎延岡(日向)加治木(大隅)鹿兒嶋(薩摩)勝本(壹岐)嚴原(對馬)那覇首里(琉球)

(227) 有名ノ港泊ヲ問フ

博多蘆屋若松(筑前)若津(筑後)門司鞆ノ島(豊前)佐賀關白拵(豊後)長崎島原唐津佐

世保伊萬里口津(肥前)三角牛深水俟(肥後)細島外之浦(日向)内浦(大隅)鹿兒島山川坊津(薩摩)郷野浦(壹岐)嚴原(對馬)那霸運天(琉球沖繩嶋)等ニシテ其中長崎港ハ五港ノ一ニシテ外國トノ互市場ナリ佐世保ハ海軍鎮守府ヲ置キ軍港トス

(228)

著名ノ川流ヲ聞シ

筑後川 一ニ筑紫二郎ト云フ九州第一ノ大河ナリ豊後ヨリ發シ兩筑ヲ界シテ南ニ下リ海ニ入ル

川内川 薩摩大隅ノ境上ヨリ出テ西ニ流レテ海ニ入ル

美々津川 日向ノ西境ヨリ發シ東南ニ流レテ海ニ注グ

球摩川 肥後ニ在リ東境ヨリ發シ西流シテ海ニ注ク水流迅急我國三急流ノ一ナリ

大淀川一ノ瀬川五ヶ瀬川 三流各日向ノ西境ヨリ出テ、東流シ海ニ注ク

遠賀川 筑前ニ在リ二源アリテ一ハ豊前ヨリ來リ一ハ筑前ノ東南地方ヨリ發シ相

會シテ北流シ海ニ朝ス

矢部川 筑後ニアリ東南隅ヨリ發シ西流シテ海ニ入ル其上流ノ溪間風趣奇絶ノ所

多シ

綠川 肥後ニ在リ東境阿蘇ノ山谷ヨリ出テ、西ニ走リ海ニ入ル

菊池川 亦肥後ニアリ東部ノ山間ヨリ發シ西南流シテ筑紫海ニ注ク

山國川 豊前ニアリ源ヲ國ノ西境ニ發シ東ニ流レテ大分福岡兩縣ヲ境シ海ニ入ル

上流ニ耶馬溪ノ勝アリ山水奇絶稀ニ見ル所トス

大野川 豊後ニアリ肥後ノ境上ヨリ發シ諸流ヲ併テ東流シ海ニ注ク

有名ノ高山ヲ舉グ

筑前御前嶽

(229)

筑前ニテハ馬見山ヲ第一トシ賢滿山古處山背振山アリ筑後ニテハ御前嶽熊渡山高良

山豊前ニテハ英彦山犬岳アリ豊後ニテハ鶴見山由布岳祖母岳黒岳アリ肥前ニテハ多

良嶽領巾振山温泉岳アリ肥後ニテハ阿蘇山涌蓋山鞍岳白髭山三國岳三太郎峠アリ日

向ニハ霧嶋山法華岳小松山アリ大隅ニハ國見岳北岳アリ薩摩ニテハ紫尾山開聞岳野

間岳アリ壹岐ニハ魚釣山アリ

(230)

火山ノ有名ナルモノヲ問フ

阿蘇山ハ肥後ノ東境ニ在リテ常ニ硫烟ヲ噴ク山麓ニハ温泉十二ヶ所アリ温泉岳ハ肥前島原半島ニアリ亦温泉頗ル多シ霧島山ハ日向ノ西境ニアリ東西二峯ニ分ル東岳ハ即チ古ノ所謂高千穂峯ナリト云フ鶴見山ハ豊後ニ在リ櫻島岳ハ大隅ノ櫻島ニアリ亦噴火山ナリ

(231) 著名ノ岬角ハ如何

鐘岬名護屋崎西浦岬(筑前)門司崎部崎(豊前)地蔵岬保戸岬鶴見崎(豊後)野間崎開聞岬(薩摩)都井岬(日向)火崎佐多岬(大隅)野母崎波戸崎牛首岬早崎(肥前)

(232) 潮沼ノ大ナルモノヲ舉ゴ

池田湖(薩摩)鴨生田池、大池、流池、小野牟田池、浮牟田池(筑前)大波池(大隅)小倉池(豊前)江津廣池(肥後)チ主トシ其他稍小ナルモノ尙多シ右ニ舉ケタルモノ、中池田湖及鴨生田池チ最大ナリトス

(233) 温泉ノ有名ナルモノヲ舉ゴ

武藏村(筑前)別府淡路脇鐵輪(豊後)古湯嬉野(肥前)山鹿、阿蘇(肥後)高原吉田(日向)

(234) 硫黄各木房(大隅)鶴田湯ノ浦(薩摩)舟木屋(筑後)等トス其他名アルモノ數十所アリ物産ハ如何

筑前ノ博多織博多絞石炭黃楊雜卵筑後ノ久留米紵石炭生蠟豊前ノ小倉織石炭豊後ノ豊後絞明礬肥前ノ石炭陶器肥後ノ米穀石炭日向ノ半切紙大隅ノ煙草薩摩ノ陶器煙草燒酎七島筵薩摩總壹岐ノ海産物對馬ノ陶土蜂蜜其他海産物琉球ノ甘藷芭蕉布泡盛漆器琉球總等ニシテ其他諸國皆米穀豐饒且水産ニ富ミ筑前肥前豊後ノ如キハ漁業最モ盛ナリ

(235) 有名ノ礦坑アリヤ

石炭ノ筑前筑後豊前及肥前肥後ニ於ケル之チ其最トナス全土殆ト石炭ヲ以テ填充スト云フト雖モ過言ニアラサルベシ其中筑前ノ遠賀鞍手嘉麻穂波ノ四郡筑後ノ三池豊前ノ田川肥前ノ高嶋最モ多シトス金山ハ大隅ノ山野薩摩ノ芹野豊後ノ速見ニアリ其他鐵銅錫等ノ鑛山所々ニアリ

(236) 九州島ニ屬スル島嶼ヲ舉ゴ

殘嶋志賀嶋玄界嶋小呂嶋相嶋大嶋地嶋沖津嶋姫嶋(以上筑前)大野嶋(筑後)藍嶋箕嶋(豊前)姫嶋保戸嶋小中島大入嶋屋形島深島(以上豊後)平戸島(生月島大島等之ヲ屬ス)中通島宇久島奈留島久賀島福江島(以上ヲ五島ト稱ス)伊王嶋大島針尾島若松島平島野崎島樺島(以上肥前)天草群嶋(大小七十許)大矢野島牧島御所浦島下須島(以上肥後)大島、島浦嶋(日向)櫻嶋種子島屋久島大島喜界島永良部島興論島徳ノ島(以上大隅)長島伊唐島獅子島甌島口ノ嶋中ノ島諏訪瀬島惡石島寶島臥蛇島平島(口ノ島以下ヲ寶ノ七島ト稱ス)(以上薩摩)等ニテ其他小島ハ星散基布一々枚擧スルニ違アラ

(237) 海峽ノ有名ナルモノヲ問フ

對馬海峽(對馬ト朝鮮ノ間)平戸瀬戸針尾瀬戸、瀬詰瀬戸(肥前)連吸峽(豊後ト四國ノ間)早瀬瀬戸(豊前ト長門ノ間)三角峽(肥後)大船越瀬戸(對馬)

(238) 有名ノ海灣ヲ記セヨ

玄海洋博多灣(筑前)松浦瀉大村灣(肥前)筑紫瀉(兩肥及筑後島)鹿兒島灣(薩摩)志布志灣

(239) 琉球群島中主ナルモノハ何ソヤ

(日向大隅)天草洋(肥後)日向灘(日向)等ニノ其中玄海洋最モ風浪ノ險惡ナル所ナリ
總數五十五其中主ナルモノヲ沖繩島宮古島石垣嶋入表島永良部島與那國島トス就中沖繩島最モ大ナリ

(240) 琉球ノ氣候如何

終歲霜雪ヲ見ス氣候頗ル炎熱ニシテ冬時ト雖モ草木凋落セズ四時青々トシテ繁茂セリ又時々暴風ノ愛アリ故ニ居民皆矮屋ニ住セリ

(241) 五個莊トハ如何ナル所ゾ

肥後ノ東境山間ニアリ攢峯重嶺深山幽谷ノ間人家數十分レテ五個ノ部落ヲナス故ニ此稱アリ道路ノ以テ人行ヲ通スルナリ或ハ懸崖ヲ攀テ絕壁ヲ登リ或ハ深谷ニ下リ幽溪ヲ度リ以テ始テ其境ニ至ルベシ故ニ其近郷ノ人ト雖モ其地ノ形勢ヲ知ルモノ甚々稀ナリ古來曾テ他郷ト交通シタルコトク言語風俗自ラ趣テ異ニス傳ヘ云フ壽永ノ亂平氏ノ遺族逃レ來リテ此部落ヲナスト其レ或ハ然ランカ近傍米良ノ郷アリ亦之レ溪

(242)

間ノ一郷人跡稀ニ至ル所トス
耶馬溪ノ形勝ヲ畧記セヨ

豊前國山國川ノ上流ニアリ長溪數里ニ亘リ其間山水奇絶恠石奇岩層々トシテ水中ニ堀起シ千狀万体得テ名狀スベカラス川ニ沿フテ道アリ道ノ左右岡巒起伏ス之レ皆一塊ノ巖巖ナリ道窮テ隧道ヲ通ス此間ノ風景四時其客ヲ改メ殆ト之ヲ記スルノ文字ナキニ苦ム山上一ノ古刹アリ羅漢寺ト云フ嶮崖ニ倚リテ堂宇ヲ構ヘ堂後窟道アリ暗黒ニシテ咫尺見ルベカラス螺轉シテ遂ニ堂屋ノ上ニ達ス之ヲ名ケテ地獄極樂ト云フ奇ハ則チ奇ナリト雖モ之レ唯人爲ノ工ノミ獨リ其天工ノ幽邃ニシテ愛スベキニ至テハ絶テ無クシテ稀ニ在ル所ナリ昔頼山陽此地ニ遊ヒ其形勝ヲ稱シテ海内無雙トセリ眞ニ之レ仙境ナリ

(243)

瀑布ノ著名ナルモノアリヤ

千丈瀑〔筑前〕椎谷瀑〔豊前〕白水瀑〔肥後〕清水瀑〔肥前〕震動瀑〔豊后〕布水瀑〔日向〕犬飼瀑〔大隅〕松森瀑〔薩摩〕

(244)

不知火トハ何ソヤ

肥前島原ノ半島肥后ノ天草嶋ト相對シテ海門ヲナス所舟行最モ危シ此邊毎秋一夕鹹光ヲ發シ四面燦爛トシテ海上総テ是レ火炎其觀實ニ美ナリ之ヲ稱シテ不知火ト云フ古兩肥ヲ稱シテ火國ト云ヒシハ蓋シ之ヨリ起レリ

(345)

本道中ニアル名勝古跡ヲ記セヨ

耶馬溪 其形勝別項ニ記スルカ如シ

太宰府趾 筑前ニアリ古西海ノ政ヲ總ヘシ所即所謂外朝ノ跡ナリ太宰府神社アリ

菅原道眞ヲ祭ル社殿壯麗ナリ

大門崎 亦筑前ニアリ巖巖屹然トシテ玄海洋中ニ突出シ高サ凡ソ廿丈其狀恰モ數

十條ノ方石柱ヲ攢メタルカ如ク井然トシテ界劃アリ北面ニ洞アリ小舟ヲ容ルベシ洞中深邃未タ其奥ヲ極メタルモノナシ亦奇觀ナリ

海中道 筑前博多灣ノ北方ニアリテ灣口ヲ扼ス沙洲海中ニ斗出スルヲ三里白沙青

松相映シテ風光極テ佳ナリ

箱崎名嶋及香椎 亦皆筑前ニアリ箱崎ハ應神天皇ヲ祭リ香椎ハ仲哀天皇崩御ノ地ナリ神社アリ天皇及ヒ神功皇后ヲ併祀ス名島ニハ奇石アリ傳ヘ云フ神功皇后征韓ノ役ニ用ヒシ櫓ノ化石ナリト

朝倉宮趾 之レ亦筑前ニアリ齊明天皇西狩シテ行宮ヲ置カレシ所ニシテ遂ニ此ニ崩シ玉ヘリ

玄海島 筑前博多灣口ノ北ニアリ元冠殲滅ノ地ナリ

高千穂宮趾 日向國ニアリ歷史上傳フル所天孫瓊々杵尊降臨ノ跡ナリ

隈部城趾 肥後ニアリ菊池氏累世ノ居城ナリ

熊本城 肥後熊本ニアリ加藤清正ノ經營ニシテ規模宏壯頗ル堅城ノ名アリ丁丑ノ役谷千城據守セシ所ナリ

五家及米良 亦肥後ニアリ其形勢前項ニ記スル所ノ如シ

原城趾 肥前ニアリ寛永中耶蘇教徒ノ據テ以テ乱ヲ作セシ所ナリ

宇佐神社 豊前ニアリ應神天皇神切皇后ヲ併祀ス結構極テ壯嚴ナリ和氣清磨ノ神

勅ヲ請ヒシハ即チ此社ナリ

城山 薩摩ニアリ熊本城ト共ニ丁丑役ノ新戰場ニシテ西郷隆盛戰没ノ地ナリ

(246) 琉球ノ風俗如何

概シテ温和柔順ナリ今其風俗ノ一二ヲ擧ケン

言語及文字 畧内地ニ摸セリ

家屋 矮陋ニシテ粗糲ナリ家ノ周圍石垣ヲ繞ラス

衣服 男子ハ潤袖ノ單衣ヲ着ケ長ケ甚ク短シ女子ハ総テ長キ上衣ヲ着ケ左袴右袴相交ル而シテ上等人士ヲ除ク外ハ皆跣足ニシテ脛ヲ現ハセリ

頭髮 男女共ニ髮ヲ束テテ女子ハ一替男子ハ兩替加フ

食物 主ニ甘藷ヲ食シ或ハ蘇鐵ノ實ヲ粉トシテ食フ又火酒ヲ嗜ミ豚肉ヲ食フ

其他女子ハ手甲ニ文身ヲ施スノ風アリ又専ラ勞力ニ從事スルハ女子ニテ男子ハ概

子遊逸セリ

九州中ニ於ケル平原ヲ問フ

(247) 九州中ニ於ケル平原ヲ問フ

筑後川菊池川緑川白川川内川ノ沿岸及ヒ日向大隅海濱ノ地ヲ平原ノ大ナルモノトス

十、北海道

(248) 北海道ノ分割如何

渡島後志石狩天塩北見膽振日高十勝釧路根室千島ノ十一國トス

其境城如何

(249) 東北ハ阿哥斯科海ニ濱シ久留里海峡ヲ隔テ、近ク魯領ノ勘察加ニ對シ東ハ太平洋ニ枕ミ南ハ津輕海峡ヲ以テ本州ニ面シ西ハ日本海ニ沿ヒ北ハ宗谷海峡ヲ以テ樺太島ニ對ス

本道ノ地勢ヲ問フ

(250) 此地古ノ所謂蝦夷ニシテ東西大約百七十里南北百卅里面積六千九十四方里ノ一道ニシテ本邦ノ最地部ニ位シ千嶋群島ノ如キハ魯領ト一葦帶水ヲ隔ツルノミ山脉樺太ヨリ來リテ中央ニ蟠結シ其脈分レテニツトナリ蜿蜒連亘シテ西南ニ走ルモノ遂ニ本州

ニ入テ奥羽ノ山脈ヲ起ス川流ハ概チ中央ノ溪間ヨリ發シテ四方ニ分流セリ海岸ハ出入甚タ多ク港泊ニ乏シカラス

本道ノ氣候ハ如何

(251) 緯度ノ差甚シキニヨリテ氣候亦同シカラス南部ハ温和ヨシテ積雪ノ如キモ甚シカラズ却テ本州奥羽ノ地方ヨリモ暖ナルカ如シ之レ本州ノ東ヲ流レタル温潮ヲ受ケルニ因レリ之ニ反シテ北部ハ寒威頗ル凜烈積雪丈餘ニ及ヒ四月ニ至テ尙ホ溶ケス寒風膚ヲ裂キ氷雪戸ヲ鎖シ草木存セズ行旅跡ヲ絶ツ之レ寒潮ヲ受ケ且、地寒帶ニ近ケレハナリ

本道ノ政廳ハ如何

(252) 石狩國札幌ニ北海道廳ヲ置キ全道ノ政務ヲ管セリ

都會ノ地ヲ問フ

(253) 箱館福山江刺〔渡島〕札幌〔石狩〕根室〔根室〕小樽〔後志〕室蘭〔膽振〕厚岸〔釧路〕
(254) 北海道廳ヨリ東京ニ至ルノ距離ヲ問フ

(255) 岬角ノ有名ナルモノヲ舉ゴ

白神崎惠山崎(渡島)鞆繪崎(膽振)襟裳崎(日高)納沙布崎野付崎(根室)知床崎宗谷岬
〔北見〕神威崎白糸岬(後志)濱益崎(石狩)仙鳳路崎床丹岬(釧路)

(256) 著名ノ港ヲ問フ

箱館福山江刺(渡島)小樽壽都(後志)室蘭有珠(膽振)石狩(石狩)根室(根室)宗各網走
(北見)増毛(天鹽)釧路厚岸(釧路)等トス就中箱館ハ五港ノ一ニシテ全道ノ物産此地
ニ集リ本道中第一繁盛ノ地ナリ又室蘭ニハ第五海軍鎮守府アリ

(257) 海峽ノ著名ナルモノヲ舉ゴ

松前海峽(本島ト本州ノ間)宗谷海峽(北見ト樺太ノ間)根室海峽(根室ト千島ノ間)丹
根前海峽(千島)久留里海峽(千島ト勘察加ノ間)

(258) 海灣ノ名高キモノヲ聞カン

根室灣(根室)火山灣(膽振渡嶋)壽都灣(後志)渡嶋灣(渡嶋)厚岸灣(釧路)小樽灣(後志)

(259)

山岳ノ著シキモノヲ舉ゴ

石狩(阿哥斯科海(本嶋及千嶋ノ北))
石狩岳夕張岳(石狩)十勝岳(十勝)天鹽岳(天鹽)宗谷岳(北見)後方羊蹄山(後志)遊樂
部山(渡嶋)有珠岳(膽振)雄阿寒岳(釧路)

(260)

火山アリヤ

釧路ノ雌阿寒岳膽振ノ樽前岳渡島ノ駒ヶ岳ハ皆現在ノ火山ニシテ其他休火山ニ屬ス
ルモノ尙多シ

(261)

礦山ハ如何

硫黃坑最モ多ク渡嶋膽振釧路北見等ニアルヲ其最トス之ニ次クヲ石炭坑トス後志石
狩天鹽膽振等ニ在リ其他後志ニハ金銀銅ノ諸礦ヲ産ス

(262)

川流ノ有名ナルモノヲ舉ゴ

石狩川石狩ニアリ石狩岳ヨリ發シ西南ニ奔流シテ海ニ入ル川廣ク水深ク河口ヨリ數
十里ノ間小瀛船ヲ通スベシ運漕灌溉ノ便多ク鮭魚ノ漁殊ニ盛ナリ

後志川 源ヲ膽振ニ發シ後志ニ入りテ日本海ニ注グ

釧路川 釧路國釧路岳ニ發シ南流シテ海ニ入ル

天塩川 天塩國ニアリ石狩十勝二山ヨリ發シ西北ニ流レテ日本海ニ朝ス

大津川 十勝國十勝山脈ヨリ出テ東南ニ走セテ太平洋ニ入ル

常呂川 北見國ニアリ石狩岳ヨリ發源シ東北ニ流レテ阿哥斯科海ニ注ス

西別川 根室ニアリ釧路ノ境ヨリ發シ東ニ流テ海ニ入ル

(263) 湖沼ノ著名ナルモノヲ問フ

曰ク猿間沼曰ク網走湖皆北見ニアリ曰ク楓蓮湖根室ニ在リ曰ク喜門沼十勝ニ在リ曰ク洞爺湖曰ク支笏湖曰ク長都沼皆膽振ニ在リ曰ク阿寒湖摩周湖釧路ニアリ曰ク篠路

沼石狩ニアリ

(264) 物産ノ主ナルモノハ何ソヤ

本道ノ物産ハ大抵海産及ヒ礦物ノ如キモノナリ今其一ニチ舉クルキハ昆布鮭臘肭獸鯨鯨鮓水豹鱒鱒虎熊海扇珊瑚瑪瑙大理石砂金砂鐵亞鉛硫黃明礬石炭班竹椶煙草木材厚

林落葉松樺菩提樹アツシ織等ナリ

(265) 礦泉ノ有名ナルモノアリヤ

惠山湯(渡島)雷電湯壽都湯(後志)登別湯(膽振)阿寒湯(釧路)

(266) 瀑布ノ大ナルモノヲ問フ

石狩瀑(石狩)阿寒瀑(釧路)刺鬼別瀑(底保倍瀑(千島))

(267) 本道ニ属スル島嶼ノ有名ナルモノヲ問フ

千島群中大ナルモノヲ國後嶋擇捉島トナス色丹島得撫島新知島幌筵島恩禰古丹島占守島等皆名アルモノナリ其他大島(渡島)奥尻島(後志)大黒島(釧路)水晶島(根室)利尻島禮文島(北見)等アリ

(268) 本道土人ノ風俗如何

土人チ「アイノ」ト稱ス其風習自ラ野蠻ニシテ内他ト異ナルモノ多シ先ツ衣服ハ概チ「アツシ」ト稱スル織物ヲ用ヒ多ク左衽ニシテ圓袖ノ短衣ナリ食物ハ山獸海魚ヲ常トシ好テ酒ヲ飲ム近頃ハ稻耕穡ノ利ヲ悟レルモノ、如シト云フ住居ハ尙古代ノ風ニシ

テ礎石ヲ設ケス床ハ簀ヲ敷カス唯圓木ヲ地中ニ穿テ蘆荻ノ類ヲ以テ之ヲ纏ヘルヲミ
其形容男子ハ鬚髮ニシテ鬚髯ヲ剃ラス手背若クハ眉ニ黥ス女子モ亦手背若クハ上臂
ニ文身シ唇ノ周圍ニ黥ス又耳環ヲ垂ル、アリ言語不定方言一ナラス頗ル寬縱ニシテ
テ去聲多シ而シテ性質頑直敬神ノ風厚ク死者アレハ其居ヲ異ニシ或ハ其家ヲ燒ク古
カ一男或ハ數妻ヲ蓄ヘ其甚シキハ父子昆弟迭ニ相娶ルモノアリシガ現時ハ漸ク改良
ノ道ニ就クモノ、如シ平素ノ業務ハ率テ弓箭ヲ執テ山野ヲ涉獵シテ禽獸ヲ獲、或ハ
鯨臘胸獸等ノ漁獵ニ從事ス

[269]

本道ノ平地ヲ舉ゴ

天鹽石狩大津諸川ノ沿岸及ヒ北見ノ阿哥斯科海ニ面セル地方并ニ釧路根室ノ海岸ヲ
以テ本道中最モ廣平ナル地方トス

[270]

本道ノ地味ハ如何

北見ヲ除クノ外大抵肥沃ニシテ豊饒ナリ就中石狩川天鹽川大津川ノ沿岸及ヒ釧路根
室ノ海岸ヲ然リトス現今專ラ開墾ニ從事スト雖モ然レモ尙概テ廣漠ニシテ處々ニ濶

澤アリ雜木其間ヲ蔽フ若シ夫レ開拓其功ヲ奏シテ田園相望ムノ曠ニ至ラハ亦之レ本
邦ノ最大利源タルベシ

沿 革

一、 總 論

上古ハ本州及ヒ四國九州佐渡淡路隱岐壹波對馬ヲ稱シテ大八洲ト云フ蓋シ日本全國ヲ稱スルノ号ナリ降テ神武天皇ニ至リ中州以西ハ全ク王土ニ歸スルト雖モ駿河以東ハ之ヲ蝦夷ト稱シテ未タ王化ニ洽ハス故ニ尙ホ邦制上ノ區劃ヲ定ムルコ及ハス成務天皇ニ至リ山河ノ形勢ヲ相シテ國郡ヲ分テ境界ヲ定メヨリ全國百四十四國トナル邦制上ノ區劃ヲ立テシハ之ヲ始トス孝德天皇改新以來更ニ國郡ノ制ヲ定メ分合ヲ行ヒ爾來幾多ノ沿革ヲ經テ文武天皇ノ時ニ至リ七道ノ制ヲ定ム(一千三百六十年代)尋テ全國ヲ五十八國三島トシ又六十二國三島ノ制トス(全七十年代)後幾バクナラシテ再ヒ七道六十八國トナリ(全八十年代)越テ千四百年代ニ至リテハ復數國ヲ合シテ六十一國トナシ全八十年代ニ至リテ遂ニ一畿七道六十六國二島ノ制トナリテ以テ明治ノ維新ニ至ル其間地震或ハ噴火ノ爲ニ地形ノ變スルモノ少カラサルナリ維新ノ後興羽ヲ分チテ七國トシ更

ニ北海道ヲ置キテ十一國ヲ定メ琉球ヲ編入スルニ及テ五畿八道八十五國トナル即チ現時ノ邦制ナリ始メ武門ノ政權ヲ執ルヤ諸國ヲ分チテ各其功臣ヲ封セシカ徳川氏ノ末ニハ藩治ノ數二百七十一アリ廢藩置縣ノ後三府七十二縣トナリシカ後或ハ合シ或ハ廢シ遂ニ三府四十三縣一廳トナレリ又琉球ハ明治五年ニ内屬シ十二年ニ沖繩縣ヲ置ケリ千島ハ始メ得撫以北我領地ニアラサリシガ明治八年魯國ト約シ樺太島ヲ以テ之ニ代ヘ我封疆ニ編入セリ

二、 畿 内 諸 國

大化改新ノ時東ハ伊賀ノ名張南ハ紀伊ノ背山西ハ播磨ノ赤石北ハ近江ノ逢坂ヲ以テ限リトシ其範圍ヲ稱シテ畿内ト云フ今ノ制ハ太寶ノ時ニ至リテ定レルモノナリ而シテ王朝ノ盛時即千八百四十年ノ頃マテハ國司郡司アリテ之ヲ治メタルコ各國皆然リ故ニ省キテ之ヲ記セス主ニ武門以後ノ沿革ヲ記セン(以下各道倣之)

山城

初メ大和ヲ以テ畿内ノ首邦トセシカ桓武天皇都ヲ平安ニ奠ノ玉フニ及ヒ此國ヲ以テ國次第一トス鎌倉幕府創立ノ後守護職ヲ此國ニ置ク北條氏政權ヲ

握ルニ及ヒ六波羅府ヲ置キ以テ京畿中國南海ノ政ヲ司ラシム足利氏ノ時幕府ヲ京師ニ置キシカ後政令行ハレズ應仁ノ大乱ヲ生ス織田氏天下ヲ定ムルニ及ヒ京師ニ所司代ヲ置キ以テ宮城ヲ奉護セシム徳川氏統平ノ後亦此職ヲ置ケリ

大和

皇祖神武天皇都テ此國ノ橿原ニ奠メ給ヒシヨリ桓武帝ニ至ルマテ歷世都ヲ替ヘタルハコアリト雖モ概テ此國ノ内ニコアリ奈良亦八十余年間ノ帝都トナレリ吉野ハ南北朝分立ノ時後醍醐帝以下三世ノ行在所タリシ所ナリ足利氏ノ時畠山筒井ノ諸將此國ノ守護タリシカ織田氏天下ヲ定ムルニ及ヒテ此國ヲ割キ其功臣ヲ封セリ徳川氏ノ時ニ至リ奈良奉行ヲ置キテ直轄ノ地トナシ後分テテ七藩ヲ置ケリ

河内

丹北郡植田ノ地元正帝ノ時帝都トナレリ建武中興ノ時補正成此國ノ守護タリシカ足利氏ニ及ヒテ畠山氏之ヲ領シ豊臣氏ニ至リ自ラ大坂城ニ居テ此國ヲ兼治ス徳川氏統平ノ後分テテ二藩ヲ置ケリ

和泉

紀元一千三百七十六年河内ヲ割キテ此國ヲ置ク千四百年代ニ至リ之ヲ河内ニ併セシガ復タ幾ナラスシテ之ヲ復ス足利氏ノ時山名氏之ヲ領シ爾來大内細川等ノ諸族互ニ之ヲ奪領セリ豊臣氏ハ本州ヲ以テ倭秀長ニ封シ後秀長死スルニ及ヒ大坂ノ直轄トセリ徳川氏ハ大坂ノ城代ヲシテ本州及ヒ攝播ノ政刑ヲ司ラシメ又堺奉行ヲ置キ分テテ二藩トナス

攝津

古昔仁徳天皇ハ東成郡ノ高津ニ孝徳天皇ハ西成郡ノ長柄ニ都シ玉ヒ安徳天皇亦平清盛ニ擁セラレテ福原(即チ今ノ兵庫)ニ都セラレキ鎌倉時代ニハ大内氏守護トナリ足利時代ニ至リ佐々木細川之ヲ傳領シ織田氏ハ守護ヲ此攝國ニ設ケ豊臣氏ハ自ラ大坂城ニ居ル徳川氏ニ及ヒ城代ヲ大坂ニ設ケテ泉播ノ刑政ヲ掌ラシム平定ノ後ハ分テテ四藩トナス

三、 東海道諸國

紀元七百八十年日本武尊東征ノ以前ハ駿河以東ノ地皆蝦夷ノ巢窟ニシテ未タ王化ニ洽ハカリキ降テ大化ノ初メ國郡ノ制ヲ定ムルニ及ヒテ分テテ十一國トナセシカ後伊賀伊

豆安房ヲ分置シ又東山道ヨリ武藏ヲ割テ本道ニ編入スルニ及ヒテ十五國トナレリ

伊賀 一千三百四十一年伊勢ヲ割キテ此國ヲ置ク賴朝ノ時平賀大内二氏前後守護

トナリ足利氏ニ至リテ仁木氏守護トナル徳川氏天下ヲ一統スルニ及ヒ藤堂氏ニ賜フ

伊勢

鎌倉ノ時大内氏守護トナル建武中興ノ後北畠氏ヲ守護ニ任ス足利氏天下ヲ私スルニ及ヒ仁木土岐ノ二氏ヲ以テ前後守護ニ任ス徳川氏將軍ニ任シ天下ヲ一統シテ藤堂本多以下數氏ニ分封ス後沿革アリ遂ニ分レテ十藩トナル

志摩

尾張

鎌倉時代ニハ大屋氏守護トナリ足利氏ニ至リ此國ヲ以テ土岐氏ニ與フ天文ノ末織田氏此國ニ起リテ漸ク強盛ヲ致シ京畿内外廿余州ヲ併有シ足利氏ニ代リテ兵馬ノ權ヲ執ル後徳川氏ニ至リテ徳川忠吉ヲ封ス後二藩トナル

三河

鎌倉府ノ時源氏安達氏交々其守護ニ任シ足利氏ノ時ニハ吉良氏ヲ封ス後今川氏親之ヲ有セシカ織田豊臣二氏ヲ經テ徳川氏ニ及ヒテ松平本多戸田ノ諸

氏ヲ分封ス後種々ノ沿革ヲ經分テ十二藩トナル

遠江

紀元二千百五十八年地大ニ震ヒ濱名ノ湖口崩壞シテ海ニ通ス因テ其地ヲ今切ト云フ源賴朝兵馬ノ權ヲ握ルヤ安田氏ヲ以テ守護兼州守ニ任シ足利氏ノ時代ニ及ヒ今川氏其守護シテ世襲ス織田氏ヲ經テ徳川氏ニ至リ松平氏ヲ封セリ後分レテ五藩トナル

駿河

傳ヘ言フ紀元三百七十五年地變アリ始テ富士山ヲ現スト又二千三百六十七年富士山焚クルヲ三日ニシテ寶永山ヲ生ス因テ地形大ニ變セリ源賴朝總追捕使トナルヤ其管國ヨリ賴朝乃チ武田氏ヲシテ之ヲ管セシメ後源氏三浦氏相踵テ本州ノ守護兼州守トナリ建武中興ニ及ヒ脇屋氏ヲ以テ其守護ニ補ス足利氏ノ時ニハ今川氏之ヲ領シ氏遂ニ徳川氏ノ有トナリ天下ヲ一統スルニ及テ内藤大久保酒井天野ノ四氏ヲ分封ス後分レテ五藩トナル

甲斐

鎌倉政府ノ時武田氏及ヒ加藤逸見三氏ヲシテ守護ヲシメ足利氏ノ時尙武田氏之ヲ世襲セシガ晴信ニ至リ大ニ四隣ヲ蚕食シ兵威日ニ盛ナリ後織田氏

ノ爲ニ滅セシテ其領ニ歸セシカ信長ノ弒セラル、ヤ國ノ亂ル、ニ乘シ徳川氏討テ之ヲ平定ス既ニシテ天下ヲ一統スルニ及ヒ初メ平岩親吉后ニ徳川義直ヲ封ス一藩タリ

伊豆

一千三百四十一年駿河ヲ割テ此國ヲ置ク尋テ全四十四年海中島嶼ヲ噴出スルヲ若干地形ノ變化ヲ生セリ源賴朝總追捕使ニ任セラル、ヤ他ノ諸國ト共ニ其管國トナル后山名氏之ヲ治メシカ足利氏ノ時鎌倉管領ノ執事上杉島山ニ氏交々守護トナリ北條早雲起ルニ及ヒテ其有トナリ北條氏豊臣氏ノ爲ニ滅サル、ニ及ヒテ徳川氏ノ有ニ歸セリ后江川氏ヲ以テ伊豆ノ代官トス

相摸

此國ノ鎌倉ハ即チ源賴朝ガ霸業ヲ成セシ本據ノ地タリ總追捕使ニ補セラル、ニ及ヒ其管國タリ執權北條氏國命ヲ執ルニ及ヒテ相摸守ニ任シ六世ノ間尙鎌倉ニ居テ天下ニ号令ス建武中興ノ業成ルヤ成良親王ヲ以テ東國管領トシ足利直義ヲ以テ執權トナシテ鎌倉ニ居ラシム尊氏反スルニ當リ又本據ヲ此地ニ定メ后關東管領ヲ置ケリ天下大ニ亂ル、ニ及ヒ山内氏之ヲ取り遂ニ

武藏

北條長氏ノ爲ニ併セラレシカ秀吉東征北條氏ヲ滅シテ其地ヲ徳川氏ニ賜キ後酒井松平門部諸氏相踵テ此國ニ封セラル後分レテ二藩タリ
天慶ノ乱藤原秀郷功ヲ以テ其守ニ任ス鎌倉ノ時ニ守護兼州守タリシヲ平賀氏トナス初メ賴朝ノ總追捕使トナルヤ乃チ其管スル所タリキ建武中興ノ時足利尊氏其守護トナル尊氏叛シテ將軍ヲ自署スルニ及ヒ關東ノ管領ヲシテ之ヲ管セシム後上杉氏ノ有ニ歸シ又後北條氏ノ併スル所トナル秀吉東國ヲ定ムルニ及ヒ之ヲ徳川氏ニ賜フ徳川氏乃チ府ヲ江戸ニ開キ遂ニ將軍ニ任シテ天下ヲ一統シ相承クルヲ十五世明治改新江戸ヲ改メテ東京ト稱シ帝都ヲ此ニ移ス維新前ニ六藩アリ

安房

一千三百七十八年上総ヲ割キテ此國ヲ置キ後復之ヲ上総ニ併セシカ幾ナラズシテ之ヲ復ス初メ源賴朝兵ヲ擧ケテ安房ヲ徇ヘ土豪安西、神餘、麻呂、東條四氏ニ班與ス後足利ノ時關東管領ノ領スル所トナリ又里見氏起リテ之ヲ有シタリシカ遂ニ北條氏ノ爲ニ併有セラレ北條氏亡ブルニ至テ徳川氏ノ有

トナル維新前藩治十ヶニ分レリ

上総

王朝時代親王ノ任國ニシテ他人國守タルヲ得ス高望王ノ孫世々土着シテ豪族アリ源賴朝追捕使ニ補セラレ、ニ及ヒ其管國トナル後平廣常此國ヲ領セシカ後罪アリテ誅セラレ足利氏千葉氏相踵テ州事ヲ掌レリ後足利氏ノ時ニ至上杉氏守護トナリ尋テ管領トナル里見氏安房ニ起ルニ及ヒ遂ニ其領スル所トナリ又北條氏ノ取ル所トナリシカ北條氏亡ヒテ德川氏ノ有トナル德川氏將軍ニ任スルニ及ヒ松平本多内藤ノ三氏ヲ分封ス維新前藩治四ニ分ル天慶中平將門叛テ謀リ猿島郡ニ據テ偽宮ヲ立テ八州ヲ煽動ス藤原秀郷將門ヲ討スルノ功ヲ以テ其守ニ任ズ後將門ノ從姪忠常介ニ任ス子孫千葉城ニ居リ千葉氏ト稱ス賴朝總追捕使トナルニ及ヒテ此國亦其管國アリ千葉氏ヲ以テ守護ニ任シ後結城氏ト分領セリ建武ノ中興足利尊氏守護トナル後關東管領ノ勢衰フルニ當リ千葉氏結城氏ト共ニ足利氏成氏ヲ翼戴ニシテ古河城ニ據ル里見北條二氏起ルニ及ヒ前後其攻略スル所トナリ遂ニ德川氏ニ歸ス後

下総

小笠原松平久能ノ三氏ヲ分封セリ分レテ八藩トナル

常陸

王朝ノ時親王ノ任國アリ平治中平清盛奏請シテ佐竹氏ヲ介ニ任セシヨリ其族世々此ニ居ル建武ノ中興足利尊氏其守護ニ任セリ之ヨリ屢沿革ヲ經テ德川氏天下ヲ一統スルノ後此國ヲ以テ德川頼房及松平山口二氏ヲ封ス維新前藩治十一ニ分ル

四、東山道諸國

上古ハ淡海、三野、斐陀、科野、无邪志、毛野、陸奥ノ七國ニシテ其東北地方ノ如キハ日本武尊東征ノ後始テ王化ニ歸セリ是ヨリ先キ皆蝦夷ノ巢窟アリシナリ後武藏(无邪志)ヲ東海道ニ編入シ又數次ノ分合ヲ經テ今ノ制トナレリ今其概要ヲ左ニ記述スベシ

近江

傳ヘ云フ孝靈天皇ノ世始テ琵琶湖ヲ現スト景行天智兩帝曾テ此國ニ都ス賴朝府ヲ鎌倉ニ開シニ及ヒ佐々木氏守護ニ任シ後佐々木氏分レテ六角京極二家トナリ此國ヲ分領ス織田信長起ルニ及ヒ攻メテ之ヲ取り安土ニ居ル豊臣氏ニ至リ義子秀次ヲ封セシカ德川氏天下ヲ一統スルニ及ヒ井伊戸田二氏ヲ

封セリ後藩治分レテ九トナル

美濃

頼朝ノ時梶原景時大内惟義交々守護トナリシカ後土岐氏之ニ代リ以テ足利ノ時ニ至ル天文中齋藤秀興其主土岐頼藝ヲ逐テ國ヲ奪ヒシカ幾クモナクシテ織田信長之ヲ滅シテ已カ有トナシ從リテ岐阜ニ居ル豊臣氏ニ至リ織田秀信ヲシテ此國ヲ領セシメシガ徳川氏ニ至リテ石川氏及ヒ徳川義正ヲ分封ス後數次ノ沿革ヲ經テ維新前ニ至リテハ藩治分レテ六トナレリ

飛騨

北條氏ノ時小笠原氏信濃ノ守護ヲ以テ之ヲ兼知シ建武中興ヲ及ヒ姉小路氏國司ニ任ス後數次ノ沿革ヲ經テ豊臣氏ニ至リ金森氏ヲ封ス徳川氏ニ至リ前田氏ニ命シテ戌ヲ高山ニ置カシメ後之ヲ廢シテ郡代ヲ置キ之ヲ直轄セリ

信濃

治承中木曾義仲ガ從兄源頼朝兵ヲ起スヲ聞キ之ニ應セント欲シテ兵ヲ擧グ頼朝總追捕使トナルニ及テ其管國トナリ後小笠原氏此國ヲ守護シテ子孫相承ク建武中興ニ至リテ尙故ノ如シ足利氏勢威衰フルニ及ヒ村上誦訪本曾ノ諸氏一隅ニ割據セシガ武田晴信遂ニ之ヲ一統セリ織田信長武田氏ヲ滅スニ

及ヒ森毛利ノ二氏ニ分與シ豊臣氏ノ時ニ至リテ森石川京極仙石四氏ヲ分封

シ徳川氏ニ至リテ松平眞田保科脇坂堀ノ諸氏ヲ封ス後沿革アリテ遂ニ十一

藩トナレリ

上野

上古ハ下野ト共ニ毛野ト稱セシカ後分レテ二國トナル王朝ノ時親王ノ任國ヲ天慶ノ乱藤原秀郷功ヲ以テ守護ニ任シ鎌倉ノ時ニ至リテ安達氏之ヲ治ム北條氏ノ時新田義貞義兵ヲ此地ニ起シ功成ルニ及テ其守護ニ任ス尊氏ノ叛スルヤ上杉氏ヲシテ守護ヲシム後北條氏康之ヲ取リ上杉武田等ノ前後相争フ所トナリシカ豊臣氏ニ至リ之ヲ平定シテ平岩榊原井伊眞田本多那波松平奥平ノ諸氏ニ分封シ徳川氏ニ及テ其手ニ歸ス九藩アリ

下野

古毛野ト稱シ上野ト一國マリ天慶ノ乱藤原秀郷將門ヲ討シ其功ヲ以テ武藏下総及上野下野ノ守ニ任シ世々此國ノ小山城ニ居ル頼朝ノ時ニ及ヒ宇都宮氏ヲ以テ守護ニ任セシカ尊氏ノ叛スルニ及ビ小山氏此國ニ在リテ獨リ官軍ニ屬セリ又足利ノ威衰フルニ及テハ那須氏此國ニアリテ大ニ跋扈セシガ遂

ニ北條氏康ノ爲ニ侵食セラレ豊臣氏ニ至リテ宇都宮大關太田原那須諸氏ヲ分封シ徳川氏ニ至リテ更ニ奥平氏ヲ宇都宮ニ封セリ後分レテ九藩トナル
磐城岩代陸前陸中陸奥 此五國ハ舊出羽ト共ニ一國コシテ陸奥ト稱ス初メ一千三

百七十二年陸奥ヲ割キテ出羽ヲ置キ後又六年ヲ經テ常陸ヲ割キテ石城石背ヲ分置セシカ此二國ハ幾クモナクシテ陸奥ニ併セラレ以テ明治ノ維新ニ至ル一千四百七十一年鎮守府ヲ置キ以テ蝦夷ノ鎮撫ニ備フ天喜中安部頼時叛スルコ當リ源頼義州守ヲ以テ鎮守府將軍ヲ兼テ之ヲ討ス清原武則從テ功アリ鎮守府將軍ニ任ス後家衡武衡ノ乱アリ藤原清衡秀衡秦衡割據シテ中國ニ通セス頼朝ニ至テ之ヲ討平シ葛西清重ヲシテ之ヲ殺撫セシム建武中興ニ及テ源顯家鎮守府將軍トナリ足利氏ニ及テ上杉家兼テ探題トス家兼敗死スルノテ勢後島山吉永二氏相踵テ探題トナル足利氏衰フルニ及ヒ伊達氏起リヲ逞フセシガ豊臣氏ニ至リテ蒲生氏郷ヲ陸羽ノ守護トナシ岩城相馬木村關伊達ノ諸氏ヲ封ス徳川氏ニ至リ南部津輕相馬伊達氏封ヲ受クル故ノ如シ後

羽前羽後

分レテ十八藩トナル明治維新ノ際之ヲ分チテ現制ノ五國トナス
初メ出羽ト稱ス一千三百七十二年マテハ陸奥ト一國マリシカ全年其十二郡ヲ割キテ此國ヲ置ク天平寶字年中秋田城介ヲ置ケリ安部頼時陸奥ニ據リ藤原清衡押領使トナリシ時此國亦其占領スル所トナル頼朝ニ至リ清衡ノ曾孫泰衡ヲ誅シ葛西清重ヲシテ之ヲ鎮撫セシム建武中興源顯家陸奥守トナルヤ本洲亦其兼治スル所マリ尊氏叛スルニ及ヒ上杉氏ヲシテ之ヲ鎮セシメシカ足利ノ威衰フルニ方リテ最上氏等ノ諸族此國ニ雄張ス豊臣氏ニ至リ蒲生氏ヲ守護トス徳川氏諸大名ヲ封シテ十三藩トナス明治ノ維新分チテ二國トナゼリ即チ現時ノ制ナリ

五、北陸道諸國

上古ハ若狹佐渡ヲ除ク外越國ト稱シテ蝦夷ノ巢窟マリシカ大化ノ新政以來國郡ノ制定マレリ後數次ノ分合アリ遂ニ今ノ制トナル

若狹

頼朝府ヲ開クコ方リ惟宗氏等ヲシテ之ヲ管セシメ寛喜ノ初北條氏ノ有トナ

リ目代ヲ置テ之ヲ管ス足利氏ニ及テ族高經及佐々木山名細川一色武田ノ諸氏前後相繼テ之ヲ領シ織田氏起ルニ及ヒ武田ヲ降シテ之ヲ丹羽氏ニ與ヘ豊臣氏亦丹羽氏ヲ以テ守護ニ任セシカ後淺野氏ヲ封ス徳川氏初メ京極氏ヲ封シ後酒井氏ニ賜フ

越前

北條氏ノ時若狹ト共ニ目代ヲ以テ之ヲ管セリ尊氏叛スルニ及ヒ族高經之ヲ略ス新田義貞尊良親王ヲ奉シテ金崎ニ據ルヤ瓜生氏袖山ニ居テ高經ト相持ス朝廷瓜生氏ヲ州守ニ任ス義貞死スルニ及ヒ高經本道ヲ略ス足利ノ威令行ハレサルニ至リテ淺倉氏之ヲ守護シ天正ノ際ニハ織田氏之ヲ滅シテ柴田氏ヲ北莊ニ封シ其餘ヲ分テ南條佐々前田ノ三氏ヲ封シ豊臣氏ニ至リテ丹羽氏ヲ封セシカ爾來大谷堀尾其他ノ數氏ヲ前後此國ニ封シ數次ノ沿革ヲ經テ關原ノ役終ルニ及ヒ徳川氏ニ屬ス徳川氏ハ之ヲ松平秀康ニ封シ北莊ヲ改メテ福井ト云フ後分テ八藩トナス

加賀

一千四百八十三年越前ヲ割キテ加賀ヲ置ク源賴朝富樫氏ヲ以テ守護ニ任ス建武中興ノ時二條師基ヲ州守トナス後朝廷瓜生氏ヲ以テ州守ニ任セシガ高經本道ヲ略スルニ及ヒ富樫氏復之ヲ有セシカ本願寺ノ宗徒之ヲ滅シテ貢租ヲ本寺ニ納ル、コト年アリ乃チ長尾景虎朝倉氏ト謀リ宗徒ヲ討シテ之ヲ分領セリ織田氏ノ時此國ニ封セラレシモノ佐久間徳川村上等諸氏アリ豊臣氏ノ時前田氏丹羽氏等アリ徳川氏ニ及ヒテ前田氏ヲ本州及能登越中ニ封ス後藩治三トナル

能登

一千三百七十八年越前ヲ割キテ能登ヲ置ク後之ヲ越中ニ併セシガ幾モナクシテ之ヲ復セリ賴朝、長、得田兩氏ヲ地頭トシテ此國ニ置ク皆子孫ニ傳フ足利氏ノ時守護タルモノ島山氏アリ長尾景虎起ルニ及ヒ其有ニ歸シ織田氏ノ時ニハ前田氏ノ有トナリ世襲シテ廢藩ノ時ニ至ル

越中

北條氏ノ時名越氏ヲ以テ守護トナス後足利高經島山基國交々守護トナリシガ足利氏ノ威令行ハレサルニ及ヒ豪傑互ニ掠奪シテ止ム時ナク遂ニ之ヲ平定セシモノチ長尾景虎トス織田氏ノ時佐々氏ヲ封シ豊臣氏ノ時前田父子ニ

越後

加フ徳川氏前田氏ヲ加賀ニ封スルニ及ヒ尙本州ヲ兼領セシム
初メ平維茂茲ニ臣シ子孫秋田城介ニ任シテ城氏ト稱ス頼朝総追捕使ニ任ス
ルニ及ヒ其管國ノ一トナリ安田氏ヲ以テ州守ニ補ス建武中興ノ時守護タル
モノヲ新田氏トス足利氏ニ至リテ上杉氏之ヲ領セシガ其政令行ハレサルニ
及ヒ上杉氏ノ宰長尾氏其主ヲ弑シテ其國ヲ攘ミ輝虎ニ及テ四方ヲ風靡シ本
州及近隣諸國皆其兼併スル所トナル豊臣氏ノ時上杉景勝内訌ニ乗シテ之ヲ
領セシカ景勝遂ニ會津ニ移サレ堀村上等ノ諸氏茲ニ封セラル徳川氏ノ時ハ
松平氏ヲ封セシガ後分レテ十一藩トナル

佐渡

一千四百年代此國ヲ越後ニ合セシガ幾ナラスシテ之ヲ復セリ鎗倉ノ頃本間
氏國府ニ居リ澁屋藍原土屋ト共ニ地頭ヲ承久ノ乱北條氏順徳天皇ヲ此國
ニ遷シ奉ル天皇遂ニ島中ニ崩シ玉フ後本間氏守護ヲ領ス後上杉氏ノ有トナ
リ豊臣氏ノ時上杉景勝會津ニ移サル、ロ及ヒ更テ遣ハシテ之ヲ治スル徳
川氏ノ時ハ奉行ヲ置キテ州事ヲ管セシム

六、山陰道諸國

傳ヘ云フ本道ハ神代ニ於テ大己貴命出雲ニ鎮シ以テ以テ四隣ヲ征服セリト蓋シ本道ノ
制確立セシハ大化改新ノ後ニアルニ似タリ其後數次ノ沿革ヲ經テ今ニ至ル

丹波

饒府創立ノ時土肥氏守護ニ補セラレ建武中興ニ及テ源忠顯國司ニ任シ碓井
盛景ヲ以テ守護代トス足利ノ時仁木氏守護ニ任ス正平中山名氏之ヲ領セシ
カ滿幸誅セラル、ロ及テ又細川氏ヲ以テ守護トス後波多野氏ナルモノ自立
シテ州主ト稱セシガ織田氏之ヲ滅シテ其臣明智氏ヲ封ス豊臣氏亦其功臣ヲ
封シ徳川氏ニ至リテ州内ヲ七藩ニ分ツ

丹後

一千三百七十三年丹波ヲ割キテ此國ヲ置ク足利ノ時一色氏之ヲ領シ後山名
氏之ヲ領セシガ滿幸誅セラル、ロ及テ復一色氏其守護トナル織田信長一色
氏ヲ殺シテ細川藤孝ヲ封ス此時一色氏ノ裔猶ホ弓木城ニ在リテ一隅ヲ領セ
シカ細川忠興全州ヲ兼併シテ一色氏全ク亡ブ豊臣氏其功臣ヲ封シ徳川氏ハ
京極氏ヲ封ス後分レテ三藩トナル

但馬

承久乱太田昌明鎌倉ニ属セルヲ以テ守護ニ任ス南北朝分立ノ頃ニハ他ノ諸國概テ定マレル守護アリト雖モ此國獨リ州豪ノ割據スル所アリシガ正平中山名氏之ヲ領シ以テ豊臣氏ノ時ニ至ル徳川氏ノ時分チテ二藩トナス

因幡

建武中興ノ時名和長年伯耆ノ國司兼守護ヲ以テ此國ノ守護ヲ領ス足利氏ノ時之ヲ守護スルモノ山名氏ヨリ以テ子孫相承クルヲ數世後毛利氏之ヲ降シテ本州ヲ領ス豊臣氏之ヲ陷レ悉ク之ヲ定メテ其功臣ヲ封ス徳川氏ノ始メ池田光政ヲ本州及伯耆ニ封セシガ光政後備前ニ移リ從第光仲之ニ代ル後分レテ三藩トナル

伯耆

後醍醐天皇隠岐ヨリ本州ニ幸シ玉フニ方リ名和長年兵ヲ率テ之ヲ迎ヘ以テ義ヲ唱フ因テ國司兼守護ニ任ス足利氏ノ時山名氏ヲ守護トナセシガ後尼子氏ニ併セラレ又毛利ノ蠶食スル所トナル豊臣氏之ヲ二分シテ其功臣ニ與ヘ徳川氏亦加藤關諸氏ヲ分チ封シ後池田氏ニ賜フ一藩アリ

出雲

鎌府創立ノ際佐々木義清ヲ以テ守護トナシ盤治ニ居ラシム其孫頼泰ニ至テ

盤治氏ヲ稱ス足利氏ノ時佐々木氏之ニ代ル後山名氏之ヲ領セシガ滿幸ノ叛後復佐々木氏ヲ以テ守護トナス後其族尼子持久ヲ守護代トセシガ其孫經久自ヲ守護ト稱シ終ニ伯耆隱岐石見備中備後安藝ノ諸國ヲ蠶食ス後毛利氏ニ亡サル豊臣氏其半ヲ割テ古川氏ニ與フ徳川氏ニ至リ分レテ三藩トナル

石見

幕府ノ創メ佐々木定綱ヲ守護トナシ後藤原國兼ヲ以テ之ニ代フ子孫相承ケ分レテ福屋益田三隅ノ三氏トナル足利氏ニ至リ大内氏ヲ以テ守護トナス山名全道ヲ畧有スルニ當リテ此國獨リ其侵略ヲ受ケス應仁乱ニハ福屋等諸氏各一方ニ據レリ後尼子氏ノ蠶食ヲ受ケシガ毛利氏之ヲ平定シテ其有二歸ス徳川氏ノ時二藩トナル

隱岐

鎌倉ノ時佐々木定綱全島ヲ領ス北條氏權ヲ專ヨスルニ及ヒ初ニハ義時後鳥羽法皇ヲ遷シ奉リ後ニハ高時後醍醐天皇ヲ遷シ奉ル足利氏ノ時佐々木高氏ノ領トナリ山名時氏起ルコ及テ其略取スル所トナル后本州ノ豪族隱岐氏ヲ以テ守護代トセシカ尼子氏之ヲ占領シ毛利氏ニ至リテ其有二歸ス其后數次

ワ沿革ヲ經テ德川氏ニ至リ松江藩〔出雲〕ノ管スル所トナセリ

七、山陽道諸國

神武天皇ノ東征シ玉ヲ道ヲ本道ニ取リ玉ヘリ崇神天皇四道將軍ヲ置キ道主命ヲシテ丹波ヲ平定セシメ玉ヲ蓋シ丹波トハ今ノ山陰山陽ヲ云フナリ本道ノ今ノ制トナレルハ紀元一千三百七十三年以後ノコト、ス

播磨

鎌倉ノ時ハ土肥梶原二氏守護トナリ建久中ニハ赤松氏州守ニ任ス建武中興ノ時則村勤王ノ功ヲ以テ守護ニ補セラレ尋テ之ヲ禡ハレシカ足利氏之ヲ復シ更ニ備前美作ヲ加フ嘉吉ノ乱後山名持豊ニ賜ヘリ應仁ノ乱赤松氏故封ヲ復シ其族ヲシテ分テ諸城ニ居ラシム織田氏ノ時豊臣氏ヲ封ス豊臣氏天下ヲ一統スルニ及ヒ木下氏ヲ封シ關原戰後池田氏ヲ封セシガ後因幡ニ移シテ本多小笠原二氏ヲ分封ス後分レテ十藩トナル

美作

一千三百七十三年備前ヲ割キテ此國ヲ置ク鎌倉府土肥梶原二氏ヲシテ守護ニ任ス建武中興ノ時尙故ノ如シ足利氏ニ及ヒ赤松氏ノ領トナリ後山名氏之

ヲ畧有ス應仁ノ乱後復シ赤松氏ノ有ニ歸シ滿祐誅セラル、ニ及ヒ山名氏之ニ代リ後浦上浮田等諸氏之ニ據ル豊臣氏ニ及ヒ全州ヲ浮田氏ニ賜フ德川氏之ヲ小早川秀秋ニ賜ヒ後森松平氏等ヲ分封ス總テ三藩トナル

備前

上古今ノ三備ヲ稱シテ吉備ト云フ後分テ三トナス神武天皇東征ノ時行宮ヲ本州ノ高島ニ建テ三歲滯留シ玉ヲ鎌倉ノ時梶原土肥兩氏守護ニ任シ後加治氏之ニ任ス建武ノ中興兒島松田二氏ヲ封シ足利氏ニ至テ赤松氏ノ有トナリ尋テ山名氏之ニ代リシガ應仁後赤松氏之ヲ復シ其臣浦上ヲ守護代トス後浦上ノ臣浮田氏起テ全州ヲ併セ自ラ國主ト稱シ豊臣氏ニ至リテ尙之ヲ有セリ德川氏ノ時ニ至リ小早川池田等ノ諸氏ヲ以テ前後茲ニ封ス

備中

上古吉備國ノ一部ヲリ鎌倉ノ時ハ備前ト共ニ土肥梶原二氏其守護ヲリ後高橋氏之ニ代ル足利氏ハ高師秀ヲ茲ニ封シ後州豪秋庭氏山名氏ニ屬シ之ヲ追テ守護代トナル天授中國紊レテ治ラス乃チ細川氏其守護ヲ兼ヌ後年尼子氏亦其一部ニ據リシカ毛利氏遂ニ之ヲ併有セリ德川氏更ニ小早川戸川木下諸

備後

田氏等ヲ分封ス後分テ八藩トナル

此國亦上古備ノ一部ナリ鎌倉ノ時土肥梶原二氏守護トナリ建武中朝廷淺山氏ヲ以テ守護トス足利氏ニ至リテ直冬ヲ本州ニ置キテ中國探題トス正平中山名時氏之ヲ畧有シ爾後細川滿之山名持堂大内義隆等前後相踵テ之ヲ領セシガ遂ニ天文ノ末ニ至リ毛利氏ノ有トナル徳川氏ニ及テ福島氏ヲ封セシガ後之ヲ収メ淺野氏及水野氏ヲ封ス分レテ二藩タリ

安藝

神武天皇東征ノ時行宮ヲ本州ノ埃宮ニ建テ三ヶ月ノ間駐蹕シ玉ヘリ平氏ノ時ニハ其管國トナリ後之ヲ納メテ仙洞ノ院領トナス承久ノ乱後武田氏ヲ守護トス足利ノ時代ニ及テハ州豪毛利吉川等各一隅ニ割據シ近隣ヲ略ス尼子氏本州ヲ徇フルニ及ヒ毛利以下諸族之ニ屬ス後又大内氏ニ屬ス既ニシテ陶晴賢其主ヲ弑スルニ及ヒ毛利氏之ヲ誅シテ大内氏ノ地ヲ併セ又尼子氏ヲ滅シ封疆十州ニ巨ル徳川氏撥亂偃武ノ後之ヲ削リ福島氏ヲ本州ニ封ス後罪アリ之ヲ奪テ淺野氏ヲ全州ニ封ス

周防

鎌倉府ノ世大内氏守護アリ子孫職ヲ襲ク義弘ニ至リ封疆漸ク廣ク義隆ニ至リテ七州ヲ領有ス陶氏其主ヲ弑スルニ及ヒ遂ニ毛利氏ニ併セラル徳川ニ至リ其邑ヲ削リテ唯本州及ヒ長門ヲ領セシム

長門

仲哀天皇熊襲ヲ征シ玉フヤ行宮ヲ本州ノ豊浦宮ニ建テ玉ヘリ平氏安徳天皇ヲ擁シテ壇浦ニ退キ終ニ亡ブ鎌倉ノ代ニ至リ守護タルモノ佐々木高綱トス北條時宗警固使ヲ本州ニ置キ族實政ヲ以テ之ニ任ス示來同族交代シテ中國探題ト稱シ陰陽兩道ヲ控制ス示後守護タルモノ建武ノ時厚東氏アリ足利ノ時大内氏アリ後毛利氏之ヲ領シ以テ明治ノ維新ニ至ル但文久中萩城ヲ徹シテ山口ニ徙レリ

八、 南海道諸國

本道ヲ置キ六國ヲ列セシハ文武天皇ノ時ニアリ之ヨリ先キ天武天皇使ヲ遣ハシテ本道諸州ヲ巡察セシメ持統天皇伊豫總領ヲ置キテ四國ノ事ヲ総理セシメラレタルトアリキ請フ其沿革ノ概畧ヲ叙セン

紀伊

鎌倉ノ時佐原義連守護トナリ足利ノ時ニ及テ畠山氏守護トナル後大内氏ノ有ニ歸シ再ヒ畠山氏ノ領ニ復ス豊臣氏其弟秀長ヲ封シ徳川氏淺野幸長ヲ封ス後徳川頼宣封テ本州ニ受ケテ世々和歌山ニ居ル

淡路

淳仁天皇廢セラレ玉ヒシ時本島ニ遷サル鎌倉ノ時佐々木經高守護タリシカ尋テ長沼宗政細川師氏等之ニ代レリ之レ足利氏政權ヲ執ルノ時ナリ後其臣三好氏ニ横奪セラレ織田氏ヲ經テ豊臣氏ニ至リ仙石秀久ヲ封シ後脇坂安治加藤嘉明ヲ封シニ氏移封ノ後池田忠雄ヲ封シ又蜂須賀至鎮ニ加封ス以テ王政革新ニ至ル

阿波

平氏ノ時田口成能其封ヲ受ケテ州守タリ平氏滅後源頼朝小笠原長清ヲ守護トス承久亂土御門天皇ヲ土佐ニ遷セシカ後此國ニ遷セリ建武ノ時細川和氏ヲ州守ニ任シ足利氏ニ及ヒテ細川氏ヲシテ四國ヲ經畧セシム後三好氏ノ有トナリ遂ニ長曾我部氏ニ略有セラル豊臣氏來征其侵地ヲ奪ヒ蜂須賀宗政ヲ封ス徳川氏ニ至リ更ニ淡路ヲ加封シ以テ世襲セシム

讃岐

保元亂崇徳天皇ヲ本州ニ遷ス元暦中平氏安徳天皇ヲ奉シテ屋島ニ行宮ヲ建ツ平氏滅ヒ頼朝天下ヲ一定スルニ及ヒ佐々木盛綱守護トナリ建武中興ノ時舟木頼重ヲ封ス後脇屋義助南海ノ軍務ヲ総轄スルヤ本州國府ニ居レシ又足利氏ノ時代ニハ細川三好香川ノ諸族國事ヲ執リシガ後長曾我部氏遂ニ全州ヲ併ス豊臣氏ハ之ヲ仙石十河兩氏ニ徳川氏ハ之ヲ生駒氏ニ賜フ後三藩トナル

伊豫

天慶中藤原純友遙ニ平將門ニ應シテ兵ヲ舉ケ尋テ誅セラル源頼朝ニ及テ州豪河野氏ヲ封ス元弘ノ初河野通盛北條氏ニ属シテ之ヲ没セラレシガ尊氏ニ至リテ之ヲ復シテ守護トナス然レモ分領割據時ニ從テ盛衰アリ長曾我部元親起ルニ及テ其併スル所トナリ豊臣氏ニ至リテ小早川隆景ヲ全州ニ封シ幾クモナクシテ小早川氏ヲ筑前ニ移シ福島正則加藤嘉明ヲ封ス徳川氏ニ及テ更ニ加藤氏ノ邑ヲ加ヘ本州ノ一半ヲ割テ藤堂氏ヲ封セリ後屢變更アリ遂ニ分レテ八藩トナル

土佐

一千三百四十四年地大ニ震ヒ田園ノ陷リテ海トナルモノ凡ソ五十万頃地形大ニ變セリ平氏滅後源賴朝佐々木氏ヲ封ス承久ノ亂義時土御門天皇ヲ本州ニ遷ス建武ノ中興藤原氏ヲ封シテ州守トス足利氏ノ時細川氏之ヲ管治セシカ爾來豪雄割據相統一セス長曾我部氏起ルニ及ヒテ其併スル所トナリ元親ノ有スル所四國ニ跨ル皇臣氏之ヲ削リテ舊領土佐ヲ保ヨシメ徳川氏ノ時ニハ山内氏本州ニ封セラル分レテ二藩トナル

九、西海道諸國

天孫降臨ノ地ニシテ大八洲ノ内第一ニ王化ヲ受ケシハ即チ本道ナリ初メ筑紫、豊、火、熊襲ノ國ニ分チシカ文武帝ノ時筑前筑後豊前豊後肥前肥後日向ノ七國及壹岐對馬ノ二島ヲ置ク太寶中薩摩ヲ置キ後更ニ大隅ヲ分置スルニ及テ九國ニ島トナル

筑前

上古筑后ト合セテ筑紫ト稱ス宣化天皇ノ朝太宰府ヲ置キ天皇ノ外朝トシテ以テ九封ヲ總轄セシム後藤原廣嗣敗死スルノ時ニ及テ(一千四百年)之ヲ廢シ筑紫鎮西府ヲ置キシカ一千四百五年復之ヲ置ク齊明天皇兵ヲ韓地ニ出セ

シトキ行宮ヲ本州ニ建ツ其遺跡尙上座郡ニアリ壽永年間平氏安德帝ヲ奉シテ西海ニ奔ルヤ太宰府ヲ以テ行在所トス豪族原田種直來リ附シ功ヲ以テ州守ニ任ス鎌倉ノ時ニ及ヒ天野遠景鎮西奉行トシテ太宰府ニアリ尋テ武藏資頼之ニ代リテ大宰少貳ニ任ス依リテ少貳ヲ氏トシ子孫職ヲ襲ク弘安四年蒙古入寇スルヤ颶風大ニ起リ虜艦悉ク覆没ス立海島即チ其地ナリ後筑紫控題ヲ博多ニ置クニ及テ太宰府廢セラル足利ノ時肥後ノ菊池氏獨リ勤王ノ兵ヲ起シ九國殆ト官軍ニ屬セシガ後官軍次第ニ衰ヘ足利氏今川貞世ヲ以テ九州控題ニ任ス其後遂ニ大友氏ニ歸セリ豊臣氏ニ至リ小早川隆景ヲ本州ニ封シ名島ニ居ル徳川氏黒田孝高ヲ封ス福岡ニ治ス子孫相承ケテ維新ニ至ル分レテ二藩トナル

筑後

古筑紫ト稱シテ筑前ト一國タリ平民滅ヒ源氏起ルニ及ヒ草野永平ヲ封シテ守護トス後少貳頼尙之ヲ繼ギシカ菊池武光頼尙ヲ破リテ全州ヲ併セ後各州互ニ境域ヲ争ヒ諸豪各郡ニ據リテ戰鬥虛日ナシ大友義鎮遂ニ全州ヲ取ル豊

豊前

臣氏ニ至リ立花毛利筑紫ノ諸氏ニ分封ス徳川氏ハ始メ田中吉政ヲ封シ後立
花有馬ノ二氏ヲ分封シ遂ニ世襲セリ二藩アリ
始メ豊國ト稱シテ豊後ト一國アリ鎌倉ノ時宇都宮信房ヲ守護トシ後少貳氏
ノ兼知スル所トナル足利氏ノ時菊池式光懷良親王ヲ奉シテ義ヲ唱フルニ及
ヒ遂ニ之ヲ略シ兵勢大ニ振フ後天授中大内義弘之ヲ領セシカ大友義鎮菊池
氏ヲ滅スルニ及テ本州亦其領スル所トナル豊臣氏ニ至リ黒田孝高毛利勝信
ヲ分封セシカ關原役後細川忠廣ヲ本州ニ封ス後沿革屢アリ小笠原與平兩氏
ヲ分封ス分レテ三藩トナル

豊後

古ハ豊前ト一國ニシテ豊國ト稱セリ鎌府ノ時大友能直ヲ守護トス末裔義鎮
ニ至リ遂ニ兵ヲ出シテ諸州ヲ蚕食シ封疆六州ニ及フ後島津氏勢威日ニ盛ナ
ルニ及ヒ其侵ス所トナリシカ豊臣氏九州ヲ定ムルニ及テ大友義統ヲ封シ後
中川毛利等ノ諸氏ニ分賜ス徳川氏天下ヲ一統スルニ及ヒ毛利以下七人ニ分
封ス即チ七藩アリ

肥前

古ハ肥後ト一國ニシテ火國ト稱セリ鎌倉ノ時少貳氏州事ヲ管シ以テ足利氏
ニ至ル正平中菊池式光本州ヲ畧シ後大内少貳ノ諸族各地ヲ分有シテ爭乱止
マス遂ニ龍造寺氏ニ併有セラル秀吉ノ九州ヲ平クルヤ龍造寺政家ニ舊領七
郡ヲ賜ヒ有馬大村松浦波多五島ノ諸氏各封地ヲ領ス徳川氏鍋島直茂ヲ封セ
シガ後分レテ十藩トナル紀元二千四百五十二年温泉岳噴火シテ同時ニ新島
七十ヲ生セリ

肥後

延久中藤原則隆菊池郡ヲ賜ヒテ此ニ居リ因テ以テ氏トス后功ニ因テ州守ニ
任シ世々此地ヲ領ス元弘建武ノ間菊池式光勤王シテ兵威日ニ強ク四隣ヲ徇
ヘシカ后官軍振ハス菊池氏衰ヘ遂ニ大友義鎮ノ爲ニ奪略セラル後島津ノ氏
有トナリシカ豊臣氏ニ至リ佐々成政ヲ封セシカ後加藤清正小西行長ヲ封ス
關原役後徳川氏行長ノ封ヲ奪ヒテ全州ヲ清正ニ給ス后分レテ四藩トナル
上古瓊々杵尊高千穂宮ニ居ル景行天皇熊襲ヲ征スルノ后ニ至リテ此國ヲ置
ケリ鎌倉ノ時島津忠久ヲ封シテ守護トス足利氏ノ時菊池式光義ヲ唱ヘテ諸

日向

大隅 州ヲ徇ヘルニ方リ遂ニ進テ本州ニ入レリ豊臣氏ニ至リ島津氏ニ大隅薩摩及本州ノ一部ヲ賜ヒ后伊東高橋秋月ノ諸氏ヲ封ス徳川氏ニ至リテ四藩トナル本州ハ和銅年中(一千三百七十三年)始テ日向ヲ割キテ置ク所ナリ初メ多祿島ヲ特置センカ天長年中ニ至リテ之ヲ本州ニ隸セリ鎌府ノ時島津氏ニ屬シ后島津氏ノ勢威日ニ強盛ニ赴キ九州殆ト其版圖ニ歸スルノ勢ナリシカ豊臣氏西征スルニ及ヒ義久遂ニ降ヲ乞フ因テ本州薩摩及日向ノ一部ヲ賜フ徳川氏ニ至リテ尙全州島津氏ニ屬セリ二千四百四十八年櫻島噴火ンテ七個ノ小島ヲ生ス

薩摩 太寶中始テ本州ヲ置ク鎌倉ノ時ヨリ島津氏ニ屬セシカ義久ニ至リ大友氏ヲ破リ島津氏ノ勢威日ニ加リ豊臣氏西征ノ后尙全氏ニ屬ス徳川氏ニ至テ亦然

豊岐 仁明帝ノ時戍兵ヲ本島ニ置テ新羅ニ備フ鎌倉ノ時少貳氏ノ兼知スル所ナリ元寇ノ時其侵ス所トナリ平景隆之ニ死ス后志佐、波多ノ諸氏交々之ニ居リ

對馬 最後松浦氏ノ采邑ニ歸ス
鎌倉ノ時少貳氏ノ管スル所ナリ然ルニ土豪阿比留國信命ニ抗スルヲ以テ寛元中宗重尙之ヲ滅シテ遂ニ地頭トナル元寇ノ時先ツ此國ヲ侵ス助國奮戰シテ之ニ死ス子孫相承ケテ其職ヲ襲フ

琉球 此國上古ハ天孫氏ノ領スル所ナリシカ後其臣利勇ノ滅ス所トナル之ヨリ國內大ニ亂レ紀元二千三十三年明ニ通シテ其對册ヲ受ケ又尋テ我國ニ來テ寶物ヲ足利義持ニ獻ス後義教本島ヲ以テ島津氏ニ賜フ是ニ於テ我國及明ニ兩屬セリ後數世ヲ經テ尙徳王ニ至リ暴戾ヲ恣ニシ政令大ニ亂ル是ヨリ先キ源爲朝奔テ本島ニ入ル利勇天孫氏ヲ弑スルニ及テ其子尊敦之ヲ誅シテ舜天王ト稱ス之ニ至テ國人其遠孫金丸ヲ推シテ王トナス後使聘ヲ修セサルコアリ徳川氏乃チ島津家久ニ命シテ之ヲ征セシメ王尙寧ヲ擒ニス明治五年詔シテ之ヲ西海道ニ編入シ琉球藩ヲ置キ專ラ我國ノ正朔ヲ奉セシム十二年藩ヲ廢シテ縣ヲ置ク

十、北海道諸國

本道ハ舊蝦夷ト稱シクシク王化ニ浴セズ曾テ武内宿禰此地ヲ巡察シ日本武尊及阿部比羅夫ノ之ヲ征シタルコトアリシカ叛服常ナラス後坂上田村麿命ヲ奉シテ之ヲ征スルニ及テ悉ク我版圖ニ歸ス始メ政所ヲ後方羊蹄ニ置キシカ鎌倉ノ時ニ及テハ津輕ノ守護ヲ置ケリ后松前氏福山ニ居リ之ヲ管ス徳川氏ノ時函館奉行ヲ置キ又松前氏ヲ移シテ松前奉行ヲ置キシカ後松前氏ヲ復シテ奉行ヲ廢シ尋テ又之ヲ移シテ函館奉行ヲ置ケリ其間幾多ノ沿革ヲ經タリ此ヨリ後展露國ト境界ノ事ニテ交渉事件アリ明治二年詔シテ全島ヲ券チテ十一國トナシ北海道ト稱シ開拓使ヲ札幌ニ置テ全道ヲ管セシム全八年魯國ト約シ樺太島ヲ彼ニ與ヘ以テ得撫以北ノ群島ト交換シタリ十五年開拓使ヲ廢シ函館札幌根室ノ三縣ヲ置キシガ越テ十九年ニ至リ之ヲ廢メ更ニ北海道廳ヲ置キ以テ全道ヲ管轄ス

各市制地人口表

明治廿二年十二月卅一日調

東京	二七九、一六五	岐阜	二六、三三三
大坂	四七三、四一七	仙臺	八六、五〇五
堺	四七、八八三	盛岡	三一、三三九
横濱	一一三、一四三	弘前	三〇、五六〇
神戸	一三四、九〇一	山形	二八、四五五
姫路	二五、五四二	米澤	二九、六二〇
長崎	五四、六三五	秋田	二九、〇六九
新潟	四五、八六一	福井	四〇、六三一
水戸	二五、〇八八	金澤	九四、四〇七
津	二三、五一六	富山	五七、八五七
名古屋	一五七、五〇五	高岡	二八、九八六
静岡	三七、七二四	鳥取	七二、九四三
松江	三五、七〇一	高知	三一、五二九
		百卅九	

東京 一、三七八、一三三
甲府 三〇、七六三

岡山	四七、七二四	福岡	五一、〇五〇
廣嶋	八三、八九六	久留米	二四、七〇三
赤間關	二九、九一四	佐賀	二六、〇五五
和歌山	五六、二〇二	熊本	四八、五八七
總島	六〇、一四四	鹿兒島	五七、七五〇
松山	三二、八八二		

各府縣別人口表

明治二十二年十二月三十一日調

東京	一、一三八、五四六	山形	七五七、六一一
京都	八七三、五八〇	秋田	六九六、二七九
大坂	一、二〇三、三九五	福井	六一五、二四九
神奈川	九〇三、七二四	石川	七六八、九四三
兵庫	一、五三三、四〇六	富山	七六一、九三一

長崎	七四六、三五七	島取	四〇二、〇八〇
新潟	一、七二六、一五八	島根	七〇〇、二九三
埼玉	一、〇七一、一四八	岡山	一、〇七四、九〇〇
千葉	一、一九五、一〇一	廣島	一、三二四、三九五
茨城	一、〇一八、四六〇	山口	九三二、二二七
群馬	六八二、五〇五	和歌山	六三六、五七五
栃木	六八二、五八〇	徳島	六八七、六二四
奈良	五〇二、六〇七	香川	六七三、一四四
三重	九二六、七三八	愛媛	九二八、〇七二
愛知	一、四六五、七六五	高知	五七四、五〇二
静岡	一、〇八六、五五六	福岡	一、二二五、六一八
山梨	四五三、六九七	大分	七九三、五四六
滋賀	六七八、七四三	佐賀	五六三、七〇二

岐阜	九三四、七二〇	熊本	一、〇五〇、七二四
長野	一、一三一、五一八	宮崎	四〇五、五四八
宮城	七四四、六一五	鹿児島	一、〇〇二、一三四
福島	九二五、二四六	沖繩	三七八、八五三
岩手	六七三、二三四	北海道	二七〇、二六三
青森	五四九、四一八	惣計	四〇、〇七二、〇二〇

明治廿四年九月一日印刷
 明治廿四年九月二日出版

定價三拾錢



福岡縣福岡市博多中嶋町四拾番地寄留

發行者 平川雄三郎

全縣那珂郡岩戸村大字西畑百六番地

著者 青木俊太郎

全縣福岡市福岡下名嶋町五拾三番地

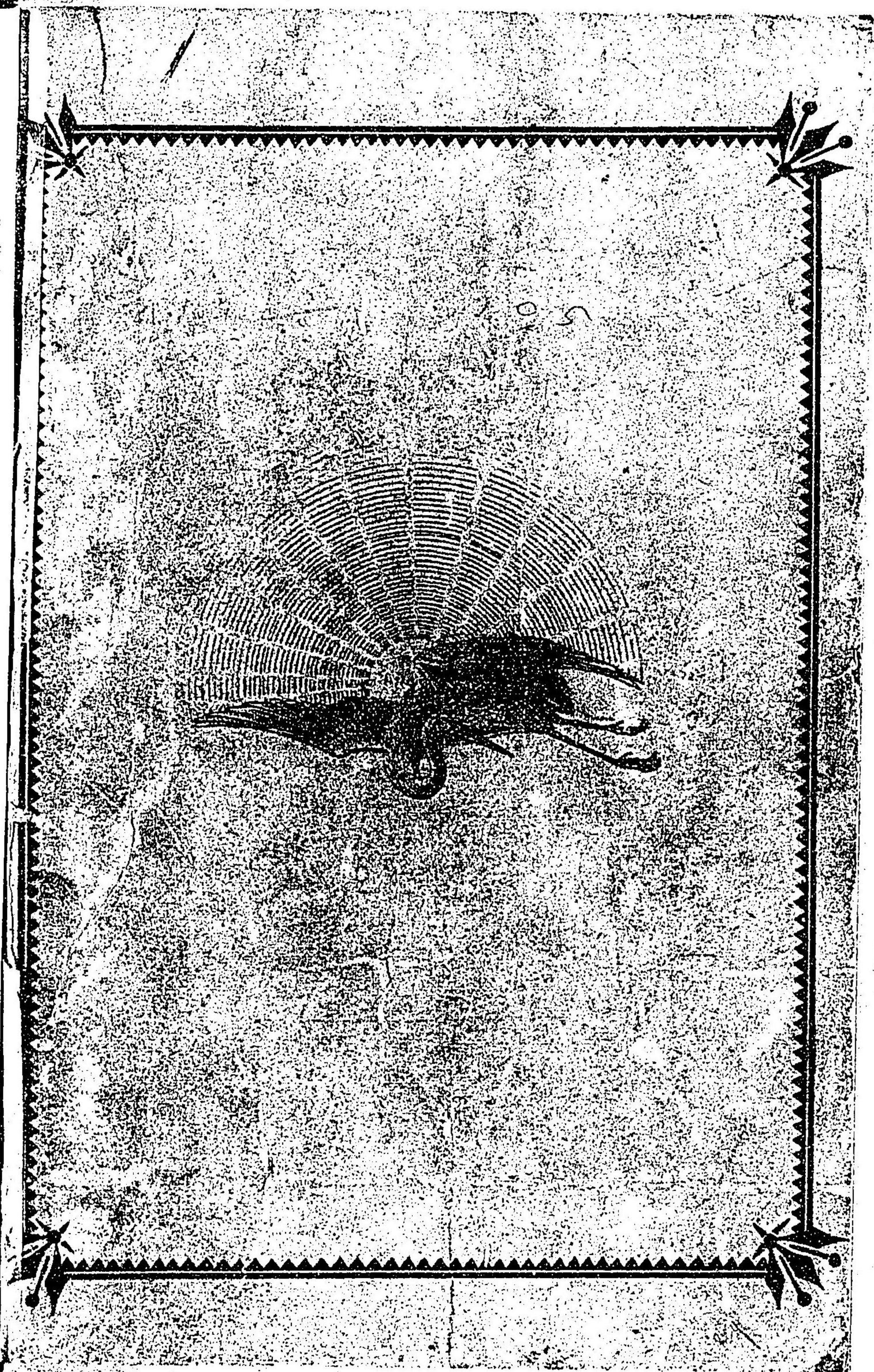
印刷者 大隈壯太郎

全縣全市博多中嶋町

發賣所 磊落堂

26
一册
59

11



特 20

476

日本地理問答

国立国会図書館

023007-000-5

特20-476

日本地理問答

青木 俊太郎 / 著

M24

ADB-0971

